

SOUN BOX RECORDS LIST No.50 (June 2015)

レコード・コンディション表記・凡例 91～新品同様 86～90ミント・コンディション キズ、ノイズ、などのない状態 81～85きわめてMintに近い 音にでない表面のスレやわずかな汚れなど、聴感上はまったく問題はない。60年代のレコードはこのランクで最上。 76～80ごく軽く短いブツノイズや微細なサーフェス音 または音に出ない表面のスレ 50年代の初期盤はこのランクで最上に近い。 71～75軽め、短めのスレやマーク ノイズが音に出た場合でも、音量が小さく1分以内。キズとしては軽いと考えて良い。 ジャケット・コンディション表記・凡例 91～新品同様 86～90全体に汚れなども見当たらず、非常にきれいな状態 81～85全体はきれい、部分的に軽い擦れ、角の傷み または紙質経年変化 76～80全体はきれい、部分的な難(割れ、シワ、破れなどのいずれか) 71～75目立つ割れや汚れ 破れなど *コンディション後の番号は、当店管理用番号で、コンディションとは無関係です。			
商品	内容	価格	
秘蔵テスト特集			
DGGレーベルの録音監督 ヴォルフガング・ローゼ (Wolfgang Lohse) 氏のコレクション			
ドイツ・グラモフォン録音監督 Wolfgang Lohse氏所有テスト・レコード これからご紹介するレコードは、長きにわたって、ドイツ・グラモフォンの録音監督として活躍されてきたヴォルフガング・ローゼ Wolfgang Lohse氏が所有していたテスト・プレス(プロモ・レコード含む)です。カール・ベームがドイツ・グラモフォンに録音したほぼ全てのレコードに彼は名前を連ねているので、ご記憶の方もいらっしゃることでしょ。録音監督という仕事は、演奏、録音も含めたレコーディングを監修する立場で、レコード制作現場の指揮を取ります。これらは、制作関係者でなければ、持ち得なかったテスト・レコードです。その音の鮮度は、マスターテープを聞くようで、通常のレコードからは聞けない、飛びっきりのサウンドを聞くことができるでしょう。非常にレアなレコードも含まれています、同じレコードは二度と現れないので、好きなレコードがございましたら、永久保存版でお手元に置いていただけたらと存じます。品物の性格上、多くはジャケットはなく専用内袋に入った状態でお渡しとなります。(白色丸窓付きハードジャケットを1枚 140円でお譲りさせていただきます)ジャケットが付属しているものは、記載いたします。			
テスト・プレス 指揮者			
1	コンヴィチュニー ベルリン放送SO ブルックナー 交響曲 2番 ETERNA 820 528-9 2LP MONO 東独オリジナル	白レーベル テスト・プレス ETERNA社共通ハードカバー入り このレコードは、1966年にモノラルにて録音され、820 528-9という番号で発売されましたが、70年代に入ると、黒レーベルでステレオ化されレコードでは、このステレオ化されたものが一般には出回りました。 オリジナルのモノラル盤は青地に白のV字レベル。 この白テスト盤はこのブルーホワイトの時の初回白テスト・プレスになります。 オリジナル盤も数が少ないですが、この白テスト・プレスは極めて珍しい品物かと思ひます。コンヴィチュニー・ファンの方、ブルックナー・ファンの方、またはETERNAコレクターの方にも垂涎の1枚ではないでしょうか？ 盤: 84 白のETERNA共通ジャケット 99-T4(この番号は管理用番号です)	
2	コンヴィチュニー ライプツィヒ・ゲヴァントハウスO. ブラームス 交響曲 1番 ETERNA 820 333 MONO 東独モノラル・オリジナル	白レーベル 手書きで曲目記入 コンヴィチュニー最後の録音といわれているブラームス1番のETERNA盤 テスト白プレスである。教会の美しい響きを豊富に取り入れて、美しい音の空間を作り上げていて、モノラルであることが、かえって音像のブレがなく、どっしりとした印象につながるのではないだろうか？ ETERNA録音に多い、重厚なあまり、朴訥な音はここにはなく、音離れ良く、しなやかな音が、ブラームスの和声を奏でている。 盤: 84 白のETERNA共通ジャケット 99-T3	
3	ポール・シュトラウス ベルリン放送SO オッフェンバック バリの喜び ベルリオーズ 序曲「海賊」 オーベール 序曲「フラ・ディアボロ」 フレモー モンテカルロ歌劇場O. アダマン 序曲「われもし王になりせば」 DGG 112 003 STEREO 白レーベル・テスト盤 内溝	素晴らしい色彩感！ ポール・シュトラウス振るオッフェンバックの「バリの喜び」が聞き物です。 ベルリン放送SOがまるでフランスのオケのように、色彩感あふれる演奏を展開して聞かせます。白レーベル・テスト盤の鮮明な音質も手伝って音の遊園地のよう。雰囲気満点ですが、安っぽい演奏や録音ではありません。 盤: 85/79 専用内袋 96-15	

4	ジョルジ・セバスチャン & ベルリン放送 SO M. レモニー (Va) ベルリオーズ イタリアのハロルド CLASSIQUE 11034 MONO 黒地に金文字 艶レーベル 独オリジナル	ラベルに非売品 (Unverkaufliche) の文字刻印 このCLASSIQUEというレーベルは、ARIOLAグループのレーベル。 テストプレスである本レコードは、音に艶が美しく、レモニーの弾くヴィオラの美しい音色を堪能。ベルリン放送SOの弦楽セクションもフランスのオケのように柔らかな艶を帯びていて美しい。指揮者のジョルジ・セバスチャンは、ブダペストで生まれる。ブダペスト音楽院に進み、バルトーク、コダーイに師事した。1922年、ミュンヘンの歌劇場でブルーノ・ワルターに師事した。1927年、ベルリン市立歌劇場の首席指揮者に就任した。1946年、パリに移り、オペラ座の首席指揮者に就任。以後、オペラ＝コミック座、フランス国立放送管弦楽団なども指揮した。1966年、フランス国立放送管弦楽団と来日した。1989年、パリ近郊で没。(Wikipediaより) 盤: 80/79 ジャケット: 81 99-T5	7,000
5	バルビローリ NPO ベイカー (S) マーラー 交響曲 5番 マーラー リュッケルトの誌による5つの歌曲 ELECTROLA 1C 063-01997/8 2LP STEREO 金色地に黒文字 カラー切手ニッパ プロモ・サンプル・シール貼りレーベル 内袋に濃紺色で Muster zu Ihrer Information 緑と赤日付で Einspruch 20. Jan 1970と押印 独オリジナル	マトリクス 4面ともに1番 バルビローリのマーラー5番の音響世界を、鮮明に鳴らしてくれる本盤は貴重な存在です。大音量になっても、音の透明感を失わず、木管のディテールまで逃さずに聞こえます。低音楽器の音の豊かさに耳奪われます。 盤: 78/82/78/78/ ジャケット: 80 96-18	9,800
6	フルトヴェングラー BPO シューベルト 交響曲 9番「グレート」 DGG LPM 18347 MONO M33▽レーベル フラット重量盤 再発	黄色レーベル 紫の押印 Ungeprüftes Muster (未承認マスター) 1957年製造 この番号でLP33ならびに、M33四角囲みレーベルは存在していません。M33▽レーベルでこの番号のオリジナルとなります。 LPM18015-6から数年しか経過していませんが、初出盤はレコード材質に問題が多く、気泡プレスが続出しました。レコード材質が改良され、この番号に変更。ダイナミック・レンジは広がり、より細かい音も再現が可能に。 フラット重量盤による厚みのある音質、鮮度も申し分ありません。 可能であれば、LPM18015-6を持ちたいところですが、非常に高価。 盤: 84 ジャケット: 80 99-T6	7,000
7	セルジュ・ボド チェコPO オネゲル 交響曲 2番 ヤナーチェク 歌劇「プロウチェク氏の月旅行」より SUPRAPHON レコード番号記載なし STEREO	白テスト・プレス 恐ろしく音の良いテスト・プレスです！！ SUPRAPHONの音のキャラクターは、白テスト・プレスの段階ではあまり感じられません。むしろ、マスターテープを回してプレイバックしている印象です。 豊かで、広がりがあり、神経質なところがありません。 これは、レギュラー盤をお持ちの方は、是非、比べて見てください。 私は日本コロムビアのCD全集を持っていたので、これで比べてみましたが、CDがよい部分はひとつもありませんでした。どこかひとつでもないかと二度聞いてみましたが、完全に白テスト・プレスの圧勝です！ 素晴らしい！ 盤: 84 SUPRAPHON共通ジャケット 99-T8	9,000
8	マゼール フランス国立放送O. フランス語・ナレーション プロコフィエフ ピーターと狼 ブリテン 青少年のための管弦楽入門 DGG SLPM 138 745 STEREO 白レーベル テスト・プレス チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 独オリジナル	白レーベル・テスト盤はこの2曲を素晴らしい音で聴かせてくれます。 フランス国立放送Oの艶やかな音質が聞き物です。 マゼールの指揮は、メリハリの効いた指揮で、極めてオーソドックスな解釈。 盤: 85 専用内袋 96-24 ¥4,800	6,400
9	ヨッフム BPO バイエルン放送合唱団 ブルックナー 交響曲 4番 5つのモテット DGG SLPM 139 134-5 2LP STEREO チューリップ Made in Germany 独オリジナル	黄色レーベル 紫の押印 Ungeprüftes Muster (未承認マスター) ヨッフムの4番は、ALLE HERSTELLER.レーベルは存在していません。 Made in Germanyでオリジナルとなります。 ヨッフムのこのDGGへの録音は、ブルックナーの精神を掴んだ数少ない演奏。 録音も良く繰り返し耐える素晴らしい名演。 盤: 83/79 ジャケット: 82 ¥6,500 99-T11	8,800
10	ヨッフム BPO ブルックナー 交響曲 8番 DGG SLPM 138 918-9 2LP STEREO チューリップ Made in Germany	黄色レーベル 紫の押印 Ungeprüftes Muster (未承認マスター) この番号には、ALLE HERSTELLER.レーベルが存在しています。 ヨッフムのこのDGGへの録音は、ブルックナーの精神を掴んだ数少ない演奏。 録音も良く繰り返し耐える素晴らしい名演。 盤: 83/79 ジャケット: 82 ¥6,500 99-T12	8,800
11	ラトル バーミンガム市立O. シベリウス 交響曲 4番 シベリウス 交響曲 6番 EMI 7 477111 STEREO 白レーベル テスト・プレス 内袋に 濃紺色で Muster zu Ihrer Information と印刷 録音カルテ貼り内袋 独オリジナル	この時期は、インターナショナル発売で、プレスは共通でドイツ (DMM) ラトルとしては、唯一の全集を完成させたシベリウスの作品。 その演奏は、謙虚で作品に敬意を払ったもの。内省的な第4番と抒情的な第6番を見事に描き分けています。 盤: 78 専用内袋 96-28	5,600

12	レパード イギリス室内O. ソナタと協奏曲集 アルビノーニ 弦楽と通奏低音のためのソナタ op.2-3 ヴィヴァルディ 弦楽のための協奏曲PV175 アルビノーニ 弦楽と通奏低音のためのソナタop.2-6 ヴィヴァルディ 弦楽と通奏低音のためのソナタ PV441 コレルリ 合奏協奏曲op.6-9 ヴィヴァルディ 弦楽と通奏低音のためのソナタ PV392 ELECTROLA 1C053-02068 STEREO 青地に白黒切手ニッパ 独オリジナル	ラベル上に非売品ステッカー貼りプロモ・レコード 内袋に 濃紺色で Muster zu Ihrer Information と印刷 赤スタンプで 11. Dez.1970 押印 1970年の発売 レパードの見事なバロック・アルバム 音も水がしたたかなようなフレッシュな音で耳が洗われます。 バロック音楽のレコードの場合、指揮者は、どの曲をどのように組み合わせるか、そこから重要な仕事になります。 このレパートの選んだ曲の美しいこと！ そして、自分がなぜ、この曲を選んだのかが演奏に現れています。 そのため、一層美しい音楽になるのです。 このレコードは、バロック・レコードの鏡のような1枚です。 Muster zu Ihrer Informationの内袋のレコードは、通常のレギュラー盤と明らかに音が異なります。(実験済み) 盤:85 ジャケット:83 99-T14	7,000
	テスト・プレス ピアノ		
13	シュテファン・アッシュケナーゼ(P) ショパン ワルツ集(全曲) DGG SLP 136 397 1 STEREO 白レーベル テスト・プレス チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 独オリジナル	このレコードは、コレクションのオーナー、ヴァルフガング・ローゼ氏が音楽監督をしたレコードとなります。 ショパンをこてこてとロマンティックに弾くのでなく、さりげなく、情感を織り込むのがうまいピアニスト。こういう淡く絶妙な表現が、ローゼ氏の好みだったのかもしれませんが。白レーベル・テスト盤はさすがに、鍵盤の動きが見えてきそうな素晴らしい再生音。 盤:88 専用内袋 96-29	7,800
	タマシュ・ヴァーシャリ(1933-) ハンガリー出身のピアニスト。 ブダペストのリスト音楽院でエルンスト・フォン・ドホナーニに師事、その後、母校でゾリタン・コダーイの助手を務める。 1948年、ブダペストで行われたリスト国際コンクールで優勝、ドイツ・グラモフォンにロマン派の作品を中心に数多くの録音を行う。ロマン派の作品を得意としてきたヴァーシャリですが、その演奏はフォルムの整った端正な演奏を目指した。今、聞いてもまったく古さを感じさせないのはそのため。それでいて、上質なロマンティズムや叙情を音楽の中に息づかせた演奏、ほかに同じタイプの演奏家は意外といない。最初の師、エルンスト・フォン・ドホナーニは、教育者としても非常に優秀で音楽家として、その影響を強く受けているのではないと思われる。門下からは、ほかに、アーニー・フィッシャー、ゲザ・アンダ、ミッシャ・レヴィツキなどの往年の名ピアニスト、フリッツ・チャイやショルティらの国際的な指揮者を輩出した。今、聞くと、その音楽性の高さ、自然さ、淡く香るロマン派の伊吹など、完成度の高いピアノを聞かせる。		
15	タマシュ・ヴァーシャリ ショパン 24の練習曲 DGG 104 365 STEREO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 白レーベル テスト・プレス 独オリジナル	1965年録音、製造。この時期はフラット重量盤は存在しません。 粒立ちの良いタッチを堪能できるレコードです。 ヴァーシャリの弾くショパンは、その自然な音楽性とセンスの良さが最大の聴きものです。ショパンの詩情を心の底から飾らずに歌い、その至福の一時を私達に授けてくれるこの人のショパン弾きとしての才能はまさしく「ショピニスト」と呼ぶに相応しいものだと思います。真実のショパン演奏は、超絶技巧でも大音量でもハッタリでもなく、センスの良いさりげないルバートと音の中間色の微妙な使い分けによって生まれるということ、この人は、その演奏を通して聴く人に伝えていよう。 盤:85 専用内袋 96-33	15,000
16	タマシュ・ヴァーシャリ ショパン ワルツ集 DGG 104 368 STEREO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 白レーベル テスト・プレス 独オリジナル	1965年録音、製造。この時期はフラット重量盤は存在しません。 最も華やかな《華麗なる大円舞曲》、愛らしい小品《小犬》、別離にあたって恋人へ贈った《別れ》。ピアノの詩人と称揚されるショパンは39年という短い生涯に、消失された作品を除いても20曲ほどのワルツを作曲しました。洗練されたロマンティズムやセンチメンタリズム、優雅にして高貴な雰囲気を含んだ17曲のワルツを、繊細優美な表現を得意とするヴァーシャリによる彼の個性が存分に発揮された演奏でお聴きください。 白テストの音質は非常に鮮明で、細かなフレーズもきっちり再生されます。 盤:78/85 専用内袋 96-34	7,800
17	タマシュ・ヴァーシャリ ショパン スケルツォ(全曲) DGG SLP 136 451 STEREO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 白レーベル テスト・プレス 独オリジナル	1965年録音、製造。この時期はフラット重量盤は存在しません。 最も華やかな《華麗なる大円舞曲》、愛らしい小品《小犬》、別離にあたって恋人へ贈った《別れ》。ピアノの詩人と称揚されるショパンは39年という短い生涯に、消失された作品を除いても20曲ほどのワルツを作曲しました。洗練されたロマンティズムやセンチメンタリズム、優雅にして高貴な雰囲気を含んだ17曲のワルツを、繊細優美な表現を得意とするヴァーシャリによる彼の個性が存分に発揮された演奏でお聴きください。 白テストの音質は非常に鮮明で、細かなフレーズもきっちり再生されます。 盤:78/85 専用内袋 96-35	18,000

18	リーゼロッテ・ギールス(P)、ゲルド・ローマイヤー(P) 2台のピアノのための作品集 クレメンティ ソナタ 1番 モーツァルト 2台のピアノのためのソナタK.448 ミヨー スカラムシュ ブーランク ソナタ バルトーク ミクロコスモス～7つの小品 ルトワフスキ バガニーニの主題による変奏曲 ELECTROLA STC 80816 STEREO 白地に赤文字 金のリム プロモ・シール貼りラベル 独オリジナル	2台ピアノのための作品を集めた名盤です。 リーゼロッテ・ギールスとゲルド・ローマイヤーのデュオによる選曲はSide1は古典作品。Side2は近代作品がすらすりと並びます。 しかし、聞きづらい曲は避けてあり、その辺も絶妙。 1枚のアルバムとして聞くと大変聴きごたえのあるアルバム。 プロモ盤としての音質も非常に良いです。 盤: 81 専用内袋 96-37	12,300
19	ヤコブ・ギンペル(P) ゲオルグ・ルートヴィヒ・ヨッフム ベルリンSO ショパン ピアノ協奏曲 1番 ELECTROLA STE 80453 STEREO 白レーベル テスト・プレス 青スタンプで 22.Aug.1960 とラベルに押印 フラット重量盤 独オリジナル	通好みのピアニスト ヤコブ・ギンペルのショパンのコンチェルト。 熱狂的でも、ロマン的でもなく、かといってソリッドなタイプでもない。 そういうわかりやすい範疇の個性を前面に押し出す演奏家ではありません。 少々硬めのクリスタル系の音色、練らない表現方法。ニュアンスの崩し方が粹です。 さっぱりした表現の中に、情感に彩りを添えるのが、なんともまいピアニストです。 オリジナル見開きジャケット(金の丸STEREOシール貼りジャケット) 白レーベル・テスト盤でフラット重量盤。 音質はほれほれするほど、見事なものです。 音離れが良く、ギンペルのクリスタルな音色が際立ちます。 盤: 83 専用内袋 96-36 ¥18,800	25,000
20	ロベルト・コルンマン プロコフィエフ ピアノ・ソナタ 2番 5番 DECCA LXT2691 MONO オレンジ地に金文字 12時位置に金のエンブレム 独オリジナル	プロコフィエフのソナタは、モノラル時代から評価の高いレコードで、非常に入手難の1枚です。一般的にかなり高価なレコードです。 盤: 79～80 ジャケット: ¥6,800 99-T15	9,000
21	ヘンリク・シュトンプカ ショパン マズルカ 第1集 ETERNA 820 100 MONO 東独オリジナル	白レーベル 手書きによるタイトル記入 ヘンリク・シュトンプカを愛聴されている方は、相当なショパン通だと思います。 ポーランドでは実力派ピアニストとしてMUZAに多数の録音があります。その演奏は柔らかく、伸びやかで、終始、自然な流れの中で静かに歌い上げています。 曲調を生かした切ない演奏、「f」も決して強打しません。強打どころか、時には、「p」と同じか、さらに声を潜めて語りかけてくる 家庭でショパンを聞く時、数千人相手に張りあげた大音量の音楽を聴きたいと思うでしょうか？もともとショパンの音楽(特にマズルカなどは)、大会場で、大向こうを唸らせるような音楽ではありません。この演奏は、ポーランド人が大切に伝え続けているショパン弾きとしてのハートを今に伝える貴重な録音です。 盤: 81 共通カバー: 81 99-T16	7,300
22	ヘンリク・シュトンプカ ショパン マズルカ 第2集 ETERNA 820 101 MONO 東独オリジナル	白レーベル 手書きによるタイトル記入 ヘンリク・シュトンプカを愛聴されている方は、相当なショパン通だと思います。 ポーランドでは実力派ピアニストとしてMUZAに多数の録音があります。その演奏は柔らかく、伸びやかで、終始、自然な流れの中で静かに歌い上げています。 曲調を生かした切ない演奏、「f」も決して強打しません。強打どころか、時には、「p」と同じか、さらに声を潜めて語りかけてくる 家庭でショパンを聞く時、数千人相手に張りあげた大音量の音楽を聴きたいと思うでしょうか？もともとショパンの音楽(特にマズルカなどは)、大会場で、大向こうを唸らせるような音楽ではありません。この演奏は、ポーランド人が大切に伝え続けているショパン弾きとしてのハートを今に伝える貴重な録音です。 盤: 81 共通カバー: 81 99-T17	7,300
23	【映画 戦場のピアニスト】 シュピルマンのピアノ録音 ウラディスラフ・シュピルマン(P) タデウス・ウロンスキ(Vn) チェチアンスキ(Vc) ショパン ピアノ三重奏曲op.8 ウラディスラフ・ケドラ(P) ロヴィツキ & ワルシャワ国立SO ショパン 「ドンジョヴァンニ」～「奥様、お手をどうぞ」の主題によるピアノと管弦楽のための変奏曲op.2 ETERNA 820 356 MONO 1963年発売 モノラル録音 独オリジナル	白レーベル 曲目手書き 皆さまは、「戦場のピアニスト」という映画をご存知でしょうか？ この映画は、ユダヤ系ポーランド人ピアニストの体験記を、ロマン・ポランスキーが映画化したもの。2002年に公開され、各国で賞を数多く受賞しました。 カンヌ映画祭では最高賞のパルムドールを、アメリカのアカデミー賞では監督賞、脚色賞、主演男優賞の3部門で受賞するなど、重要な賞を総ざらいです。 実は、この原作(ドキュメンタリー)を著した人が、このレコードでピアノを弾いている、ウラディスワフ・シュピルマンなのです。シュピルマンの録音は非常に少なく、このレコードでは、ポーランドの著名なヴァイオリニスト、タデウス・ウロンスキと共演しています。非常に興味深いシュピルマンの白テスト・プレス・レコードです。 歴史的にも、またレコード史的にも意味のあるものかと存じます。 盤: 83 ジャケット: 83 99-T43	14,800

24	ヘルベルト・ハイネマン(P) ウィルヘルム・シュヒター 北ドイツPO ガーシュウィン ラプソディ・イン・ブルー アディンセル ワルソー・コンチェルト ELECTROLA-IMPERIAL 60593 MONO フラット重量盤 10インチ 独オリジナル	白レーベル 青のスタンプで 14 mai 1959 押印 ハイネマンとシュヒターによるラプソディ・イン・ブルー、ワルソー・コンチェルト 北ドイツ風スタイルによって演奏された2曲、なかなか興味深い内容です。 1959年に製造された白テスト・プレス 盤:83 内袋 99-19	7,300
25	ハンス・ヘンクマンズ モラルト&ウィーンSO モーツァルト ピアノ協奏曲 24番 25番 PHILIPS A 00339 L MONO アズキ地に銀文字 Minigroove モーツァルト生誕200年記念ジャケット フラット重量盤 蘭オリジナル	ラベル上に非売品ステッカー貼り ピアノを弾いているハンス・ヘンクマンズは、PHILIPSのモーツァルトジュビリーで 協奏曲を任されたピアニスト。経歴は作曲家、精神医学博士、ピアニストという 顔を持つ。2曲の協奏曲のカデンツァも自作を披露している。演奏はモーツァルト の音楽をきっちりと弾き上げていて見事なものです。 モラルトの伴奏は、的を得た見事なもので、モーツァルトの音楽が溢れてきます。 モノラル時代のPHILIPSの柔らかな音色とPHILIPSトーンをたっぷり味わえます。 レコードの持つ音の鮮度が良くないと、決してこのような音は出てきません。 モーツァルト生誕200年記念に録音された1枚。 盤:81(79) ジャケット:81 99-T21	7,300
26	ミルカ・ポコルナ(P) スメタナ ピアノ作品集 DGG LPM 19117 MONO フラット重量盤 独オリジナル	1950年代のモノラル録音。ステレオ盤は出ていません。 ミルカ・ポコルナは、チェコの女流ピアニストで、叙情的な作品できれいな 音楽を奏でます。歯切れの良いタッチが印象的。 モノラルであることを感じさせない素晴らしいサウンド。 盤:83/79 専用内袋 96-42	5,600
	テスト・プレス ヴァイオリン チェロ		
27	アッカルド デュトワ LPO パガニーニ ヴァイオリン協奏曲 2番「ラ・カンパネラ」 ヴァイオリン協奏曲 4番 DGG 2563 454 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	白レーベルに紫の押印 Ungeprüftes Muster アッカルドがDGGに録音したパガニーニのヴァイオリン協奏曲より 2番と4番を収録。 アッカルドの弾くヴァイオリンが、眼前の冴えわたる！ その美音に酔いしれていただきたい1枚。 アッカルドが弾いているヴァイオリンは、クライスラーが使っていた Stradivari 1727 “Hart” 盤:85 専用内袋 99-T23	8,240
28	クレーメル J.S.バッハ 無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 1番 テレマン 無伴奏ヴァイオリンのための幻想曲～7番 パルカウスカス 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ エルンスト 練習曲6番～夏の名残りのバラ変奏曲 EURODISC 89855 STEREO 金色地に茶色文字 独オリジナル	ラベル上にUnverkauのスタンプ押印 全曲、無伴奏ヴァイオリンのための作品を収めたもので、 難曲をいとも簡単に弾き上げているように聞こえるのが恐ろしい。 どんなに難曲でも美しくなければ音楽ではないので、その辺の仕上げが クレーメルの間かせ所。舌を巻くとはこのことでしょうか。 盤:84 専用内袋 99-25	6,480
29	シュナイダーハン ゼーマン ベートーベン ヴァイオリン・ソナタ 5番「春」 9番 「クロイツェル」 DGG LPM 18620 MONO M33マレーベル 独モノラル・オリジナル	黄色レーベル 紫の押印 Ungeprüftes Muster(未承認マスター) 標題どおりの爽やかな雰囲気や幸福感を表現した《春》 スケルツォの導入、展開部の充実やロマン的雰囲気など、このジャンルに おける新しい傾向を示し、劇的緊張感や圧倒的な迫力が中間楽章の静謐な 情緒と対比されて充実した世界を形作る《クロイツェル》。 ベートーヴェンの名ヴァイオリン・ソナタ2曲を収録した一枚です。 シュナイダーハンとゼーマンによる息の合った演奏で、彫りの深い洗練された 響きによる格調高い調べを奏でています。 盤:82 ジャケット:81 99-29	5,800
30	エリック・フリードマン ヘンドル&シカゴSO パガニーニ ヴァイオリン協奏曲 1番 サン＝サーンス 序奏とロンド・カプリチオーソ RCA LSC 2610 STEREO 赤地に銀文字 ミジ 独オリジナル	レーベルは通常のレッド・シルバー・レーベル(独オリジナル)です。 ヴォルガング・ローゼ・コレクションの1枚です。 フリードマンの魔法のようなヴァイオリンの技を楽しめる1枚。 盤:81 ジャケット:76 99-36	5,500

31	エリック・フリードマン ブロック・スミス ヴァイオリン小品集 RCA LSC2671 STEREO 独オリジナル タルティーニ コレルリの主題による変奏曲 カステルヌオーヴォ＝テデスコ 海の小品 ヴィニャフスキー スケルツォ・タランテラ チャイコフスキー 憂鬱なセレナード リムスキー＝コルサコフ 熊ん蜂の飛行 クライスラー メヌエット シマノフスキー ロマンズ モーツァルト ロンド パガニーニ カプリース 17番 パガニーニ カプリース 21番 ディニーク ホラ・スタッカート ファリャ スペイン舞曲	白レーベル テスト・プレス ヴァイオリンの弦が見えるような、生々しい音がスピーカーから飛びします。 普及盤では、この音は無理だと思います。現代の優秀なカートリッジで再生したら、 いったいどんな音が出るのでしょうか？ 恐ろしくも、興味のあるところ。 盤: 81 オリジナル内袋 99-T37	15,000
32	エンリコ・マイナルディ チェロ小品集～ シューマン 民謡による5つの小品集op.102 グラジオーリ: アダージョ パラディス: シチリエンヌ グルック: 精霊の踊り シューベルト: アヴェ・マリア シューマン: タベの歌 ショパン: ノットルノ DGG LPEM 19054 MONO M33マレーベル フラット重量盤 独オリジナル	黄色レーベルに青インクで Ungeprüftes Muster(未承認マスター) 押印 この番号にLP33レーベルやM33四角囲みレーベルは存在しません。 このM33マレーベルでオリジナルとなります。 マイナルディ最高のレコードと言われているLPEM 19054のプロモ・レコード (黄色レーベル 紫の押印 Ungeprüftes Muster(未承認マスター)です。 プロモ・レコードもピンキリで、初期のものから後期のものまで色々です。 このレコードのランアウト・エリア(溝の終わった後の余白)には、本来、白テスト盤 に刻まれる6ケタの管理番号の刻印が残っています。これは白テストからオリジナル・ラベルでプレスされた最初の製造であることを意味します。商品化され るときには、この6ケタの管理番号はスタンパーから消されます。 このレコードをWolfgang Lohse氏が受け取った時、まだジャケットは完全に仕上 がっていないかったようで、白と黄色の見開きツートーン・カラー・ジャケットが付属 しますが、アルバム・クレジットは裏表ともに未印刷です。 レコードの音質ですが、チェロらしい深い陰影をたたえ、音はどこまでも 柔らかく響きます。それでいて、マイナルディの繊細な弓さばきはヒシヒシと伝わってき ます。弱音が消えてゆく余韻が美しく、弱音でもニュアンスは豊かです。 またチェロの朗々たる歌をたっぷり聴かせてくれるのも、本盤の特徴。 ドイツグラモフォンの最高のモノラル音をたっぷり味わえることでしょ。 このレコードの最高の音を約束してくれる1枚です。 コンディションは美品～概ね良好。ノイズのない素晴らしいサウンドを楽しむことが できます。もちろん、溝の傷みや減りは皆無、新品同様の溝かと思えます。 マイナルディ・ファンの方には、とても大事な一生のコレクションになるかと思ひ ます。録音監督ヴォルフガング・ローゼし所有ならではのウルトラ・レア盤になりま す。をお見逃しなく。 盤: 79～81 白と黄色の見開きツートーン・カラー・ジャケット: 80	184,000
33	ミルシテイン アバド VPO チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲 メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 DGG 2530 359 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	黄色レーベル 紫の押印 Ungeprüftes Muster(未承認マスター) このレコードも見事なサウンドです。 ムジークフェラインザールの豊かな響きを取り入れつつ、ミルシテインのクールな ヴァイオリンの美音を捉えています。 盤: 82 ジャケット: 80 99-T39	6,400
34	メニューイン フェラス(2nd Vn) マスターズ & パース音楽祭O. J.S.バッハ ヴァイオリン協奏曲全集 ELECTROLA E 91025 MONO フラット重量盤 独モノラル・オリジナル	白レーベルに黒文字 青のスタンプで1, Dez, 1959押印 ELECTROLAの白レーベル フラット重量盤によるドイツ初期のプレスです。 求心的なバッハを好む方には、このメニューイン以上の演奏はないはず。 特にこのドイツ盤は深々としたバッハの世界に誘います。 盤: 82 オリジナル内袋 99-T40	8,800
35	メニューイン パース音楽祭O. モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 1番 モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 2番 ELECTROLA SME18003 STEREO 白地に赤文字 金のリム	オリジナル内袋に青インクでUuverkaufliche Musterplatte ELECTROLA保管袋 メニューインのモーツァルト、鮮度の良い保管レコード。 盤: 81 オリジナル内袋 99-T41	5,800
36	ロストロポーヴィッチ リヒテル ベートーベン チェロ・ソナタ全集 PHILIPS 92961 (835 182-3) STEREO 独ブッククラブ発売 独初期プレス	835 182 白テスト・プレス 835 183 アズキ地に銀文字 あっと驚く素晴らしいサウンドを聞くことができます。 白テスト・プレスはテスト盤らしい鮮度の良い音。 アズキ・レーベルは完成盤で、文句のない素晴らしいサウンド！ 1セットで白テストと、完成盤を聴き比べ出来るセット。 盤: 83 ジャケット: 81 99-T42	12,000
	テスト・プレス ギター		

37	ジュリアン・ブリーム(G) プレヴィン LSO ヴィラ＝ロボス ギター協奏曲 5つの前奏曲 練習曲嬰ハ短調 ショティッシュ・ショール RCA LSC3231 STEREO 白レーベル テスト・プレス 独オリジナル	ヴィラ＝ロボスは、素晴らしいオーディオファイル 村治佳織さんが、とても美しいギターの音色！と絶賛するブリームの ヴィラ＝ロボス作品集です。録音は1971年。 ギター協奏曲は、ギターの冴えたテクニックを。B面のソロでは、ギターの 多彩な響きを堪能できます。 盤:80 専用内袋 96-45 ¥6,600	8,800
38	ペペ・ロメロ(G) スペインギター作品集 ガスパール・サンス スペイン組曲 ナルバエス、ミラン、ピサドール、マドレーラ ほか PHILIPS 9500 351 STEREO 白レーベル テスト・プレス 無地に万年筆で手書き(作曲家と曲目) 蘭オリジナル	まず、音質の良いことに驚かされます。 ギターに近いマイクのセッティング。 スペインはギター音楽の宝庫ですが、ここでは、15世紀～16世紀の作曲家 を取り上げています。ルネッサンスの懐かしさといにしえのロマンが音楽から 蘇ります。 音質は素晴らしい。 盤:82 専用内袋 96-46	7,800
39	ペペ・ロメロ(G) セレニオ・ロメオ(G) カルツリ 2台のギターのためのセレナード ジュリアーニ 協奏的変奏曲 PHILIPS 9500 352 STEREO 白レーベル テスト・プレス 無地ラベル 蘭オリジナル	ロメロ兄弟による、息の合ったデュオが素晴らしい！ 17世紀イタリアの作曲家による美しい旋律と2台のギターによる 音の広がり、和声の美しさ。 2台ギターの可能性は無限です。 録音が非常に優秀で、オーディオ的にも楽しめるはず・ 盤:85 専用内袋 96-47	7,800
40	ペペ・ロメオ(G) マリナー アカデミー室内o. ジュリアーニ ギター協奏曲2番 ジュリアーニ ギター協奏曲3番 PHILIPS 9500 320 STEREO 白レーベル テスト・プレス 無地ラベル 蘭オリジナル	ジュリーニのギター協奏曲2曲 天衣無縫と言いたくなる、美しい旋律が全体を彩る協奏曲。 いかにもイタリアらしい作品です。 ギターの弦の粒たちが目に見えるようです。 鮮やかな再生音。 盤: 専用内袋 96-48	7,800
	テスト・プレス 室内楽曲		
41	アマデウス弦楽四重奏団 ベートーベン 中期弦楽四重奏曲全集 弦楽四重奏曲 7番 ラズモフスキー1番 弦楽四重奏曲 8番 ラズモフスキー2番 弦楽四重奏曲 9番 ラズモフスキー3番 弦楽四重奏曲 10番 ハープ 弦楽四重奏曲 11番 セリオソ DGG LPM18435-6 3LP MONO スリーパー・ボックス M33マレーベル フラット重量盤 独モノラル・オリジナル	黄色レーベル 紫の押印 Ungeprüftes Muster(未承認マスター) このスリーパーボックスに入った3枚組が、この録音の最初の発売になります。 厳しくも、ベートーベンの音楽の魂に迫ろうとした気迫に満ちた演奏が全編に 漂います。中期作品の激しいドラマに、正面から立ち向かって、凄まじい演奏を 展開していきます。このレコードの音の生々しさ、まるで台風の中にいるようです。 モノラル盤は、ふたつのスピーカーの間に、4人の緊密なアンサンブルが展開しま す。ステレオは音が広がる分だけ、音質に気が向いて、ベートーベンの音楽の世 界に集中できない時もありますが、モノラル盤はベートーベンの音楽しか感じさ せない、絶対的な世界が待ち受けているのです。この3枚のレコードに針を下ろす時、 ベートーベンの弦楽四重奏の世界に一直線に向かうことになるでしょう。 フラット重量盤の音は、さらに音に厚みを加えて、充実したモノラル・サウンドを聞 かせてくれます。このセット、ほとんど再生した形跡がなく、溝は真新しい！ 盤:83 箱:81 99-T46	12,000
42	エッシェンバッハ(P) ドルツ弦楽四重奏団 シューマン ピアノ五重奏曲 シューマン 弦楽四重奏曲 1番 DGG SLPM 139 144 STEREO 白レーベル テスト・プレス チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 独オリジナル	このレコードの白レーベル・テスト盤は希少です。 素晴らしい音質 盤:83 専用内袋 96-203 16,800	22,500
43	ケルビーニ弦楽四重奏団 シューマン 弦楽四重奏曲 他 レコード番号不明 STEREO 独プレス	白レーベル 曲目など無記入 スタンパー番号 669701FA1 両面プレス 盤:85 白ジャケット 99-T51	5,200
44	タートライ弦楽四重奏団 モーツァルト 弦楽四重奏曲 K.515 ルートヴィヒ・ホフマン ベートーベン ピアノ・ソナタ 21番 「ワルトシュタイン」 A面: TELEFUNKEN BLE14064 B面: 不明 白レーベル テスト・プレス フラット重量盤	それぞれオリジナル時期のオリジナル 白テスト・プレスルト POPSサイドの内容は不明 ウルトラ・レア！ 盤:82 専用内袋 96-202	43,000
45	タートライ弦楽四重奏団 モーツァルト 弦楽四重奏曲K.421 B面POPS TELEFUNKEN LPM1227 MONO 白レーベル テスト・プレス モーツァルト・サイドはオリジナル POPSサイドの内容は不明	1957年、このタートライ弦楽四重奏団のTELFUNKEN録音の白レーベル・ テスト盤は非常に珍しい1枚です。 POPSサイドは1950年代のTELFUNKENに録音されたイージーリスニング 音楽。 盤:78/80 専用蓋つき内袋 96-201	29,500

46	デュ・プレ ズーカーマン バレンボイム ベートーベン ピアノ三重奏曲 7番「大公」 ELECTROLA 1C063-02049 STEREO 金地にカラー切手ニッパ 独オリジナル	内袋に 濃紺色で Muster zu Ihrer Information と印刷 Muster zu Ihrer Information内袋のレコードは、数枚比較し試聴してみましたが、明らかに音質が違います。おそらくレコードの完成形として調整が済んだレコードの、もっとも初期のプレスなのではないかと思われます。バレンボイムのピアノがクリスタルのように輝き、抜けてきます。デュ・プレのチェロからは、呼吸や間合いが伝わってきて、デュ・プレの「大公」のドイツ盤としては最高の音質。 三人の力点が合致した時の音楽の高揚のすごさは、ゾクゾクするものがあります。 3楽章の音楽のうねりの美しい波 デュ・プレは自然に音楽に乗り、その瞬間に音楽が生まれ出ていることがわかり、実にすばらしい。盤:83 専用内袋 99-T54	13,000
47	トリオ・サントリキッド メンデルスゾーン ピアノ三重奏曲 1番 ベートーベン ピアノ三重奏曲 6番 DGG LPM 18509 MONO フラット重量盤 独オリジナル	黄色レーベル 紫の押印 Ungeprüftes Muster(未承認マスター) オルネラ・ブリーティ・サントリキッド(P) アリーゴ・ベリッチャ(Vn) マッシモ・アンフィヒートロフ(Vc) 三人のイタリア人による情感豊かなメンデルスゾーンとベートーベン 盤:81 DGG専用内袋 99-T55	6,800
48	ホイトリック弦楽四重奏団 レーガー 弦楽四重奏曲op.121 ELECTROLA 1C063-29097 STEREO 金地に黒文字 カラー切手ニッパ プロモシール貼りラベル 独オリジナル	ホイトリックの素晴らしい演奏で、ぐいぐいと引き込まれるレーガーの弦楽四重奏曲。 盤:85 専用内袋 96-57	8,000
49	ボストン室内プレイヤーズ ドヴォルザーク 弦楽五重奏曲 2番op.77 DGG 2530 214 STEREO 白レーベル テスト・プレス 独オリジナル	盤:83 専用内袋 96-58	6,400
50	ラサール弦楽四重奏団 ベートーベン 弦楽四重奏曲 12番Op.127 16番op.135 13番op.130 大フーガ DGG 2563 782/3 2LP STEREO 白レーベル テスト・プレス	ラサール弦楽四重奏団(1976年録音) 後期四重奏曲より12番、13番、16番と大フーガを収めた2枚組。余り「解脱」だとか「彼岸」などと余計なことを考えずに聴いていて非常に楽しめる純音楽的な演奏。リズムに躍動感があり、アクセントも気が利いています。白レーベル・テスト盤ならではの新鮮な音から出るハーモニーの美しさは唖然とするほど。この辺はプロパのレコードはどうしても及ばないところと思います。4つの楽器の重なり合いはシンフォニックで、ベートーヴェンの最後の大作の新しさ、面白さを再認識させてくれるでしょう。 盤:88 オリジナル内袋 96-204	14,400
	テスト・プレス 歌劇		
51	カラス ディ・ステファノ カラヴァッシ ディツキー エルコラーニ セラフィン ミラノ・スカラ座O. ヴェルディ 歌劇「リゴレット」全曲 COLUMBIA C 90481/3 3LP MONO 青地に白文字で COLUMBIA 内袋に 青インクでTechnische Prüfstelle押印 フラット重量盤 オリジナル箱入り 独オリジナル	ずっしりと重いヘビー級プレス 3枚組 盤:82 ジャケット:80 1,3枚目ごく軽い盤面のふくらみ 96-209	15,800
52	レーヴェンゲート弦楽四重奏団 モーツァルト 弦楽四重奏曲K.458 ハイドン 弦楽四重奏曲 67番op.64-5 DGG LPM 18315 MONO フラット重量盤 独オリジナル	1/57 黄色レーベル 紫の押印 Ungeprüftes Muster(未承認マスター) レーヴェンゲートの味わいに満ちたハイドンとモーツァルトの四重奏。 フラット・プレスの音質も素晴らしい。 盤:81 ジャケット・フロントカバー欠落 99-T58	8,800
	テスト・プレス 声楽		
53	ロス・アンヘレス プレートル パリ音楽院O. ・ラヴェル:歌曲集『シェエラザード』 ・ラヴェル:5つのギリシャ民謡集 ・ラヴェル:2つのヘブライの歌 ・デュパルク:旅への誘い ・デュパルク:フィディレ ・ドビュッシー:『道楽息子』より リアのアリア『来る年も来る年もむなし』 ELECTROLA E 91276 MONO 白レーベル テスト・プレス 白ラベルに万円筆で曲名手書き 独モノラル・オリジナル	録音:1964年 エンジニア:ポール・ヴァヴァスール ロス・アンヘレス絶頂期のフランス近代歌曲集。プレートル&パリ音楽院管とのコラボレーションで理想的な名唱に仕上がっています。 盤:83/79 オリジナル内袋	8,800
	テスト・プレス その他		

54	ドイツ ARCHIV PRODUKTION 赤STEREOシリーズ 知られざる作曲家や作品を聞く、秘かな楽しみ マンハイムとウィーン(1760-1800) フランツ・クサバー・リヒター シンフォニアとフーガ短調 クリスチャン・カンナビッチ シンフォニア・パストラーレへ長調 カール・シュターミッツ オーケストラ・クアルテット イグナツ・ホルツバウアー シンフォニアト長調 ヴォルフガング・ホフマン指揮 アルヒーフ・プロダクション・オーケストラ ARCHIV SAPM 198 177 STEREO 赤STEREOジャケット 艶銀に12時STEREOマーク フラット重量盤 独オリジナル	見開きジャケット内側 紫の押印 Ungeprüftes Muster(未承認マスター) 見開きジャケット 12+61 カルテ付き マイハイムとウィーンで1760年～1800年の間に活躍した作曲家の作品を収めたアルバム。ちょうどこの時期は、モーツァルトの生きた時代がすっぽり収まることになります。古典派と言っても、様々な作風があり、実に興味深い。音質は初期アルヒーフの見事な音質。 盤:83 ジャケット:81 96-59 ¥5,080	6,780
55	マンハイムとウィーン ヨゼフ・ハイドン トランペット協奏曲変ホ長調 ヨゼフ・ハイドン ホルン協奏曲二長調 アドルフ・シェルバウム(Tp) ロルフ・リンド(Hrn) クリスタファー・ステップ & 北ドイツ放送SO ARCHIC SAP 195 005 STEREO 10インチ 赤STEREOジャケット 艶銀に12時STEREOマーク フラット重量盤 独オリジナル	ジャケット裏側 12+61 ハイドンのさりげなく魅力的な作品を、初期アルヒーフの素晴らしいサウンドで！ 盤:83/79 ジャケット:82 96-60	6,780
56	サイモン・ラトル バーミンガム市立SO パトリック・ドイル 映画「ヘンリー五世」の音楽 オリジナル・サウンドトラック EMI 7 499191 STEREO 白レーベル テスト・プレス 英オリジナル	パトリック・ドイル作曲 映画「ヘンリー五世」のオリジナル・サウンドトラック サイモン・ラトルとバーミンガム・シティによる演奏が聴きもの。 白レーベル テスト・プレスによる素晴らしい音質 レアです。 盤:79/80 オリジナル内袋 96-224	5,800
57	コストラネッツと彼の楽団 チャイコフスキー バレエ音楽「白鳥の湖」 抜粋 PHILIPS S04612L MONO 灰青地に銀文字 Minigroove フラット重量盤 蘭オリジナル	プロモ・シールがラベルに貼られたプロモーション用レコード。 ポッポス系のゴージャスな音が、初期LPのモノラル盤から飛び出します！ 骨太で、装飾や音の修正を加えないサウンドは、本格的な音に慣れたクラシックの方でも抵抗はないかと思います。クラシック演奏以上にインパクトのある音は、聞いていて楽しめるかとおもいます。分厚いフラット重量盤から出てくる軽音楽サウンドは見事というほかありません。モノラル・カートリッジで再生すると、さらにダイナミックな音が再生できるはずです。 コストラネッツは、ロシアのサンクトペテルブルク生まれ、当初はピアニストを目指していた。ロシア革命後の1922年にアメリカ合衆国に亡命。1920年代前半にラジオ番組の指揮者を務め、1930年代にCBSラジオで自身の番組「アンドレ・コステラネッツ・プレゼンツ」を持った。 大衆のためにいわゆるライト・クラシックの編曲や録音を行なったことで有名となり、オペラのアリアに加えて、ポピュラー音楽やミュージカル、映画音楽の名旋律も大オーケストラ用に仕立て直して演奏・録音した。 盤:77/81 ジャケット:81 99-T2	4,830
	テスト・プレス JAZZ		

58	EALLA AND LOUIS エラ・フィッツジェラルド ルイ・アームストロング ETERNA 825 072 STEREO 白レーベル テスト・プレス 独オリジナル このレコードの白レーベル テスト・プレスは非常にレア！！ 収録曲 1. お友達になれない？ 2. イズント・ジス・ア・ラヴリー・デイ 3. ヴァーモントの月 4. 誰も奪えぬこの思い 5. 青空の下で 6. テンダリー 7. 霧深き日 8. アラバマに星落ちて 9. チーク・トゥ・チーク 10. あなたのそばに 11. エイプリル・イン・パリ	J.A.T.P.コンサートの主宰で知られるヴァーヴ・レコードのノーマン・グランツは大物同士の共演盤を数多く録音したが、なかでもエラ・フィッツジェラルドとルイ・アームストロングの共演盤は白眉といつていい。 なにしるジャズ・ヴォーカルのファースト・レディとジャズ・ヴォーカルの元祖でありキング・オブ・ジャズの顔合わせである。これ以上贅沢なデュエットはちょっとほかに思いつかない。 ここでの2人は終始リラックスしたムードで淡々とデュエットを行なっていて、聴く者を心底なごませる。その歌声は素朴で暖かく、なにか歌の原点にふれたような気分になる。曲はすべてスタンダードなので、その点でも親しみやすい。あのエラがルイの前では愛らしい乙女のように映るから不思議だ。ルイの輝かしいトランペットも聴ける。バックはオスカー・ピーターソン・トリオにパディ・リッチを加えたカルテットで、これまた文句のつけようがない布陣。録音は1956年。文句なしの大名盤の東独ETERNA盤という非常にレアな存在の1枚。 盤：83 ETERNA共通ジャケット：83 96-145	33,000
59	ELLA AND LOUIS エラ・フィッツジェラルド ルイ・アームストロング ETERNA 825 072 STEREO オレンジ地に白の扇レーベル 独オリジナル	こちらは、白レーベル・テスト盤ではなく、東独ETERNA・オリジナル盤です。VERVEの独ETERNA盤はやはり非常に希少であり、入手難です。 盤：84 ジャケット：82 96-146	17,000
60	THE WAY I REALLY PLAY / オスカー・ピーターソン MPS 15180 STEREO 赤地に黒文字 内溝 独オリジナル この The Way I Really Play(邦題『オスカー・ピーターソンの世界』)はMPS時代の最高傑作として評判の高いアルバム。さらに、このレーベルは音がよいので、ピーターソンのテクニックが余すところなく捉えられているといわれています。録音は1968年4月、ドイツ、フリンゲン。スタジオ・コンサート風にリスナーが入っていて拍手などが聴こえます。メンバーはピーターソンのほか、サム・ジョーンズ(b)、ボビー・ダーハム(ds)のピアノ・トリオ編成。	1曲目 “Waltzing Is Hip” はタイトルどおり3拍子の曲ですが、ピアノのレンジをフルに使ったダイナミックで乗りに乗った演奏と、それをしっかりと捉えた録音に驚きます。このガンガンに飛ばす高テンションの1曲目から、実にリラックスしたムードの2曲目 “Satin Doll” へと繋がるところが最高です。その「サテン・ドール」が、リラックスしたムードで実によい。10分近い演奏なんです。全く飽きさせることなくピアノを目一杯に使ったフルレンジのオーケストラな演奏から単音でシンプルに展開するソロ、可憐な音使いで小さく花を咲かせたと思えばブルーザーにやぐざな音多用してみたりと、自在にピアノをコントロールしています。 3曲目は “Love Is Here to Stay” 華麗に球を転がしています。リズムが入ってくるとミディアム・テンポになりテーマを終えた後のアドリブは、これまたジャズ・ピアノのショーケース。「サテン・ドール」ほど長くありませんが、よくまとまった作品です。4曲目の “Sandy's Blues” はピーターソンのオリジナル。「サンディー」とはサンドラ夫人のこと。 タイトルどおりのブルースで、リラックス・ムードが横溢しています。途中からテンポアップしてブギ、速弾き、コード弾きと様々な技巧を駆使してエリントンが呼んだように「鍵盤の大王」の貫禄を見せつけ、再びテンポを落としてブルースになります。この辺の緩急のつけ方も心憎い1曲。 5曲目はディズニー映画の名曲 “Alice in Wonderland” 。1曲目と同じくワルツです。ビル・エバンスもこの曲で名演を残していますが、聴き比べればジャズ・ピアノ2大スターの個性の違いがよく分かります。ラスト・ナンバーは再びOPオリジナルで “Noreen's Nocturne” 。ノクターンとは名ばかりで、夜にかけたら目が覚めてしまうほど景気のいい曲。サム・ジョーンズがギリギリとベースを掻き鳴らし、ボビー・ダーハムが太鼓を連打して演奏を盛り上げています。ジャズのオーディオファイルとして、あまりにも有名な1枚。 盤：84 ジャケット：83 96-147	16,000
61	T-74 クインシー・ジョーンズ クインシー・ジョーンズの世界 MERCURY STRJ 83224 STEREO 独オリジナル	素晴らしいサウンド！ 白レーベル テスト・プレス 20, Dez, 1960押印 盤：83 オリジナル内袋 99-T74	8,800
	New Arrival 新入荷したレコードをジャンルごとにご紹介いたします		
	New Arrival 特選レコード		

62	クレメンス・クラウス VPO R.シュトラウス ツァラトゥストラはかく語りき DECCA LXT2548 MONO オレンジ地に金文字 内ミヅ フラット重量盤 英オリジナル	クラウスは若い頃からリヒャルト・シュトラウスに信頼されており、『アラベラ』『平和の日』『ダナエの愛』『カプリッチョ』の初演を任されていたほか、『カプリッチョ』では台本も書くという親密な関係でもありました。 また、クレメンス・クラウスは作曲家の思い描いた演奏をしたと言われていますが、当時のウィーン・フィルの豊饒な響きとともに、その解釈は現在が失ったものかも知れません。真にR.シュトラウスがこの曲に思い描いた世界は、1950年に録音されたこのレコードにすべて刻まれているといっても過言ではないでしょう。 この時期のウィーンフィルのうまさは圧倒的で、弦、金管、木管それぞれが、本当にウィーンフィルらしい音色を披露しています。この音をR.シュトラウスが意識しなかったはずはありません。この演奏を佳き日のウィーンスタイルと一言で片づけられないのは、作曲家のこの曲への思い入れを直に聞き、最晩年にあったクラウスの深い読みも相まって、スタートからして究極のR.シュトラウス演奏に至っていたということではないのでしょうか？ DECCA陣の録音は、この演奏のこぼれおちんばりかりの艶と美を見事に収めています。 オレンジ・ゴールド・デッカは、ラベル中心から1cmほどの内溝、これが最初期です。その後、外側から1cm位置の外溝に移行しました。当盤はその最初期の内溝版 英オリジナルとなります。 この時期で周期的なキズもなく、溝の傷みもない良盤です。これは非常に希少かと思えます。 盤:81 ジャケット:80 98-73	15,000
63	ショルティ VPO ニルソン クレスパン ルートヴィッヒ ホッター ワーグナー 楽劇「ワルキューレ」抜粋 DECCA SET 390 STEREO WIDE BAND 溝なし レーベル周囲 MADE IN ENGLAND 抜粋盤は、このラベルが初出	ショルティとVPOによる「ワルキューレ」全曲より抜粋。録音は1965年。 ラインの黄金と一緒にあったハイライト(曲数が少ない)はSXL2230で発売になっていますが、「ワルキューレ」だけで作れたハイライト盤はこれが最初。錚々たる歌手の代表的アリアを収めた構成になっています。全曲は5枚の長丁場で、聴き所を集めた本盤は全曲をお持ちの方にも、使い勝手の良い1枚になるのではないのでしょうか？B面冒頭に「ワルキューレの騎行」を収めていて、オーディオ機器のデモンストレーションにもってこいです。このワルキューレのハイライト盤は、なかなかお目にかからない1枚です。 盤:84 ジャケット:83	6,800
64	フルトヴェングラー パイロイト祝祭O. ベートーベン 交響曲 9番「合唱」 ELECTROLA WALP1286/7 2LP MONO 赤箱入り 箱の中に2セットの紙ジャケット入り マトリックス 2XRA 16-3/17-2/18-4/19-6 ラベルは、33 1/3四角囲みレーベル フラット重量盤 独オリジナル 【フルトヴェングラーの第九のオリジナルについて】 フルトヴェングラーのパイロイトの第九で、各国がオリジナルにスタンパーを切ったのは、ドイツ、イギリス、フランスの3国でした。 しなやかで高域のすっきりと伸びたバランスの良い英国盤、中域に華やかなを持つ仏盤、独盤は自国の音楽、演奏家ということもあって、独自の音作りがなされており、その彫琢の深い鳴り方と、他を圧倒する音の厚み、会場の熱気のような空気感がひしひしと伝わってくるように思います。	【最初期オリジナルの特徴】 最初期製造の品物には、いくつかの特徴があります。 1. 箱の中に、2枚の見開きジャケットでレコードがおさめられていること。 2. それぞれの見開きジャケットの FURTWANGLERのクレジットの上に、赤の流れ文字でWilhelmと付け加えられていること。 3. 解説書は付かず、それぞれの見開きジャケットの裏側に解説が付けられている。 4. 箱の周囲には赤い紙が貼られており、左上のニッパーマーク内にELECTROLAの文字は無く、代わりにマークの下に大きくELECTROLAの文字が印刷されている。 5. 箱の背表紙は、文字が小さ目で、BEETHOVEN, IX, SINFONIE d-moll op.125 FURTWANGLER WALP 1286/7 とクレジットされ、箔押し印刷である。 この箱は、すぐに製造を終了し、後の箱はWALP番号やFurtwanglerの名前は入っていない。 レーベルは、6時位置の33回転マークを、四角形で囲んだマーク(初期型)のちに三角で囲んだマーク。9時位置のELECTROLA印は「FREI」。これも後に「BIEM」となります。 マトリックスは、2 XRA 16-3/17-2/18-4/19-6」、ごく初期の製造です。 コンディション: 箱 箱のコンディションですが、全体に非常に良いコンディションです。 焼け、汚れ、角のつぶれもありません。見開きジャケットは、2枚とも非常に良いコンディションであり、しわや角のつぶれ、貼られたテープの剥がれもありません。オリジナルのまま、原型をとどめている貴重な存在だと思います。 コンディション: 盤 4面ともに、特にキズは見当たらず、60年ほど前のレコードとは、とても思えないほどの良好なコンディションです。今まで、見た赤箱オリジナルは、製造が古いのか、どこかに致命的なキズがあったり、ノイズが目立ったりしていましたが、このセットは、そういうノイズに悩まされることなく、フルトヴェングラーの名演に浸ることができるでしょう！4面ともに、キズのないコンディションというのは、本当に稀で希少だということをご理解いただきたいと思います。 初期製造 限定初版ボックス の見事なレコード・セットを御入手されるチャンスです！ 遂に登場！	130,000
65	ケンプ ベートーベン ピアノ・ソナタ 3番 10番 DGG LPM 18079 MONO LP33レーベル フラット重量盤 見開き青テープ貼りジャケット 独オリジナル	LP33レーベルによるケンプのベートーベン。 演奏自体はもちろんのこと、LP33の音質で是非、ケンプの至高のベートーベンを体験していただきたく掲載いたします。 DGGが1953年まで製造したLP33レーベルの音の宝石です。 ケンプの名演で、その素晴らしさを味わってください。 LP33レーベルは、レコードの数がごくわずかしかなことと、エア混入で大きなノイズになることが多く、あまりご紹介できないのですが、この1枚は奇跡的に非常に良いコンディションで見つけました。 盤:81 ジャケット:81 99-119	13,000

66	バックハウス ベーム VPO モーツァルト ピアノ協奏曲 27番 ピアノ・ソナタ 11番K.331 LONDON CS STEREO 赤地に銀文字 溝つき 米オリジナル(英プレス)	今更何の説明も要しない不滅の名盤 この演奏の良いところは、淡々としていながら部類のニュアンスを湛えているところ でしょうか。ピアニストも、指揮者も客観的ででありながら、音楽に対しては実に雄弁 という充実感に満ちた演奏です。1ミリのブレもなく、動かず、モーツァルトの音楽 に対しては核心的なのです。 英DECCAのマザー、スタンパー、マトリクス情報をアウト・エリアに刻んだ英工場で のプレスになります。溝付き、FFSS ラージ・LONDONロゴラベルということで、 1960年代初期のプレスです。みずみずしい音質に耳が洗われるようです。 バックハウスのピアノも、ら膨らむことなく、ベーゼンドルファーのしっとりした音色、 深い響き、ウィーンフィルの弦の艶やかな美しさは、さすがオリジナル盤といえましょう SXL盤は相場で10万円です、この価格差を考えるとCS盤は非常にお得です。 盤: 83 ジャケット: 73(右下傷み) 99-6	13,000
67	カルミレリイ・ムジチ合奏団 ヴィヴァルディ 四季 PHILIPS 6514 372 STEREO 赤地に銀文字 PHILIPS 蘭オリジナル	ステレオ録音で安心して「四季」を聞くら、私はこのピーナ・カルミレリイがリーダーが 務めた1982年盤をお勧めしたい。カルミレリイの作り出す音楽は、肩の力が抜けてい て、すべてのパートを均等に鳴らし、繊細な神経が行きとどいている。各情景ごとの 描写も的確を得たもので、必要な表現がどこにも誇張なくあてられている。イ・ムジチに これだけ合奏を徹底させたカルミレリイのリーダー力はたいしたものだと思う。 カレミレリイの弾くヴァイオリンは、細身であるが、決して神経質にならず、音楽の 情景を余裕を持って弾きわけてゆく。ヴァイオリンソロがすべてに優先したような 演奏、ヴァイオリン奏者の個性だけで聞かせるような演奏が多い中で、この演奏は ヴァイオリンソロと合奏のバランスが絶妙で、かつ作品の内容にも素直に入って行け る 得難い演奏だと思う。今まで気付かなかった音符の存在に気付いたり、時にはカレミ レリイの卓越した技巧に耳を奪われたり。録音も非常に優秀で、いまだに「四季」の ナンバーワンレコードだと思う 盤: 84 ジャケット: 83 98-61	5,400
68	99. グリュミオー カスタニョーネ クライスラー、パガニーニ ヴァイオリン小品集 PHILIPS D 99809 R MONO Minigroove 10インチ 蘭オリジナル	この50年代のグリュミオーのヴァイオリンは、非常に音色がチャーミングです。 この時期にグリュミオーが使っていたヴァイオリンが何か判明しませんが(それは グリュミオーが高名ヴァイオリン・コレクターでハスキルとのデュオの時も、 ハスキルに自慢のコレクションの解説を始めるので、練習がなかなか進まなかった、 というエピソードが残されているくらいなのです。 ただ、言えることは、ヴァイオリン小品集において、これほどふさわしいヴァイオリンは ないだろう、ということ。とにかく音色が艶と美しい音色で彩られているのです。 とても高価なレコードですが、今回はお買い得価格でご提供です。コンディションは この時期のオランダ初期盤としては、上々かと思います。 盤: 79/81 ジャケット: 82	6,800
69	マックス・シュトループ(Vn) ベーム & ドレスデン・シュターツカペレ ベートーベン ヴァイオリン協奏曲 ベーム・イン・ドレスデン Vol.1 ELECTROLA 1C137 5LP MONO 赤地にDAGAPOLレーベル マックス・シュトループ(1900-1966)はドイツの ヴァイ オリン奏者。1922年、当時ザクセン国立歌劇場の 音楽監督だったフリッツ・ブッシュ(1890-1951)の招 きでコンサート・マスターに就任。1924年から1928 年にワイマール音楽学校のヴァイオリン教授にな り、一方オットー・クレンペラーの要請でベルリン国 立歌劇場のコンサートマスターも務めた。1934年 にはピアニストのエリー・ナイ(1882-1968)、チェリスト のルートヴィヒ・ヘルシャー(1907-1996)とピアノ三 重奏団を組織した。カール・ベーム(1894-1981)は オーストリアのグラーツ生まれの大指揮者。グラ ツ大学で法律を専攻した法学博士でもある。1917 年グラーツ市立歌劇場で指揮者としてデビュー、 1921年ブルーノ・ワルター(1876-1962)に招かれバ イエルン国立歌劇場の指揮者になった。その後ダ ルムシュタット、ハンブルクの歌劇場の指揮者を歴 任、1934年にフリッツ・ブッシュの後任としてザク セン国立歌劇場の音楽監督に就任、1943年にウィ ーン国立歌劇場に転出するまでその地位にあった。こ れは第2次世界大戦勃発三カ月前の録音である。 当時ベームは45歳だった。カデンツァが聴き物。	このセットををご紹介するのは、カール・フレッシュの高弟で、かつてない高みに達した 名ヴァイオリニスト、マックス・シュトループが1939年6月29-30日にドレスデンにて、 ベームとともに、ELECTROLAに録音したベートーベンのヴァイオリン協奏曲が収めら れているからです。この録音は、SP以外は、このセット意外で聴く以外なく、非常に 貴重かと思えます。このセットは、ドレスデン時代のベームの録音を復刻したもので、 協奏曲編の本セットは、1930～1940年代の録音を収めています。 1枚目から詳しく見て行くと、 1枚目のソリストは、ヤン・ダーメン。 1920～1922年にベルリンフィルのコンサートマスターを務めており、その後、ドレスデ ン・シュターツカペレ、戦後のアムステルダム・コンセルトヘボウのコンサートマ スターも歴任した。カール・フレッシュの弟子で、その気品高い音楽性に定評があった。 2枚目 マックス・ツィモロングは、ポーランド出身のホルン奏者で、この録音が行 われた当時は、ドレスデン・シュターツカペレの首席ホルン奏者であった。 モーツァルト ホルン協奏曲3番 併録 モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジーク 3枚目 ルブカ・コレッサ(P)の弾くベートーベン ピアノ協奏曲 3番 当時から美人ピアニストとして非常に人気が高かったコレッサだったが、演奏家とし てでもパッションあふれる見事な演奏を聞かせる。 併録 ベートーベン レオノーレ3番 4枚目は、ギーゼキングとのベートーベン ピアノ協奏曲 4番 併録 エグモント序曲 曲の構築、感情表現、テクニック、どこをとっても完璧なベートーベン。 5枚目は、マックス・シュトループのベートーベン ヴァイオリン協奏曲 SP原盤: DB5516/20 + DBS5521 LP復刻初出 マックス・シュトループの弾くベートーベンのヴァイオリン協奏曲をLP化した、唯一の 音源。大変貴重です。 解説書には、この録音を復刻するにあたって、ベームより寄せられた直筆文が そのまま印刷されています。 盤: 85 箱: 83 解説書シミ少々	13,000

70	ジャクリーヌ・デュブレ バルビローリ LSO エルガー チェロ協奏曲 EMI ASD655 STEREO 赤地に白でHMV 半円ニッパ 英オリジナル	弓が弦をハシッととらえる瞬間、弦がブルンとふるえる瞬間のすべてがスリリング。 聴いていて体の熱くなる演奏だ。デュ・ブレは一音だけでリスナーを完全に魅了する。 洗練されすぎず、どこかに野趣が残る音。中身がギュッと詰まった密度の高い音。 そして、指の運び、弓の動きは自信に満ち、躍動感にあふれている。あまり小細工はしない。グイグイと前へ向かっていく弾き方だが、決して一本調子ではない。上り詰めて、もうこれまでと思ったその先に、さらに一段高いクライマックスが待っている。 デュブレのエルガーはやはり、英オリジナルで聞きたい。 盤:82 ジャケット:81 98-96	22,000
71	シュトロス弦楽四重奏団+ オズワルド・ウール(Vc) シューベルト 弦楽五重奏曲ハ長調 プライヴェート・レーベル プライヴェート録音 限定プレス 黄色に黒文字 オリジナルSTEREO 独オリジナル	カール・フレッシュの弟子で、最高のヴァイオリニストを挙げるとなると、このウィルヘルム・シュトロスとマックス・シュトループの二人になるのではないのでしょうか？ この録音は、シュトロスの晩年に自費製作という形で録音されました。 録音は1964年、ミュンヘン Tonstudioにての録音です。 自分が最後に聴きたいレコードを3枚挙げてみよ！と尋ねられたら真っ先に思いうかぶレコードがこれです。 まず、曲が良い。これだけ完成度の高い室内楽曲はなかなかないですね。 この曲の演奏において、シュトロスのこの録音ほど鬼気迫る演奏を知りません。 シュトロスは、この曲だけはメーカー主導のレコード作りでなく、納得のいく環境で録音したかったのではないのでしょうか？録音場所と録音機材はTonstudioでのプロのもの、発売レーベルは自主制作という形です。よって音質は上質です。 とても生々しい音。よけいなイコライジングやつぎはぎがないのは、聞いてすぐにわかります。それゆえ、この演奏に漂う特別な雰囲気、このレコードは伝えて止まないのです。演奏家が生涯に一度、物にするか、出来ないか、というレベルの演奏がここに展開されます。いつ聴くかは別にしても、この曲の至上の高みに至った演奏です。名演などというにはおこがましい気持ちになります。枚数が少ないので、久しぶりのご紹介になりますが、シューベルト弦楽五重奏曲の至高の演奏です。 なかなか巡り合わない稀少盤であり、シュトロスの偉大な記録として忘れることの出来ない1枚です。コレクターズ・アイテムとして価値の高い1枚です。 盤:85 ジャケット:84	88,000
72	マリア・カラス スカラ座のマリア・カラス COLUMBIA 33CX 濃紺地に金文字 MONO 英オリジナル	ケルビーニ「メディア」より スポンティーニ「ヴェスタの巫女」より ベルリニ「清教徒」より ベルリニ「夢遊病の女」より カラスのモノラル時代の張りのある声を存分に堪能できる1枚です。 発売は1958年 このレコードのステレオ盤は存在しません。 盤:82 ジャケット:80	9,980
73	エーリッヒ・クンツ ウィーン歌曲集 COLUMBIA 33C1032 MONO 紺地に金文字 英オリジナル	クンツのお国物を英COLUMBIAが録音したレコード。 このレコード、10インチ盤というところが粋です。 ちょうどよい長さであり、サクと楽しめるわけです。 通常、こういうクラシック歌手の余興的な歌唱はあまり、製作されませんが、クンツのウィーナ・リートは別です。品格ある歌唱とウィーンの味わい。 数本の弦、ギター、アコーディオンを伴って歌っていますが、伴奏を務めているのは、もしやしてウィーンフィルのメンバー？と想像してしまうほど、艶と味があります。 これは絶品です！座右に置いてくつろぎたいときに聴きたい。 コンディションは、50年代の製造とは思えないきれいさ。 盤:85 ジャケット:84 99-54	5,000
74	ヴィクトリア・デ・ロスアンヘレス アルス・ムジケー 古楽合奏団 ルネッサンス期(1446-1600)のスペイン歌曲集 HMV ASD STEREO 白地に赤文字 金のリム 英オリジナル	この当時、古楽器を使うことが珍しかった1961年に、あえて古楽器を使用して、歌われたロスアンヘレスの歌唱は、伴奏の奥ゆかしい古楽器の演奏とともに聴き手をいにしえのスペインに連れ去ってくれます。 また、偉大なスペインの歌姫、ロス・アンヘレスの頂点を記録したものともいえるでしょう。磨き上げられ、詩の意味を汲み取られ、歌の旋律に込められた歌唱は、もはや、誰もが越えられない高みに達していると思います。 悠久の時の経過をなつかしむだけでなく、スペイン歌曲の真価を刻みつけた、ものではないのでしょうか？ このレコードのために制作された解説書がまた凄い！30cm×30cm、16頁に及ぶ解説書は、ルネッサンス期のスペイン古書の味わいを持っています。エッチング、油絵の印刷、様々なポートレート印刷の美しさ、この解説書や見開きジャケットにかけた装丁を見ると、プロデューサーの並々ならぬ力量と愛情、そして莫大な費用がかけられて製作されていることがわかるのです。 こういうレコードこそ、持つ喜びの大きいレコードと言えましょう。 レコードというものが、まだ世間一般では高級品として扱われ、憧れとともに大切に売られていた頃のレコードであります。 このレコード、相場では20,000円～25,000円くらいです。(仏盤はもっと安価) 当レコードは、ジャケットに日焼けがありますので特価(盤はきれいです) 盤:85 ジャケット:84 99-54	10,800
	New Arrival オーケストラ		

75	アーベントロート ベルリン放送SO ライブツィヒ放送SO ハイドン 交響曲 97番 88番 ETERNA 820 047 MONO 緑地に黒文字 半円部にETERNA フラット重量盤 独オリジナル	88番はライブツィヒ放送交響楽団の演奏で1956年ライブツィヒ放送局スタジオでの放送用録音。97番の方は1955年1月20日ベルリン放送交響楽団の演奏で、ベルリン放送局スタジオでの放送用録音。音質は2曲ともかなり良い！ 88番のシンフォニーの最高の名演、これを超える演奏は、今後も現れそうにありません。 豊かなロマンの気分とハイドンの簡潔な構成をきちんと両立させた演奏で、印象に残る第2楽章のラルゴは、アーベントロートの独壇場です。何気ない演奏ながら、自然で、 デリカシーに富んだフレージング。柔らかな弦の音色で構成される至福のメロディーライン。沸き上がる感興。なんという慈しみの表現しょう！多くの巨匠が録音して曲ですが、あまりにロマンティック過ぎ、時代がかり過ぎていると思います。 また、アーベントロートは、楽章ごとの構造を鮮明に描き分け、特に速い楽章の演出の見事さが際立ちます。終楽章の圧倒的な立体感溢れるコントロールは、もはやアーベントロートしか成しえなかった領域。ここは実際に聞いて体験していただきたい。	6,300
76	アーヴェントロート ライプツィヒ放送SO シューマン 交響曲 4番 ETERNA 720 015 MONO 10インチ 青地に黒文字 フラット重量盤 独LP初出	1940年代 SPよりの復刻第1号 コンヴィチューニーの前身 東独で指揮者の頂点に立っていたアーヴェントロートですが、セッション録音は極めて少ない。このシューマンも偉大な録音で、古典美と大胆な表現を併せ持つ巨匠ならではの演奏。ときどき、ETERNA盤でも、こういう新品同様のレコードが入荷します。おそらく倉庫にストックされたまま、半世紀も眠っていたに違いありません。盤はピカピカ ジャケットは作り立てのようです。このレコードで、シューマンの4番を聞かれた方は幸せ者です。 緑レーベル フラット重量盤です。盤:M ジャケット:M	4,725
77	アンセルメ スイス・ロマンD. ベートーベン 交響曲 9番「合唱つき」 LONDON CS6143 STEREO 赤地に銀文字 ワイド・バンド 溝付き 米オリジナル(英プレス)	見開きジャケット ジャケット内ブルーバック仕様(見開きジャケットのため、ジャケット内2面がブルーバック仕様になっています。最初期の品物のみ)ZALスタンパー 1E/1E アンセルメの第九は引き締まった演奏で、緩徐楽章などまさに「クールビューティー」といった印象。終楽章に聴く若々しい合唱と、スター歌手たちによる四重唱も特筆すべきものです。サザラランドはこれがDECCAデビュー録音でした。アンセルメならではの、清々しさのある第九、他の指揮者では聞けないものです。録音も見事です。 盤:75 ジャケット:83 (2014-76-35)	6,720
78	アンセルメ スイス・ロマンD. ～特別記念レコード ボロディン「イーゴリ公」序曲 プロコフィエフ 3つのオレンジへの恋～行進曲 ストラヴィンスキー サークス・ポルカ サン＝サーンス 死の舞踏 / シャブリエ スペイン ドビュッシー 牧神の午後への前奏曲 リムスキー＝コルサコフ 序曲「五月の夜」 LONDON MS-4 MONO マローン地に銀文字 溝付き カナダ・プレス	アンセルメのモノラル時代の名演を1枚に集めた、特別記念レコード。 ジャケットの装丁(折り返し、ペラ紙ジャケット)から60年中頃の発売か？ すべての音源は、RIAAカーヴにてカットイングされています。 盤:83 ジャケット:83 (2014-76-35)	3,650
79	テストプレス 非常に珍しいラベルに Unverkaufliches を刻印レコード アンセルメ スイス・ロマンD. デュカ 魔法使いの弟子 オネゲル パシフィック 231 DECCA LW 5155 MONO 10インチ 黒地に金文字 12時位置にラージ・DECCA・ロゴ フラット重量盤 独オリジナル	このテスト盤は、ラベルにシールを貼ったものではなく、最初から商品とは別に、プレスして、ラベルに非売品と刻印を打ったのです。刻印によるテストプレスは、極めて珍しい。1950年のモノラル盤の、テストプレス、しかも新品同様で、溝にまったく傷みがありません。この時期の最高の音の鮮度を、体験していただけたと思います。当方で、一度だけ針を降ろしましたが、まるで、音がビジュアルのようにはっきりと見えます。作曲家が楽譜に書きこんだ音符が、克明に、クリアに鳴り響いてくるのです。レコード本来の音は、こんなにも、素晴らしいものなのです。ご自宅のモノラル・リファレンスとしてお持ちになりませんか？ オネゲルのパシフィック231は、アンセルメNIの献呈されている。 蒸気機関車が煙を上げて、ゆっくり動きだし、次第に加速してゆき、最後はフルスピードで走る様子を彷彿とさせるこの音楽は、全編聞かせどころである。 盤はドイツ盤 ジャケットは英国製(この時期は、こういう製造提携が多いです) 盤:85 ジャケット:83 2014-76-38)	5,980
80	アンセルメ スイス・ロマンD. オネゲル 交響曲 3番 交響曲 4番 DECCA SXL6394 STEREO WIDE BAND 溝なし 英オリジナル	この番号では、WIDE BAND 溝つきは存在しません。溝なしでオリジナルとなります。 マトリクス:1W/1Wの初期製造。音が襲いかかるように鳴りだし、息をつく間もなく、音楽は急展開。圧倒的な音の饗宴、英DECCAオリジナルの音の威力はすごい！ 録音技術とアンセルメの音楽の円熟が、結実した素晴らしいレコードです。 パリで、フランス6人組の一員として活躍したオネゲル。アンセルメはまだ無名に等しかったオネゲルを推薦し、多くの彼の作品の演奏を行ってきました。彼と手兵スイス・ロマンD管弦楽団によるオネゲルの貴重な録音を収録。その出世作を取り上げたアンセルメの演奏からは、同じスイス人としての友情が感じられ、大きな共感を呼びます。盤:84 ジャケット:82 (2014-76-39)	12,200

81	アンセルメ スイス・ロマンドO. ダンコ(S) モンモラン(Ms) ポーリーヌ・マルタン(Ms) ミシェル・アメル(T) ヴォー国民教会合唱団 オネゲル 交響的詩篇「ダヴィデ王」 U.ブツェル(S) M.ヘフゲン(Ms) ヘフリガー(T) モレ (Br) スタンブル(Bs) マルタン オラトリオ『地に平和あれ』 DECCA DPA 593/4 2LP STEREO 紫地に銀文字	アンセルメを語る時、無くてはならない音楽、当時からベストセラーになったアンセルメの代表的なレコード。「ダヴィデ王」は天下御免の名演！ マルタンの「地に平和」は、曲、演奏とも感動的。特にヘフゲンの歌唱には心を打たれる。ジュネーヴ放送局の依頼によって、戦争終結の日に放送用に作曲された。牧師の家庭に生まれたマルタンの平和を求める精神が音楽に表現された感動的な作品です。 パリで、フランス6人組の一員として活躍したオネゲル。アンセルメはまだ無名に等しかったオネゲルを推薦し、多くの彼の作品の演奏を行ってきました。彼と手兵スイス・ロマンド管弦楽団によるオネゲルの貴重な録音を収録。その出世作を取り上げたアンセルメの演奏からは、同じスイス人としての友情が感じられ、大きな共感を呼びます。マルタンの作品は、 盤:85 ジャケット:84 (2014-76-41)	5,980
82	アンセルメ スイス・ロマンドO. サン＝サーンス 交響曲 3番 DECCA SXL6027 STEREO WIDE BAND GROOVE レーベル周囲 MADE IN ENGLAND 英2版	録音:1962年 アンセルメのウルトラ・ハイファイ・レコード！2版と言っても、ワイドバンド 溝つきレーベルで周囲の文字だけが変化。一般的にこの場合のオリジナルと2版の差はないと言われています。当時、20Hzが収録されている唯一のレコードとして一世を風靡しました。アンセルメの最高のオーディオファイルの1枚と言われているDECCAの名録音、初期盤では是非、お聞きください。 盤:83 ジャケット:83 (2014-76-42)	19,200
83	アンセルメ スイス・ロマンドO. ストラヴィンスキー プルチネルラ DECCA SXL6230 STEREO 黒地に金文字 12時位置に四角囲みDECCA 内溝 独オリジナル	ROYAL SOUNDカッティング。(ノイマン新サーボ式カッティング・マシン使用)音のじみのない素晴らしいカッティング音。(後にこのROYAL SOUNDで使われたカッティングマシンの自動サーボシステムは、SX68の名で機械に組み込まれました) 初期盤の初々しいサウンドが、さらに艶と質感を増してカッティングされています。この曲の初演者アンセルメによる、新古典派の簡潔で、斬新な響きは、アンセルメ好み、実に自由で、生き生きとした演奏を展開していて、聞いていると、秋空のように、気分が清々しくなってきます。音質も良、お勧めの1枚。 独オリジナル盤。 盤:84 ジャケット:82 (2014-76-43)	8,280
84	アンセルメ スイス・ロマンドO. ストラヴィンスキー バレエ音楽「きつね」～ジェラルド・イングリッシュ(T) ジョン・ミッチンソン(T) ペーター・グロソップ(Bs) ヨゼフ・ルルー(Bs) ロシア風スケルツォ 歌劇「マヴラ」～ジョアン・カーライル ケネス・マクドナルド ヘレン・ワッツ モニカ・シンクレアー DECCA SXL 6171 STEREO WIDE BAND GROOVE レーベル周囲 MADE IN ENGLAND 英2版	「きつね」 この時期ストラヴィンスキーはハンガリーの民族楽器「ティンパロン」の名手に出会い、その響きに魅了された。ティンパロンは打弦楽器の一種で、打楽器のように両手に専用のマレットをもって、むき出しの弦を叩くもの。コダーイが「ハーリ・ヤーノシュ」でも使っている。ストラヴィンスキーは、ティンパロンの独特の音色を現代的に扱い、ジャロロン……と、乾いて不気味な響きを醸し出す。琴のようにも聴こえ、異国情緒があり、さらにはきつねの狡猾さも表している。 アンセルメはなんといっても初演者の強み。リズムさばきが見事だけでなく、なんともいえない味がある。アンセルメの新古典主義モノは皆、本当にすばらしい。 「ロシア風スケルツォ」 1943年から1944年に作曲された。ポール・ホワイトマン・バンドのために作曲されたのがオリジナルで、アンセルメ盤は管弦楽版の方を使っている。 ペトルーシカのロシア舞曲を思わせる軽快で行進曲風の旋律が奏され、そのあと対照的で幻想的な旋律がピアノなどを中心に現れるが、冒頭の旋律が繰り返されながら、華やかな感じの中、突然終わります。 歌劇「マヴラ」 1921年から1922年にかけて作曲された歌劇。プーシキンの短篇「コロソナの小さな家」に基づく、1幕もののオペラ・ブッファである。ストラヴィンスキーらしいリズム、歌と管楽器の絡み合い、非常に簡潔で、ファンタジックな味わいもある作品。 この3曲、今でも、アンセルメの演奏を超えるものは出ていない。録音も良く、盤のコンディションも申し分なし。ストラヴィンスキーの小品3曲の決定版である。 マトリクス:1W/2G 盤:85 ジャケット:83 (2014-76-44)	12,900
85	アンセルメ スイス・ロマンドO. ストラヴィンスキー 詩篇交響曲 ストラヴィンスキー 3楽章の交響曲 DECCA SDD 238 STEREO Ace of Diamond 英再発	マトリクス:3L/2E エース・オブ・ダイヤモンドの1枚。ZALオリジナル・スタンパー使用。音のじみはまったくなく、音も鮮明で、みずみずしい。カッティング・レベルは若干低め。普通の音量では、やや物足りなく感じる音ですが、もうすこし、音量をあげてやると、思いもよらなかった音を溝から拾い上げることが出来ます。その鳴り方は底なし！ピアノニッシモからフォルティッシモまで、圧倒的なダイナミクスで、ストラヴィンスキーの原始的なリズムが再現されていきます。詩篇交響曲で、かつてこれほど声楽の言葉が明瞭に響いたためしがなく、合唱とオケの妖しいまでに美しく神秘的なかけ合いに固唾を飲むことでしょう。この曲がわからない、という方は、是非、このアンセルメ盤を聞いてみていただきたい。本質を外さないDECCA録音陣の見識の高さ！三楽章の交響曲は、かのバーンスタインがウェストサイドで、取り入れたアクティブな管弦楽法が駆使されており、そのスタイリッシュな響きが、息もつかせないテンポで聴き手に迫ってきます。DECCA録音陣の腕の見せ所満載！荒ぶった凶暴なオケを、アンセルメが実にダイナミックに表現。 盤:85 ジャケット:83 (2014-76-45)	4,400

86	アンチエル チェコPO ドヴォルザーク 交響曲 9番「新世界より」 SUPRAPHON ST 50054 STEREO 赤地に銀文字 録音:1961年 プラハ ルドルフィナム チェコ・オリジナル	さすがに自国作品にみせるアンチエルの指揮は、内側からの表出力を支えとした力強さがあり、他のレパートリーにはない張り輝きがあります。もちろん、抒情的味わいも豊か。 ドヴォルザークが残した最高の傑作を、感動的に歌いあげた気迫に圧倒される思いです。全体に淡々とした流れを持ち、各楽想の表現が明確で直截的。それでいてこの曲から実に豊かな情感を引き出して、がっちり作り上げた中の味わいとして、何度聞いても飽きのこない奥ゆかしささえもつ見事な名演。 輸出用に製造されたこのレコードは、トータルの音調を整えてあり、音の厚みや鮮明さ、芯のあるサウンドは大型装置にまで堂々たる音を鳴り響かせる。盤:85 ジャケット:82	7,500
87	アンチエル チェコPO マルティヌー 寓話集(3曲) カベラック 時の神秘 SUPRAPHON SV8221 STEREO 赤地に銀文字 トライアングル・レーベル チェコ・オリジナル	録音:1961年 マルティヌーの「寓話」(全3曲から成る)は、サン・テグジュペリの「城砦」からインスピレーションを得て作曲されたもの。ドビュッシーのように作曲したいと語っていた、マルティヌーの管弦楽作品。近代作品に一家言を持った指揮者アンチエルが、自国チェコの作曲家マルティヌーとカベラックの作品にみせる渾身の演奏。 盤:85 ジャケット:83	5,800
88	アンチエル チェコpo パレニチェク(p) マルティニー ピアノ協奏曲 3番 ノイマン チェコpo パルチク(Vn) マルティヌー ヴァイオリン協奏曲 Supraphon SV8037 STEREO 赤地に銀文字 トライアングル・ステレオ チェコ・オリジナル	録音:1961年 空間ときれいに響くエコー、音がホールにうまく溶け込んでいて、自然なプレゼンスが広がります。 近代作品にありがちな、誇張されたようなハイファイ音ではなく、ごく自然に、しかし、音ひとつひとつのクオリティはとても高いレコード。 マルティヌーの2曲の協奏曲を、アンチエルとノイマンが伴奏を務めたレコード。自国の同世代の作品だけに、独奏者ともども、演奏に熱が入ります。盤:85 ジャケット:83	5,800
89	カイルベルト パンベルグSO スメタナ 交響詩「モルダウ」 「ボヘミアの森と草原から」 TELEFUNKEN STW 30237 STEREO 10インチ 艶黒地に金の扇レーベル 独オリジナル	驚くべきサウンド! 透明感があり、音の浸透性が高い。 音のエッジが立ち、弦のピチカートがリアル、金管の輝かしい音色も素晴らしい! 10インチ用に切り出されたレコードの初期のプレスではないかと思われます。 初期のステレオは、こういう風に、1枚づつ音が違っているのが特徴です。 実際に聞いてみるまではわかりません。 カイルベルトの演奏は、奇をてらわず、音楽を総合的にまとめあげ、ダイナミックに盛り上げて聞かせます。その雄々しい表現に引きつけられてしまいます。 盤:M ジャケット:M	4,200
90	カイルベルト パンベルグSO モーツァルト 交響曲 39番 41番 TELEFUNKEN SBT 448 STEREO 黒地に金文字 金の線による扇レーベル Telefunken60年代後半プレス	盤:81 ジャケット:81 76-257	4,200
91	カラヤン VPO R.シュトラウス ツァラトゥストラはかく語りき DECCA SXL2154 STEREO 黒地に金文字 12時位置のDECCA 四角囲みロゴ ROYAL SOUND 独2版	録音:1959年 ウィーン ゴフィエンザール 英DECCAのED3と同時期のプレス 英DECCAのある意味、派手でエッジを利かせた音ではなく、音にクセが少なく、すっきりとしています。音量を上げるとどこまでも低域や高域は伸びてゆき、底なし。 DECCAのキャラクターより、本来のクオリティで聞かせる音。ROYAL SOUNDになって一層音に艶やかさが生まれました。 この番号になるときに、スタンパーは完全に切り直されていて、60年代後半のELDECの音がすっきりと鳴り響きます。この時期のレコードは本当の意味でのワイドレンジを歌っていたので、マスターテープに近い本来のダイナミズムを聞くことができるでしょう。 「ツァラトゥストラ」の演奏は大変有名で今さら語ることもあまりありませんが、ウィーン・フィルの特徴を活かしたサウンドです。冒頭のオルガンの上に金管が有名なファンファーレを吹きますが、意外にまろやかな音色で後年のベルリン・フィルとの違いが際立ってます。 第6曲で木管や弦楽器が室内楽風に交差する前半は、オーストリアという同じ土壌で育った音楽家同士の阿吽の呼吸ともいえるサンサンプルの妙を楽しむことができます。主に第8曲で聴かれるボスコフスキーのソロもチャーミングに響きます。 盤:85 ジャケット:85	9,800
92	カラヤン BPO シュヴァルベ(Vn) ヴィヴァルディ 四季 DGG 2530 296 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	1972年 サンモリッツ フランス教会 中域の艶が麗しい、サンモリッツ録音による「四季」。この時期、カラヤンは夏になると、スイスのサンモリッツに、ベルリンフィルの腕利きを連れて録音拠点を移動していました。当然、編成の少ないバロック作品などが多く、カラヤンもそれほど気張った姿勢がなく、品の良い演奏が多い気がします。 しかし、この演奏では、何とんでも、ミスター・コンマスこと、シュヴァルベのヴァイオリンが見事です。カラヤンの指揮は、さすがに曲想を印象づけるアクセントや表現がうまく、バロック音楽の範疇を超えることなく上品にまとめています。 盤:85 ジャケット:83	4,850

93	カラヤン BPO シューマン 交響曲 3番「ライン」 DGG 2530 447 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	録音:1971年 ライン地方の明るい生活を反映させた第3番。シューマン特有のファンタジーと濃密なロマン性が横溢する音楽を、鮮やかに聞かせてくれる1枚。 盤:85 ジャケット:83 86-17	4,860
94	カラヤン BPO チャイコフスキー 弦楽のためのセレナード ドヴォルザーク 弦楽のためのセレナード DGG 2532 012 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	録音:1980年 弦楽器の音色の魅力をとことん追求し、カラヤンらしい華麗で壮麗な響きをもって、聴き手に訴えかけて来ます。 特にチャイコフスキーの第三楽章「エレジー」の後半部分で、弦楽器がミュート(弱音機)をつけて演奏するところがあるのですが、その弱音の響きは言葉に言い表せないほど、冷たくも、美しくそして濃厚な響きがします。この芸当はカラヤンにしかできないかも知れません。 盤:80 ジャケット:85 86-18	3,560
95	カラヤン BPO グリーグ ペール・ギュント第1組曲 第2組曲 シベリウス ペレアスとメリザンド DGG 2532 068 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	録音:1982年 録音状態は非常に良い。透明度の高い、涼しい硬質感のある演奏である。妖艶で官能的。ダイナミックで劇的効果も抜群！陶酔するようなシーン、さまざまな演奏スタイルを持っていて、ちょっとしたオペラを観ているような気分になってしまうほど。これは、カラヤンの手中にビタリと収まった名演！盤:85 ジャケット:83 86-19	4,830
96	カラヤン BPO シュヴァルベ(Vn) R.シュトラウス ツァラトゥストラはかく語りき DGG 2530 402 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	録音:1972年 この有名なファンファーレの冒頭、パイプオルガン以外の楽器も加わっていることはご存知でしたか？コントラファゴット、大太鼓、コントラバスです。 ちなみに、オルガン以外はピアノニッシモ。オーデイオ装置が喜ぶような見事な録音！これを聞き分けられるレコードはごくわずかです。 70年代の録音はカラヤンとBPOが絶頂期にあったことを再認識させる演奏で、カラヤンのシュトラウスとの相性の良さが際立っています。 華麗、雄弁、精緻で複雑なオーケストレーションを存分に堪能できます。 盤:85 ジャケット:83 86-20	4,830
97	カラヤン BPO リアス室内合唱団 ホルスト 組曲「惑星」 DGG 2532 019 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	録音:1981年 カラヤンがデジタル録音時代に入って真っ先に取り上げた作品が、この惑星でした。結果的に重厚にして輝かしいカラヤン／BPO黄金時代の輝きを記録した、素晴らしい名演が誕生！スタジオ録音の割にはライブっぽい勢いのある演奏で、カラヤンが演奏にのめりこむように音楽を引き出しているのがよくわかります。 録音も申し分なく、カラヤンのレコード中でも、三拍子そろった名盤。 盤:85 ジャケット:82	4,830
98	カラヤン BPO フルニエ(Vc) R.シュトラウス ドン・キホーテ DGG 139 009 STEREO チューリップ レーベル周囲にMade in Germany.... 独オリジナル	録音:1965年 Solo-Vc:ピエール・フルニエ、Vla:ジュスト・カッポーネ。 オケの透明度とチェロらしい響き、カラヤンのオケをドライブする表現力は驚くべきものがある。盤:83 ジャケット:82 86-22	6,800
99	カラヤン BPO ドビュッシー 海 牧神の午後への前奏曲 ラヴェル ボレロ ELECTROLA 1C 065 02953 STEREO 赤地にカラー小切手ニッパ 独オリジナル	頂の極みにあったカラヤン／ベルリン・フィルの演奏です。カラヤンの巧みな描写力により、その精緻な表現が音楽の核心をついています。フランスならではの指揮者が奏でる音楽とは一線を画した、大きく据えた視点による、まさにカラヤンでしか成し得ない独得なフランス音楽の世界がここに展開されています。 盤:85 ジャケット:83 86-24	5,600
100	カラヤン BPO ワーグナー ニュルンベルグのマイスタージンガー さまよえるオランダ人 ローエングリン 第3幕への前奏曲 パルシファル 第1幕への前奏曲 第3幕への前奏曲 ELECTROLA 1C 065 02604 STEREO 赤地にカラー小切手ニッパ 独オリジナル	録音:1974年 カラヤン、ベルリン・フィルの全盛期の録音。官能的ともいえる美しさに満ちた「パルジファル」などを収録。艶やかで、しかも最大限のダイナミズムを表出した、BPOの圧倒的な力量を見せつけられる一枚。 盤:85 ジャケット:84	
101	優秀録音 エーリッヒ・カンゼン シンシナティSO チャイコフスキー 大序曲「1812年」 チャイコフスキー イタリア奇想曲 マゼッパ〜コサックの踊り TELARC DG 10041 STEREO 赤地に黒文字でTELARC 米オリジナル	世界中をあっと言わせた、スーパーオーデイオ・ファイルです！ 全体にサウンドがゴージャスで、生のオケ以上のクオリティで、部屋の中がコンサート・ホールになってしまいます。それも1階の最上の席位置です。有名な1812年の大砲の音は、当時、針飛び続出です！レコードが悪いわけではありません。容赦なく切っただけある溝は、肉眼でもうねうね〜と凄まじい溝の形です！問題の音ですが、大砲の音が本当に近く、大砲の中にマイクを突っ込まない限り、こういう音は収録できないのでは？というほどオンマイクで、炸裂音のリアルには度肝を抜かれます！イタリア奇想曲も、マゼッパの音楽も、もちろん、高音質！一度は聞いて置きたい、超優秀録音盤！盤:82 ジャケット:82 76-238	4,200

102	クーベリック VPO シューベルト 交響曲 8番「未完成」 ELECTROLA STE 70439 STEREO 10インチ 白地に赤文字 金色のリム 独オリジナル	この独盤の、重心が低くて、豊かなサウンドを一度でも聞いてしまうと、他国のレーベルで聴く気が起きないかもしれません。 ウィーンフィルは、非常に熱演で、最初からオーケストラが本気を出していることがすぐにわかります。気合に満ちた演奏とクーベリックの底知れぬスケール感のある指揮が、この丁々発止とした演奏に、余裕を生む、という、本来なら相容れないスタイルが生まれました。むしろ、それが不思議とシューベルトの音楽を盛り上げていくのです。 盤面：M(ごく小さくゆるやかな表面のふくらみ ごく軽いもの) この時期のELECTROLAは、非常に音が良いですが、盤面のふくらみが悩みのタネ。これを避けることは出来ないのです、この時期の、このレーベルのキャラクターだとしてご理解ください。価格は調整してあります。ただ、この盤のふくらみはごく軽い方です。盤：81 ジャケット：81	5,800
103	カラヤン PO シュワルツコップ ルートヴォッヒ ゲッダ ザッカリア ベートーベン ミサ・ソレムニス COLUMBIA STC91019/20 STEREO 白地に赤文字 金の輪 独オリジナル	ウォルター・レッグが莫大な費用を投じて録音した渾身の作品。指揮者、オケ、歌手、すべて引越し公演のようにウィーンに赴き、ムジークフェラインザールにて録音したもの。あえて、レッグがムジークフェラインザールを指定した理由は、何だったのか？ この録音を聞いて読み取っていただきたい。英COLUMBIAはモノラルのみの発売。独盤は当初よりステレオにて発売した。 このレコード、製造時期に使用していた材質の問題だと思えますが、盤面にふらみが出ています。カラヤンの「ミサソレ」で、ふくらみのない盤を見たことがないので、この時期の独COLUMBIA盤は、盤面のふくらみは避けがたいものと思えます。 価格的には十分その点を考慮しました、皆様のご理解をいただけますとありがたいです。盤：83 箱：84 解説書付 1311-76127	7,800
104	クレメンス・クラウス VPO R.シュトラウス 英雄の生涯 DECCA LXT2729 MONO オレンジ地に金文字 エンブレム・レーベル フラット重量盤 独オリジナル	これも素晴らしいサウンド！ 極上のモノラル音を聞くことが出来ます。音の芯を感じさせつつ、豊かな中域音のこもる感は無。実に音楽的な再生音。 シュトラウス作品を、ウィーンスタイルで演奏したお手本のような演奏。1950年代のウィーンフィルが今では聞くことの出来なくなった味わいと名人芸を、いたるところで披露していて、指揮者の音楽、ウィーンフィルの演奏、初期独DECCAの素晴らしい音色を、それぞれに楽しむことができます。これらを総合的に聞く時、言葉では言い現わせない感動に包まれるのです。 盤：82 ジャケット：81 86-34	8,400
105	エーリッヒ・クライバー ケルン放送SO モーツァルト 交響曲 39番 6つのドイツ舞曲K.600 ~1番、5番 4つのドイツ舞曲K.602 ~3番 3つのドイツ舞曲K.605 ~3番 ウェーバー 交響曲 1番 AMADEO AVRS 5010 MONO 黒地に銀文字 12時位置にAMADEOロゴ 独オリジナル	アマデオ盤による見事な再生音。艶と鮮明な音質で、クライバーの演奏を克明に聞かせてくれます。このAMADEO盤を聞いてしまうと、ほかの音源のものは、寝ぼけた印象に聞こえてしまうかもしれません。演奏は、39番のシンフォニーが、巨匠の真骨頂！モーツァルト生誕200年を迎えた1956年、アニヴァーサリー・イヤーに合わせた特別な演奏で、クライバーが全神経を集中して、演奏にあたっているのが、ひしひしと伝わってきます。余計な表情はつせず、早めのテンポでぐいぐいオケを引っ張っていくのですが、その音楽の充実度たるや、驚きの連続です。39番の演奏でも5指に入れているのではないのでしょうか？また、B面冒頭のドイツ舞曲からの4曲は、クライバーの大胆な表現に、ド肝を抜かれます。ウェーバーの作品も大変な力演で、ウェーバー好きだったクライバーの愛情さえ伝わってくるような演奏です。全体には、クライバーの芸風の肝、格調の高さとあふれる愉悦が演奏の中に横溢しており、素晴らしい完成度を誇っていると思います。 盤：M ジャケット：M	5,250
106	エーリッヒ・クライバー ACO. ベートーベン 交響曲 7番 DECCA LXT2547 MONO オレンジ地に金文字 フラット重量盤 独2版	エーリッヒ・クライバーの7番、独2版 LXT時代の独盤は数が少なく、この2版もレアな存在。 音は初版と比較すると、音がすっきりと引き締まり、切れのある音に仕上がっている。英LXT以上の彫りの深さ、克明なサウンド。 力強さ、鮮度、申し分なし。音質と価格のバランスではすごいハイCP！ 盤：81 ジャケット：79 86-33	5,250
107	クレンペラー ニューPO BBC合唱団 ギーベル ペーカー ゲッダ プライ クラス J.S.バッハ 口短調ミサ ELECTROLA SMA91691-3 3LP STEREO 金地に黒文字 白のニッパ・マーク 独オリジナル	録音：1967年 ELECTROLAならではの重厚で分厚い響きが、バッハのミサ曲にふさわしい風格を与えています。音量をあげると部屋を埋め尽くす合唱団とオケの音の圧力は圧巻です。 横に広がる音ですが、音は厚く、合唱、独唱、各楽器のソロは、余裕ある間隔をとり、広々と鳴ります。コントラバスは存在感がたっぷり、伽藍のような音響を支える重要な役割を担います。 クレンペラーは、この曲の核となる合唱に、BBC合唱団を選び、精緻で、表現力に富む演奏を実現しました。なんでもクレンペラーは、過去、この曲を総勢250名で演奏したが、失敗に終わり、以来、この曲は指揮の行きわたる小編成にかぎると言及しているという。 あらゆるパートがクレンペラーの手中に収められ、何とも言えない熱さが伝わって口短調である。盤：85 箱：82 解説書付 86-28	21,000

108	クレンペラー PO ブラームス 交響曲 3番 ブラームス 大学祝典序曲 COLUMBIA SMC 91633 STEREO 白地に赤文字 金色のリム 独2版	クレンペラーの指揮は余計な誇張がない分、実にきりりとしている。両端楽章にそうした傾向が如実に現れていて聴いていて心地よい。面白いのは第2章Andanteで、どこもだれることなく、ブラームスの音楽を歌い切っている。ここだけを聴いてもクレンペラーの非凡さが分かる。第3楽章も非凡だ。感傷に陥る一歩手前で止まっているし、よくありがちな安っぽさがない。オケの木管セクションの音色にもほれ惚れる。ため息が出るほど美しいフレーズをしみじみと聴かせている。終楽章は恐るべき緊迫感の中で演奏されている。最もクレンペラーらしい演奏をした楽章で、変な表現だが、大理石でできた筋骨隆々のヘラクレスを想起させる。すばらしい！こちらは独盤の2版。鮮明な音質です。盤:82/79 ジャケット:M	3,675
109	クレンペラー ニューPO ニューPO合唱団 ゼーダーシュトレーム ヘフゲン クメント タルヴェラ ベートーベン ミサ・ソレムニス ELECTROLA SMA91490-2 2LP STEREO 金地に黒文字 白のニッパー・マーク 独オリジナル	録音:1965年 芯のある音、中域の密度感、オーケストラがどっしりと構え、独唱歌手の声は、粒が立って、合唱団の前にきっちり定位します。このレコードの驚くべき点は、音楽が高揚してくる場面での、渦を巻くような音の迫力である。低音はどんどん出てきて、合唱団は克明にしかし、熱く鳴り響き、テンポは加速を加え、音楽の熱気が全体を包み込んでいる様子が、見事にレコードに収められている。これだけ音楽にのめり込んでいるクレンペラーも珍しいと言える。英国SAN規格は、もうすこし、音はクールでしなやか。ドイツ盤は本当にホットな音がします。また、英盤では、ほとんどの盤は音割れや濁りが出てしまっとうまく再生出来ないレコードが多いですが、ELECTROLAのこのオリジナル・セットはそういう心配はまったくなく、音楽に集中出来る点もありがたい。英盤をお持ちの方にもお勧めしたい独オリジナル！ 盤:83 箱:82 解説書なし 86-29	8,400
110	クレンペラー ロンドン管楽五重奏団アンサンブル モーツァルト 13管楽器のためのセレナード COLUMBIA SAX 5259 STEREO 赤地に白黒小COLUMBIAロゴ 英プレス	13の管楽器だけの音楽ですが、各楽器を両翼に分けて、ステレオ・サウンドが広がる様は、クレンペラーのオーケストラ録音を聞いているようです。演奏者への徹底ぶりも、いつもクレンペラー節！音楽が次々に変化に富んだ音楽に様変わりするのを、目の当たりにすると、改めてモーツァルトの作品の凄味がひしひしと伝わってくるようです。この白黒COLUMBIA切手レーベル、英2版となります。しかしながら音質は素晴らしく、これだけ聴いていると、オリジナルとまったく変わらないように思えるほど鮮度が保たれています。非常にクリアで、13の楽器が見えるほどの透明感あるサウンド！ 盤:83 ジャケット:82	4,200
111	クレンペラー PO フィッシャー=ディスカウ シュワルツコップ ブラームス ドイツ・レクイエム COLUMBIA STC 91224/5 2LP 3SIDE 白地に赤文字 金の輪 独オリジナル	やや照度を落とした音質から、宗教音楽の崇高さがよく出ています。音が重厚、スケールが大きい ティンパニは轟わたり、低域は腹にズシリと響くようなすごみのある音。ドイツ盤のピラミッド型のスケールは、英盤、仏盤ともに及ばない気がいたします。軽ティック2か所と、無視できる範囲の盤面のふくらみがSide3にのみあります。特価販売といたします。 盤:83 Side3のみ78 箱:M 解説書付 Side3にごくごく軽い盤面のふくらみ	8,800
112	クレンペラー PO メンデルスゾーン 交響曲 3番「スコットランド」 COLUMBIA STC91131 STEREO 白地に赤文字 金の輪 独オリジナル	クレンペラーの初期盤の中でも、最も高価なレコードの1枚。英ブルー・シルバーの透明感ある硬質なサウンドに対して、こちら、独コロムビア盤は、ふくよかで豊かな中域が特徴。しかし、音がこもるということはまったくない。ふくよかなのに音はボケない。豊かな音でかつ鮮明です。低域までレンジは伸びていて、本格的なオーディオになるほど、その真価を発揮することでしょう。懸念される、盤面のふくらみは皆無、希少な存在です。 盤:80 ジャケット:83 86-30	18,900
113	クレンペラー PO メンデルスゾーン 交響曲 4番「イタリア」 COLUMBIA SAX2398 STEREO ブルー・シルバー 英オリジナル	クレンペラーのブルー・シルバーによる「イタリア」&シューマン4番 透明感ある硬質なサウンドで、気持ちいいほど弦はスパッと切れ、各楽器の音色は、クールでチャーミング、金管はバリッと輝かしい！それでいて音は潤い、音楽性は十分、というウェスタンの音そのもの。両翼に広がった弦楽セクションが縦横無尽に活躍するメンデルスゾーンの「イタリア」このレコードで聞いていると、クレンペラーがアビーロードスタジオでモニターした音は、こういう音だったのだと感慨深く感じる事が出来るでしょう。 盤:85 ジャケット:83 86-31	25,000
114	クレンペラー PO メンデルスゾーン 交響曲 4番「イタリア」 COLUMBIA STC 70437 STEREO 10インチ 白地に赤文字 金色のリム 独オリジナル	クレンペラーのメンデルスゾーンは、強烈とも思われる個性で貫かれた演奏。メンデルスゾーンの演奏によく見られるメロディを優雅に歌わせるだけに専念した保守的な演奏とは対極にある内容です。重厚とも思えるリズムを下敷きに、目先の明るさを排除し、大地に根ざした一本筋の通った演奏で、鋭利かつ重厚なメンデルスゾーン。雄々しい作曲家としての側面を抉り出していて、ロマンティックとはかけ離れた、透徹した視線で描いて尚、これだの聴きごたえをもたらす音楽だということを、逆説的に証明してみせた演奏とも言えましょう。10インチ盤は独のみの発売。素晴らしい鮮度感と、この時期のドイツ初期盤のサウンド(ノイマン系の音!)を存分にお楽しみください。これは、声を大にして言わなければなりません、この1枚には、盤面のふくらみは見られません！パーフェクトです！ 盤:82 ジャケット:81	7,350

115	ケーゲル ライブツィヒ放送SO クーシェ シュライアー ライブ ブリテン 戦争レクイエム ETERNA 825906/7 2LP STEREO 青地に黒文字 2版	2版でも十分のクオリティを保つ。旧東独にあって果敢にも前衛作品を擁護したケーゲルが、旧東独の崩壊直後、自らの命を絶ったのは今では謎である。 小説家で自ら命を絶つのは数多いけれど、指揮者でピストル自殺なんて本当に珍しいのは、おそらくこの職業が人をも恐れぬ鉄面皮でなくてはやっていけないからだと思うが、とにかくケーゲルはひどい躁鬱だったらしい。いわば芸術的遺産となってしまうこの録音は、何らかの暗示なのだろうか？ それを汲み取れとばかりに演奏は鋭く、厳しい。怒りに憑かれたようなこの演奏には寒気を感じるが、聴き手を減さない音楽体験に浸らせる。目が血走ったような熱狂と、見るものを石に変えてしまうような冷やかさが同居し、こんな演奏が表す心象風景とはいかなる地獄図だったのかと思って、ケーゲルに共感させられてしまうのだった。キビキビとした声楽パート、しかしヒタヒタと胸を打つ歌わせ方だ。声楽を伴った交響作品には見事な手腕を発揮したケーゲルの持ち味と力量が全開した演奏。名演の多い同作品だが、この録音、「自分はこの演奏に命をかけた」と言わんばかりの圧倒的な説得力で迫ってくるのです。 盤:84 ジャケット:81 2014-76-69	5,180
116	ケーゲル ライブツィヒ放送SO カサピエトラ ヒルステルマン ストライチェク カール・オルフ カルミナ・ブラーナ ETERNA 826 713STEREO 独オリジナル	1971～75年ステレオ録音。優秀録音。 ケーゲルの録音したオルフの録音の完成度は、他を圧倒的に凌駕して、もはや他の演奏家の近づけない領域にまで達していると言っているでしょう。ETERNAの優秀録音と相まって、空前絶後のオーディオファイルに仕上がった1枚。3部作まではいらないが、「カルミナブラーナ」は聞いておきたい、という方にお勧めします。 盤:83 ジャケット:83 2014-76-68	5,180
117	ケーゲル ライブツィヒ放送SO ストラヴィンスキー カルタ遊び 組曲1, 2番 ダンバートン・オクス協奏曲 ETERNA 826 542 STEREO 黒地に銀文字 12時位置にラージETERNA 独オリジナル	74年オリジナル・ジャケット ラージETERNAの初期製造の1枚。 強い信念の元、ストラヴィンスキーの音楽は、こうあらねばならない、という絶対的な表現が、ストラヴィンスキーを貫いています。 ケーゲルによる鮮烈なストラヴィンスキー！ 盤:83 ジャケット:83 2014-76-66	5,180
118	ケーゲル ドレスデンPO ベルリオーズ 幻想交響曲 ETERNA 827 931 STEREO 青地に黒文字 独オリジナル	第一楽章は不思議な浮遊感を内包しており、この「地に足がついていない」感覚こそまさにベルリオーズのテキストにある「アヘン中毒で死の淵を彷徨う」感じなのです。続く第二楽章のワルツなども、ペール越しに舞踏会場を眺めているように、妙にぼんやりした表現とどこかしら客観的な、妙に覚めた演奏になっています。ラヴェルの「ラ・ヴァルス」に相通ずる表現でしょうか。このように楽章を追うごとにケーゲルの演奏がベルリオーズが曲に内包したものを十全に表現していることが判ります。この曲の最大の聴き所は第五楽章、トロンボーンとチューバ（オフクレイデ）が奏でるコラール「怒りの日」のテーマの後ろに流れる吊鐘の音でしょう。普通はキリスト教会の望楼で打ち鳴らされる鐘を使うのですが、ケーゲルはここでなんとあるモノを使っているのです。 最初聴いた時は冗談抜きにして腰を抜かさんばかりにビックリしました！ 一体何が聞えて来たのか理解出来ないぐらいの衝撃！。それほどまでにあるモノはインパクトがあります!! そのインパクトもスゴイですが、それ以上に、ケーゲルの曲想を抉り出す感覚の鋭さにドギモを抜かれます。まさに慧眼！ 凡人の能くするところではありません。幻想交響曲がお好きな方は必聴の一枚だと思います。 盤:80～83 ジャケット:83 2014-76-64	5,180
119	ケーゲル ドレスデンPO ベートーベン 交響曲5番 コリオラン序曲 ETERNA 827 757 STEREO 青地に黒文字 録音エンジニア:クンゼ 独オリジナル	アナログ・カッティング ケーゲルのベートーベンは、いずれもウルトラ・優秀録音です。ルカ教会のエアーがたっぷり収録されながら、極めて透明度の高い録音は現代オーディオの試金石にするのに、最適だと思います。部屋の中が教会に変わります。ヴィンテージ・オーディオでは、その音色の美しさ、透明感に聞き惚れることでしょう。この全集は、5番が最初に録音され、唯一、この5番のみアナログ盤としてプレスされました。つまりデジタル録音のアナログ・プレスです。その後、すべてデジタルによるDMMカッティングで全集が発売されます。ですからケーゲルの5番の初出盤は、このアナログ盤となります。音質もアナログの良さを十分に持った円熟のサウンドで、DMM盤を圧倒します！	5,180
120	ケーゲル ドレスデンPO ベートーベン 交響曲6番 ETERNA 729 023 STEREO 青地に黒文字 録音エンジニア:クンゼ 独オリジナル	ケーゲルのベートーベンは、いずれもウルトラ・優秀録音です。 ルカ教会のエアーがたっぷり収録されながら、極めて透明度の高い録音は現代オーディオの試金石にするのに、最適だと思います。部屋の中が教会に変わります。ヴィンテージ・オーディオでは、その音色の美しさ、透明感に聞き惚れることでしょう。大変音楽性あふれるデジタル録音。DMMプレスは見事な仕上げを聞かせます。デジタル録音のベートーベン中、トップ・クラスです！ 盤:78 ジャケット:83 2014-76-62	2,850
121	ワルター・ゲール&オランダPO ベートーベン 交響曲 9番「合唱」 MMS MMS2034 2LP MONO 青地に銀文字 フラット重量盤 米オリジナル	モノラルのみ。 ワルター・ゲールの第九 どんな演奏か、興味深いところです。ずっしり重いフラット重量盤です。 盤:81～80 ジャケット:81 76-259	5,250

122	マーティン・コイ指揮 オランダ・カントール O. J.S.バッハ プランデンブルグ協奏曲(全曲) studio33 20 003/4 STEREO 赤地に半円銀色に studio33レーベル 独オリジナル	非常に珍しいオランダのマイナー・レーベル studio33レーベルによるバッハの プランデンブルグ協奏曲の録音。派手さは押えられていて、プロテスタントの国 らしく、質素さを良しとする真摯なバッハ演奏です。ドイツのように固く頑固なわけ でなく、英国の流麗な格調とも違って、素朴でありながら、音楽性はしなやか。 そして、楽団員の技術は非常に高い。音楽の根底が温かく、バッハの愛情にあ ふれていて、その音楽にひたってしまいます。DGGカッティング&プレス音質 は非常に優秀です。1枚目は新品同様 2枚目はファクトリーシール未開封 の新品です。 盤:83 ジャケット:81	6,300
123	ショルティ VPO バロウズ ブライ タルヴェラ ローレンガー ドイテ コム ホルム モーツァルト 歌劇「魔笛」ハイライト DECCA SET 527 STEREO 紫時に銀文字 NARROW BAND MADE IN ENGLAND 英オリジナル	ショルティ「魔笛」ハイライトのオリジナル盤です。この番号のワイドバンドは存在せ ず。 DECCAのトップ録音技師、ゴードン・パリー & ジェームス・ロックが1969年に録った素 晴らしいハイファイ録音！目の覚めるようなオペラ空間。水もしたたかなウィーン フィルの美音！ドイテコム夜の女王はまさに驚異の歌唱と言っているでしょう。 ブライのババゲーノは彼の十八番でしたが、以外に録音が少なく、このショルティ盤が 彼の代表的なババゲーノ録音となります。全曲盤を聞くのはちょっと大変、そのエッセン スを聞きたい、という方には良い盤だと思います。序曲は省略され、アリアを含めて 18曲を収録しています。 盤:88 ジャケット:88 2014-76-47	4,950
124	ショルティ ウィーンフィル ベートーベン 交響曲 5番 DECCA SXL2124 STEREO 黒地に金文字 12時位置に金色の楕円DECCA 独2版	DECCAがステレオレコードを世に広めようとしていた1959～60年頃、最大のステレオ 効果を上げる指揮者として、ショルティが抜擢されました。その爆発力とスピード感、 大地を揺るがすかのようなコントラスト！ウィーンフィルからバリバリのエネルギーギ ッシュな音を絞り出したショルティの腕力には、脱帽です。このベートーベンは、ショルティ自 らカルショウに申し出た録音。この時期、ショルティはワーグナーの「ラインの黄金」の セッション中で、エンジニアのゴードン・パリーとジェームス・ブラウンがそちらで手一 杯 だったこと、ショルティには、まだベートーベンは時期が早すぎる、という理由で、カル ショウは提案を退けたが、ショルティは引こうとしなかった。その結果、3、5、7番を録音 して、今後を判断してゆこう、ということになった。発売の結果、レコードの売れ行きは 今一つ。録音はそこで立ち消えとなったのである。しかしである。ベートーベンの5番を 、これほど挑戦的なスタイルで押し切った演奏も珍しく、強い意志で老舗楽団に挑み かかっていく指揮者の闘争心がスリリングな興奮を呼んでいる。いつもなら、拍をずら せてまったりと、寝ぼけた音を発するオーケストラが、この時ばかりは、ピシリと合わ せて、牙を剥いて吠えかかってくるのがすごい！ 盤:83 ジャケット:82 2014-76-47	6,720
125	ショルティ ウィーンフィル ベートーベン 交響曲 7番 LONDON CS6777 STEREO 赤地に銀文字 NARROW BAND MADE IN ENGLAND 米発売 レコードの製造は英国	DECCAがステレオレコードを世に広めようとしていた1959～60年頃、 最大のステレオ効果を上げる指揮者として、ショルティが抜擢されました。 その爆発力とスピード感、大地を揺るがすかのようなコントラスト！ ウィーンフィルからバリバリのエネルギーギッシュな音を絞り出したショルティの 腕力には、脱帽です。 盤:82 ジャケット:81	3,650
126	ショルティ ウィーンフィル シューマン 交響曲 1番「春」 序曲、スケルツォとフィナーレ LONDON CS 6696 STEREO 赤地に銀文字 NARROW BAND MADE IN ENGLAND 米発売 英プレス	名人揃いのウィーンフィルが滴るような美音をふりまくシューマン。 若きショルティの素晴らしい推進力と朗々と鳴ったウィーンフィルの合奏が 魅力です。 盤:85 ジャケット:NM(ジャケット1cm×3mmカットアウト有) 2014-76-50	3,650
127	ショルティ シカゴSO ブラームス 交響曲 1番 LONDON CS 7198 STEREO 赤地に銀文字 NARROW BAND MADE IN ENGLAND 米オリジナル(英プレス)	録音:ケネス・ウィルソン、コリン・モートフット 1978年録音。セッションに使用された会場は、ショルティ&シカゴ響黄金時代のサウン ド・イメージを世界に広めたシカゴのメディナ・テンプルで、名エンジニア、ケネス・ウィ ルキンソンの手腕が光ります。演奏内容は、1970年代のベートーヴェン全集同様、き わめて剛直・骨太で構築的な仕上がりを見せるものですが、叙情的な場面での気使 いもなかなかのもの。クライマックスでのオーケストラの爆発力は解放～！というかんじで、 気持ち良いです。迷いのない竹を割ったようなブラームスは、聞いていて胸が すきます。 盤:85 ジャケット:82 2014-76-51	4,400
128	ショルティ CSO ブラームス 交響曲 3番 大学祝典序曲 LONDON SXL6902 STEREO 赤地に銀文字 NARROW BAND MADE IN HOLLAND 蘭2版	録音:ケネス・ウィルソン、コリン・モートフット ロマンと憂愁が濃く立ち込める3番のシンフォニーだが、ショルティの指揮で 聞くとそういう感情に絡みつくような、鬱々とした暗さがなく、爽快だ。 複雑なブラームスのテクスチャは、待ってましたとばかりに、豪快に鳴らし て、ブラームスの管弦楽法の見事さがシンプルに浮かび上がる。 ウィルキンソンの録音も楽譜をのぞきこむような音の明瞭さ、重要な和声を 担う時の、クローズアップした楽器の鳴りは、うなるほどの絶妙さ！ 盤:85 ジャケット:83 2014-76-52	4,400

129	ショルティ VPO ブルックナー 交響曲 7番 ワーグナー ジークフリート牧歌 Vnリーダー: ワルター・ヴェラー DECCA SET323/4 2LP STEREO 紫地に銀文字 NARROW BAND MADE IN ENGLAND	ショルティのブルックナーの演奏には、派手な誇張もなく極端にテンポを遅めにとることもない。しかしそこには彼の端正な音の造形美を感じさせる。この7番はショルティ初のブルックナー交響曲の録音で、1965年10月、ウィーンのソフィエンザールで行われている。もちろん録音プロデューサーは当時英デッカが誇るジョン・カルショウ、録音エンジニアはゴードン・バリーの名コンビであった。このレコードの演奏でもこの交響曲の「要」でもある第2楽章「アダージョ」は特に素晴らしく濁りのない透明感あふれるサウンドを聞かせている。尚、レコード第4面にはR. ワーグナーの「ジークフリート牧歌」が収録されている。こちらは当時ウィーン・フィルのコンサート・マスターを務めていたワルター・ヴェラーをリーダーとするウィーン・フィル楽員のオリジナル室内楽編成による演奏で、これが素晴らしい名演。 盤:83 箱:82 解説書付 2014-76-53	5,180
130	ショルティ シカゴSO Y.ミントン(Ms) マーラー 交響曲 6番「悲劇的」 さすらう若人の歌 LONDON CSA2227 2LP STEREO 赤地に銀文字 小LONDONレーベル 英プレス 米オリジナル	録音:1970年 打楽器やティンパニがバシバシ！と決まるショルティならではの、マーラー。豪快で、構築的で、クライマックスに向かって圧倒的に盛り上がります。中でも、4楽章での三度目のハンマーは有無を言わせぬ大迫力！ 盤:83 箱:82 解説書付 2014-76-54	5,180
131	ショルティ シカゴSO ルネ・コロ(T) Y.ミントン(Ms) マーラー 交響曲 大地の歌 DECCA SET 555 STEREO NARROW BAND MADE IN ENGLAND 英オリジナル	録音:1972年 ナローバンドでオリジナルとなります。この《大地の歌》は、きわめて楽譜に忠実な明晰この上ない現代的な演奏。マーラーの楽譜が求めるものをどこまでも忠実に再現した、黄金時代のショルティ指揮シカゴ響の名演である。 ワルターが抒情的な面を大切にしているのに対して、いかにもショルティらしく、すこぶる鋭い表現を行いながら、楽曲のデリケートな美しさを見事に表出している。 この演奏はショルティには珍しく、美しくデリカシーに富んだ演奏なのだ。音色の微妙な多様さ、各パートの微妙なニュアンスの表出、それらの交錯……まずは完璧なオーケストラ美を聴かせる。ショルティの甘美さへの感受性が、この演奏にははっきりと出ており、第2曲の表現主義的な甘さなどはかつてのショルティには見られなかったものだ。 歌手たちも万全で、ミントン、コロ共よく歌っており、特にミンントンの歌は、聴く者をその中に引き込む力を持っている。ショルティはこの《大地の歌》をロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団と20年後に再録音することになるが、2人の歌手の名唱も相俟って、この旧盤のヴォルテージの高さは比類がない。録音も英デッカらしく鮮明で音	5,180
132	スイトナー ドレスデン・シュターツカペレ モーツァルト 交響曲 31番「パリ」 交響曲 38番「プラハ」 ETERNA 826041 STEREO 黒地に銀文字 2曲とも シュトリューベン録音 独オリジナル	EDITIONレーベルではない。半円部分に横長ETERNAロゴ 極めて入手難。音質は2版に比べて、奥域が増し音はしっかりと潤います。 コンサートホールの最上席で聞いているようです。 この劇的变化は、オリジナルならではないと思います。豊かな音に包み込まれ、すべての帯域が等分に響き合い融合しているのです。音響的に見ても、比類ない“美”の世界がここに 있습니다。盤:79~83 ジャケット:M (2014-76-23)	7,350
133	スイトナー ドレスデン・シュターツカペレ モーツァルト 交響曲 交響曲 29番 28番 ETERNA 826 681 STEREO 黒地に銀文字 29番:2版 シュトリューベン録音 28番:独オリジナル クンツェ録音	29番のシュトリューベンの録音は、あまりにも美しい音で録音されており、言葉も出ません。この時代にあった録音機材でなければ出ない、このような遠くまで透けて見えるような澄み切った質感の音を録ることは難しいのではないのでしょうか。高域は鮮明に鳴り、各楽器の動きがわかるようです。音もワイドレンジ。それでいて、音がザラついたり、薄っぺらく感じたりすることはありません。ETERNAプレスの技術を感じます。29番の演奏を聴くと、スイトナーは、クレメンス・クラウスの教えを受けた人であることを思い出させます。その演奏は極めてエレガントかつチャーミングです。28番の喜悦感に溢れた演奏は、スイトナーの音楽の余裕をかんじさせるもの、この指揮者が円熟の真只中にいたことを感じさせる名演だと思います。 盤:83 ジャケット:83 (2014-76-24)	5,250
134	スイトナー ドレスデン・シュターツカペレ モーツァルト 交響曲 38番 交響曲 41番 ETERNA 826 465 STEREO 黒地に銀文字 38番1968年 シュトリューベン録音 2版 41番1973年 クンツェ録音 独オリジナル	シュトリューベンの力感と透明感が同居した録音、クンツェのドレスデンの絹糸のような柔らかさ、優美さをとらえた録音、それぞれ、ため息が出るほど美しく、スイトナーの演奏の魅力になっていると言っていいでしょう。 29番のところで書きましたが、2版になってより高域が鮮明になり、各楽器の動きがわかるようになりました。音もワイドレンジ。それでいて、音がザラついたり、薄っぺらく感じたりすることはありません。 スイトナー &ドレスデン・シュターツカペレのモーツァルトは、何もかもが高次元で、その演奏は完璧を目指しています。プラハにしても、シュピターにしても、モーツァルトがスイングして、音符がいまにも踊りださそうです。スイトナーが何気なく加える強いアクセント、楽器のクローズアップ、ティンパニの強打、この演奏を軽快なだけのこじんまりしたモーツァルトを超えて、訴えかけてくるのは、スイトナーの卓越した音楽性あつてのことだだと思います。加えて、ドレスデン・シュターツカペレの強固で、伝統的なアンサンブルが物を言っています。この不思議なバランスの上に築き上げたスイトナーのモーツァルト像は、この時期の両者があって初めて生まれた、奇跡のような演奏ではないのでしょうか。出来れば、この演奏が録音されたETERNAのレコードで、そのすべてをお聞き取りいただきたいと強く願うものであります。 盤:84 ジャケット:82 (2014-76-26)	5,250

135	スウィトナー ドレスデン・シュターツカペレ ドナート ゲスティ ホフ シュライアー アダム フォーゲル 他 モーツァルト 歌劇「魔笛」全曲 ETERNA 826173-5 3LP 黒地に銀文字 東独ステレオ	1970年、ドレスデン、ルカ教会でのステレオ録音。快適なテンポと弾力感に富むスイトナー & シュターツカペレ・ドレスデンの素晴らしく魅力的な音楽づくりをベースに、まだ若かったシュライアーの凛とした美声によるタミーノ役、グルペローヴァも真っ青の超絶 技巧がすごいゲスティの夜の女王役、朗々とした声のアダムのザラストロ等々、粒揃いの名歌手たちがツボにはまった歌唱を聴かせる名盤です。 ルカ教会の美しい残響を伴った芳醇なサウンドもポイント。 盤: 79~82 箱: M 解説書付	6,300
136	ドラティ NPO チャイコフスキー 組曲1番 PHILIPS 802 788 LY STEREO 赤地に銀文字 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 蘭オリジナル	1番〜4番までばら売りがセットとして揃うのは非常に珍しい。 「組曲」は、バロックの形式をとったチャイコフスキーの転換期における傑作。この作品の最初の全曲録音となったドラティ盤は、今でもこの作品の代表盤である。各組曲や組曲内の各曲の変化への対応など、ドラティのツボにはまった見事なチャイコフスキー。チャイコフスキーの組曲のステレオ録音では、一番安心して聞けるレコード。録音もよい。盤: 83 見開き豪華ジャケット: 83 2014-76-80	5,180
137	ドラティ NPO チャイコフスキー 組曲2番 PHILIPS 835 390 LY STEREO 赤地に銀文字 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 蘭オリジナル	1番〜4番までばら売りがセットとして揃うのは非常に珍しい。 「組曲」は、バロックの形式をとったチャイコフスキーの転換期における傑作。この作品の最初の全曲録音となったドラティ盤は、今でもこの作品の代表盤である。各組曲や組曲内の各曲の変化への対応など、ドラティのツボにはまった見事なチャイコフスキー。チャイコフスキーの組曲のステレオ録音では、一番安心して聞けるレコード。録音もよい。盤: 80(音に出ないスレ) 見開き豪華ジャケット: 83	4,400
138	ドラティ NPO チャイコフスキー 組曲3番 PHILIPS 802 789 LY STEREO 赤地に銀文字 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 蘭オリジナル	1番〜4番までばら売りがセットとして揃うのは非常に珍しい。 「組曲」は、バロックの形式をとったチャイコフスキーの転換期における傑作。この作品の最初の全曲録音となったドラティ盤は、今でもこの作品の代表盤である。各組曲や組曲内の各曲の変化への対応など、ドラティのツボにはまった見事なチャイコフスキー。チャイコフスキーの組曲のステレオ録音では、一番安心して聞けるレコード。録音もよい。盤: 80(音に出ないスレ) 見開き豪華ジャケット: 83	5,180
139	ドラティ NPO チャイコフスキー 組曲4番 PHILIPS 802 790 LY STEREO 赤地に銀文字 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 蘭オリジナル	1番〜4番までばら売りがセットとして揃うのは非常に珍しい。 「組曲」は、バロックの形式をとったチャイコフスキーの転換期における傑作。この作品の最初の全曲録音となったドラティ盤は、今でもこの作品の代表盤である。各組曲や組曲内の各曲の変化への対応など、ドラティのツボにはまった見事なチャイコフスキー。チャイコフスキーの組曲のステレオ録音では、一番安心して聞けるレコード。録音もよい。盤: 80(音に出ないスレ) 見開き豪華ジャケット: 83	5,180
140	特価! 上記組曲全曲 1番〜4番 まとめ購入の場合 ¥16,000		
141	ハイティンク ACO バルトーク 弦楽器と打楽器とチェレスタのための音楽 コダーイ ハーリ・ヤーノシュ PHILIPS 6500 015 STEREO 赤地に銀文字 蘭オリジナル	一言で言うならば、ドラティ、ショルティ、ブレーズのように、強烈な個性で音楽を聞かせるレコードではありません。 ハイティンクは、そういう大衆受けする手練手管を使わないで、音楽を最善の姿で聴かせてくれるのです。「ハーリ・ヤーノシュ」では、各曲が丁寧に演奏されているし、短い曲の中にも大きな盛り上がりを作ったり、とても気持ちのよい演奏をしている。また、69年録音の「弦チェレ」は驚嘆に値する演奏だと思います。まさに美しさの限り! 先鋭な表現こそ見られませんが、恐いほど美しい。 第3楽章、チェレスタがきらめき、背後で弦楽器がざわざわ動き出すあたり、目もくらむほどの美しさで、形容のしようもありません。第2楽章におけるリズム的な表現も申し分なし。終楽章が終わると、ブラヴォーを叫びたくなる! つまり、大向こうをうならせる1発を狙うのではなく、真の美を追求する姿がやはり素晴らしいのです! 録音も大変優秀。大音量では再生したくなる1枚。 盤: 85 ジャケット: 83 1311-76132	5,250
142	パウムガルトナー ウィーンSO管楽奏者 モーツァルト 管楽のためのディヴェルティメント K.213 K.240 PHILIPS S 06031 MONO 10インチ 黄色地に黒文字 Minigroove モーツァルト生誕200年記念ジャケット フラット重量盤 蘭オリジナ	モーツァルトの管楽のディヴェルティメントをじっくり聴いてみよう! そういう気にさせてくれるレコードは非常に少ないと思います。 WESTMINSTERのウィーン管楽アンサンブルの演奏は、大変有名ですが、どうしても聞き飽きてしまう。それは、演奏のせいではなく、そういう曲なのだろう、と思っていました。しかし、このパウムガルトナー盤でこの2曲を聴くと実に味わい深く、この音楽が秘めている魅力に気づかせるのです。 モノラルの味の濃い音色も、このレコードの味方です。 10インチで片面1曲、という構成も良い。 2曲裏表聴いて、ちょうど良い聴きごたえ! 盤: 81 ジャケット: 81 76-215	4,725
143	バルビローリ ハレロ. シベリウス カレリア組曲 悲しきワルツ ポヒョラの娘 レミンカイネンの帰郷 ELECTROLA SME 80991 STEREO 白地に赤文字 金色のリム 独オリジナル	バルビローリはシベリウスのスペシャリストとしても知られ、交響曲全集も完成しています。よくブレンドされ、深い味わいのあるサウンド、息の長い旋律の歌わせ方などがシベリウスの音楽の特質に見事にマッチするからでしょう。ここに聴く5曲でもその美点は存分に味わえます。熱っぽい『フィンランディア』、清冽・流麗な『カレリア』組曲などはバルビローリの独壇場です。 盤: M ジャケット: M	5,800

144	バーンスタイン VPO ブラームス 交響曲全集 管弦楽作品集 DGG 2740 023 4LP STEREO BLUE LINE 独オリジナル	この全集はバーンスタインの録音の中でも傑出した1組であり、指揮者とオーケストラがそれぞれの持ち味を発揮しながら、素晴らしく充実した音楽をつくっている。 第1番の熱気に満ちた雄渾な表現はバーンスタインならではの生命力を感じさせ、ウィーン・フィルの魅惑的な音の美しさは例えようもない。 バーンスタインは、ウィーン・フィルのもつ伝統的な様式感覚を全面的に信頼しているのだろう。ディティールの表情は一層陰影と繊細さをし、透明な弦の響きにも各パートの自発性を伴い、第2番では春風のような温かさと瑞々しさを印象づけている。 第2番は明朗さのなかにも、一抹の不安や哀愁をこまやかに表現した第1楽章が抜きん出ている。最も個性的な表現は終楽章で、乗りに乗った演奏ながら、細部を克明に、デリケートに描いていて格調高く、色濃く表れてくるロマン性のため、ひとつのドラマを聴く思いだ。第3番でのバーンスタインは、流麗さと克明さを自然に共存させており、彼の静から動への志向を表していて興味深い。 第1楽章では、独自のルバートや細かいアゴーギグが駆使されテンポも遅いが、第2主題など実に味わい深く、歌の明滅が美しい。第2楽章のかなり自由なアゴーギグも合法的で、第3楽章ではウィーン・フィルの弦の美しさを満喫させる。 第4番も熱気に満ちた演奏で、しかもしなやかさも柔らかさもある。 ウィーン・フィルも実にいい音で、弦は艶やかで張りを持っているし、管は自発性に満ちている。ブラームスに対する伝統的な自信が、オーケストラの中にしみこんでいるといった感じだ。細かいところでは、バーンスタインがウィーン・フィルの自発性に任せている所もかなりあり、それが成功している。4曲すべてがこれほどの高水準でまとめられた全集はあまり例がない。管弦楽曲も交響曲にまさるとも劣らない秀演である。 1983年アカデミー賞受賞 まさにバーンスタインの音楽人生の頂点を聞く思いだ。盤: 85 箱: 85 解説書付 (2014-76-18)	21,000
145	バーンスタイン 管弦楽団 合唱団 キリ・テ・カナワ カレーラス トロヤノス 他 バーンスタイン ウェストサイド・ストーリー (全曲) DGG 415 253-1 2LP STEREO 独オリジナル	バーンスタイン作曲した「ウェストサイド」を初めてタクトをとって録音したのが、このレコード。磨き上げられたアンサンブルと一級の歌手を隅々まで配して、まるでオペラを聞くように、じっくり味わえるのが特徴。オケはクラシック団体というよりも、ミュージカルやジャズ系のメンバーが集められていて、シャープでダイナミックな音を楽々と奏でています。カール・アウグスト＝ネーグラーの鮮やかなサウンド作りも素晴らしい。盤: 85 ジャケット: 84	7,350
146	バーンスタイン 管弦楽団 合唱団 キリ・テ・カナワ カレーラス トロヤノス 他 バーンスタイン ウェストサイド・ストーリー (全曲) ETERNA 725 196/7 2LP STEREO サーモン・レーベル 東独オリジナル	こちらは東独ETERNAがカットイング、プレスまで、自国で製造したレコードです。DGGの音質に引けをとらない出来栄です。 DGGより若干、中域が張っている印象です。立派な音質です。 さすがは、ETERNAといったところです。 盤: 85 ジャケット: 84	7,350
デヴィッド・ブラム (David Blum) について ロスで生まれアメリカとヨーロッパで音楽教育を受け、1961年に自らエステルハージ管弦楽団を創立。このオーケストラはハイドンがエステルハージ家に仕えていたのにならって創った。このオーケストラの毎年の全米、カナダでのツアーは、ハイドンや18世紀の作曲家の多くの作品を当時のスタイルで聴くチャンスをもたらすなどの功績があげた。1969年にはアンセルメのすすめでスイスに住居を移し、ローザンヌ交響楽団とジュネーブ交響楽団の音楽監督になり、ジュネーブ交響楽団の音楽監督の座に1977年から1989年まであった。彼はまた音楽記事のライターとして知られ、彼の著書は多くの国で翻訳されている。 このレコードの演奏も、彼が設立したエステルハージ管弦楽団 (Esterhazy Orchestra) の演奏で、ハイドンの音楽を、当時のスタイルで、知的に表現した見事なハイドン演奏。			
148	デヴィッド・ブラム エステルハージO. ハイドン 交響曲 60番「迂闊者」 ハイドン 交響曲 52番 AMADEO AVRS 6351 STEREO マローン地に銀文字 12時位置に MADEOロゴと STEREO HI FI。 金色に黒文字 amadeo stereoシール貼りジャケット 東オリジナル (VANGURAD録音)	4枚まとめてお買い上げの場合、16,800⇒ 12,600 演奏の一例です。冒頭から鮮明なオケの音色が素晴らしい。荘重な序奏から、速めのテンポに切り替わり、オケがリズムに乗ってはち切れず。エステルハージ管の名に恥じない素晴らしい演奏。鮮やかなテンポ感とふけ上がり、抜群のキレは流石です。途中コミカルにテンポを落とす部分などもあり、ハイドンらしさも十分。2楽章のアンダンテは落ち着いたリズムに乗って、柔らかい弦とホルンのアクセントの対比が面白い。3楽章のメヌエットは大きな刻みとメリハリが効いて迫力十分。中間部のコミカルな表現もハイドンらしい演出。4楽章は快活なプレスト。通常のハイドンの交響曲の終楽章のような構成。素晴らしい生気で盛り上げます。 5楽章はアダージョ。切々とした弦楽器の美しいメロディーが心に響きます。中間部は荘重なファンファーレのよう。再び最初のメロディーにもどり、美しい時間。最後の6楽章は力強いオケの強奏から始まり、途中で調弦、ふたたび力強いオケの響き。この曲は6楽章と特殊な構成ですが、ブラムのコントロールはハイドンの曲の本質をきちんと踏まえたもので、非常に楽しめます。盤: 84 ジャケット: 83 1311-76134	4,200
149	デヴィッド・ブラム エステルハージO. ハイドン 序曲「オルランド・パラディーノ」 ハイドン 交響曲 22番「哲学者」 ハイドン 序曲「無人島」 ハイドン 交響曲 26番「悲しみ」 AMADEO AVRS 6353 STEREO マローン地に銀文字 12時位置に MADEOロゴと STEREO HI FI。 金色に黒文字 amadeo stereoシール貼りジャケット 東オリジナル (VANGURAD録音)	盤: 83 ジャケット: 83	4,200

150	デヴィッド・ブラム エステルハージオ. ハイドン 交響曲 39番 ハイドン 交響曲 73番「狩」 AMADEO AVRS 6354 STEREO マローン地に銀文字 12時位置に MADEOロゴと STEREO HI FI。 金色に黒文字 amadeo stereoシール貼りジャケット 塙オリジナル(VANGURAD録音)	盤:83 ジャケット:83	4,200
151	デヴィッド・ブラム エステルハージオ. ハイドン 交響曲 75番 ハイドン 交響曲 81番 AMADEO AVRS 6379 STEREO マローン地に銀文字 12時位置に MADEOロゴと STEREO HI FI。 金色に黒文字 amadeo stereoシール貼りジャケット 塙オリジナル(VANGURAD録音)	盤:83 ジャケット:83	4,200
152	フリッツァイ ベルリン放送SO 聖ヘドヴィッヒ大聖堂聖歌隊 スターダー(S) バデフ(Ms) クレーヴス(T) ボルイ(Bs) ヴェルディ レクイエム DGG LPM 18155 MONO M33四角囲みレーベル フラット重量盤 独オリジナル	ランアウトエリアに53年12月製造の刻印あり。 素晴らしいジャケット装丁「ミサ」にふさわしい格調と丁寧な作り。 フリッツァイの演奏は、胸を打つ感動の演奏。 M33四角囲みレーベルでオリジナルとなります。LP33レーベルは存在しません。表面に軽いすれあるも、音に出ず。見た目のみで79とします。ツートーンカラー パラジャケ 2枚 盤:79 ジャケット:80	9,450
153	フルトヴェングラー BPO ブルックナー 交響曲 7番 1949年録音 ワーグナー 楽劇「パルシファル」～1幕への前奏曲 1939年録音 ワーグナー 楽劇「パルシファル」～聖金曜日の音楽 1939年録音 ELECTROLA 1C147 29230/1 ELECTRIC STEREO 赤地に白でDACAPO	パルシファルの2曲が超絶の名演で、フルトヴェングラーを語るときに、なくてはならない録音です。「1幕の前奏曲」では、音楽がいったいの雰囲気背負って湧きあがって来て見事。楽器はよく溶け合い、フォルテの部分のえぐりも深い。独特のペシズムが横たわっていて、ある種のはかなさと弱さを生みだしています。30年代のフルトヴェングラーの記憶されるべき名演。「聖金曜日の音楽」は更に素晴らしく、あの美しい「聖金曜日の主題」を、あるいは儚く、あるいはおずおずと練り気味に、あるいは、濡れて強く歌われるところ、ワーグナーとフルトヴェングラーは一体になったようです。心の乱れを音のざわめきに出してゆく終わり方もすばらしい！メインのブルックナー7番は、これ以外に、51年のカイロ、ローマとありますが、出来栄は、この49年が最も良いように思います。全体にエコー程度の響きを加えたブライトクランクも好感が持てます。この時期のモノラル盤は未発売です。Side1 7番の1楽章で7mm程度の軽キズ 2箇所あるので、特価です。ワーグナー2曲はMintコンディションですので、ワーグナーがこのお値段で聞けるのは破格かも知れません。盤:78/83/84/83 スリーパーボックス:83 1476-3	5,600
154	フルトヴェングラー BPO ブルックナー 交響曲 8番 1949年録音 ELECTROLA 1C147 29231/2 ELECTRIC STEREO 赤地に黒文字 白でDACAPO	フルトヴェングラーのブルックナー演奏の中では、白眉とも言われる8番の初期プレス。フルトヴェングラーの8番は、フルトヴェングラーが曲の中に容赦なく入り込み、自分のやりたいようにやり尽くした完全燃焼の演奏。自然への畏怖というより、人間的な苦悩や深い叙情を歌いあげた演奏で、ことにアダージョは、好き、嫌いは別として、フルトヴェングラーのブルックナー演奏の集大成と言っても過言ではないでしょう。初期盤はいずれの国も(日本も)ステレオでの発売。初期盤のモノラルは存在しません。エコー程度の響きを加えたブライトクランク・ステレオは盤:83 スリーパーボックス:81 14-76-4	11,200
155	フルトヴェングラー VPO BPO ブラームス 交響曲全集 交響曲 1番 1947年 11月 E90992が初出。 このセットはオリジナルとなるSP盤より新たにリカッティングされた。 交響曲 2番 1952年 5月 独初出 交響曲 3番 1949年 12月 E90994が初出 交響曲 4番 1948年 10月 E90995が初出 ELECTROLA 1C147-50336/9 4LP MONO 赤地に黒文字 白でDACAPO	1番:雄大なスケール、うねるようなテンポの動き、第2楽章の崩れる寸前の雰囲気むせかえるような表現。第3楽章の不健康な味わい、晴れてクライマックスに突入する凄まじさ！ 2番:この全集が初出であり、この2番を聞くためにだけにこのセットを買い求めても決して後悔することはない、というくらい非常に素晴らしい名演。燃え立つようなオーケストラの厚みとコク。曲想変化に伴う動きもえぐりが効いている。造形は完璧に近く、もたれるところはない。フルトヴェングラーの気迫ものすごく、特にティンパニの迫力は類を見ない。フィナーレは実演のフルトヴェングラーならではの荒れ狂った演奏で、緩急の度合いがまことに大きく、わけても情熱のかたまりのようなアツチエランドとティンパニの最強打！フルトヴェングラーを聞く醍醐味満載の演奏。バイエルン放送局に長年、眠っていたお宝の登場です！3番:これまたフルトヴェングラーの屈指の名演 テンポの極端な流動感、ドラマティックな設定。これだけ自由自在な表現なのにもかかわらず、作り物の感じは皆無で、音楽が瞬間に生まれ、浮き起こってくる奇跡が連続して起こる。まさにフルトヴェングラー芸術の神髄ではないでしょうか。4番:冒頭の「ロ音」を聞いただけで、フルトヴェングラーの世界に引き込まれてしまいます。コーダのアツチエランドは常軌を逸しており、フルトヴェングラーがブラームスを突き抜ける瞬間。密度の濃い第2楽章の歌、第3楽章の情熱と爆発と強い意志による統制が相まって、一発必中の演奏。そして第4楽章、壮大なテーマ演奏を聞く時、もはや、他の演奏は生ぬるくて聞いていられなくなってしまうことでしょう！ フルトヴェングラーのブラームスは、それだけ全身全霊を傾けた演奏。 盤:82 箱:79解説書付 (2014-76-5)	16,000

156	マタチッチ チェコPO ベートーベン 交響曲 3番「英雄」 SUPRAPHON ST 50012 STEREO 赤地に銀文字 チェコ・オリジナル	マタチッチが残したベートーベンのセッション録音は「英雄」1曲のみ。 ちょうど60歳になったマタチッチのこの演奏は、楽曲に忠実に、真摯にベートーベンに取り組んだものです。マタチッチのいくぶん、古武士のような無骨な響きも、ベートーベンでは味わい深く、いぶし銀のベートーベン演奏を聴くことが出来るでしょう。 また、アンチエル統制時のチェコフィルは、このオケの全盛時代でもあり、ことに、管楽器群のアンサンブルが耳を引きつけます。しぶい音色とコクのある弦とあいまって、マタチッチのベートーベンに独特の味わいをもたらしているのです。 この演奏、色んなソースで聞いてきましたが、出来ればSUPRAPHONのオリジナルで聞きたいものです。入手困難のレッド・シルバー チェコ・オリジナル！ 盤：83 ジャケット：81 (2014-76-12)	7,350
157	マタチッチ チェコPO チャイコフスキー 交響曲 5番 SUPRAPHON ST 50013 STEREO 赤地に黒文字 12時位置にまっすぐな SUPRAPHONのロゴ 6時位置に 流れ文字で STEREO チェコ・オリジナル	マタチッチとチェコフィルによるチャイコフスキーを聞くのなら、これ以上のレコードはありません。SUPRAPHONの最初のステレオ・レコードで、1960～63年の3年間の間のみ製造されました。澄んだ音色、厚みのあるサウンド、チェコフィルの民族楽器を思わせるカラフルな色彩が、オケの中で、輝きます。マタチッチならではの、壮大、天才的な解釈で聞くチャイコフスキーをお楽しみください。 盤：79/81 ジャケット：82 (1476-13)	8,400
158	マルケヴィッチ LSO チャイコフスキー 交響曲 3番「ポーランド」 PHILIPS 835 327 LY STEREO 赤地に銀文字 白でPHILIPS 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 仏オリジナル	マルケヴィッチのチャイコフスキーは、全曲PHILIPSに録音があり、PHILIPSの円熟した録音時期と重なっていたがゆえに、そのどれもが大変な名録音となります。チャイコフスキーの交響曲の中では珍しく長調の曲、しかも5楽章制で構成されている。副題の「ポーランド」は終楽章がポロネーズ風であることから名付けられた。第1楽章の序奏からマーチに突入するあたりで、まずゾクゾクします。マルケヴィッチのしなやかで強靱なスタイル。ロンドン響上手いです。後半はアレグロ・ブリランテで輝くように。「ドイツ風に」と題されている第2楽章の舞曲は、チャイコフスキーが好んで用いたワルツです。ニコライ皇帝が優雅にダンスをするようなロシアのそれです、宮廷舞踏会の雰囲気を感じてしまいます。第3楽章の弦が奏でるメロディはとても哀愁を帯びていてきれいです。これぞチャイコフスキーの真骨頂！ロマンティック・アンダンテ。 まだ聴いた事のない方は是非どうぞ、泣けてきます。木管と弦の対話が面白い第4楽章のスケルツォが過ぎると、第5楽章の華麗なフィナーレが始まります。帝政ロシアの煌めき輝く姿を表わしているがごとく。ポロネーズが段々と壮大になって行き、高らかに金管が鳴り渡るフィナーレはティンパニで締まりますが、これが何ともカッコいいです！この辺の決め方は、さすがマルケヴィッチです！ 盤：83 見開きジャケット：83 1476-81	5,980
159	マルケヴィッチ LSO チャイコフスキー 交響曲「マンフレッド」 PHILIPS 835 250 LY STEREO マローン地に銀文字 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 蘭オリジナル	バイロンの劇作「マンフレッド」をもとに、作曲されたこの表題付き交響曲は、チャイコフスキーにしては、非常にシリアスで、甘い感傷も、抒情で酔わせる場面もない。全体にハードな作りで、チャイコフスキーが劇作「マンフレッド」からインスパイアされた世界がいかに壮大であったかがうかがわれます。 マルケヴィッチの演奏は、知的に分析されつつも、オケもセンセーショナルな荒々しさを保ったまま鳴らし上げているのが立派。こういう感覚をオケに徹底させるマルケヴィッチの辣腕には驚かされる。ずんと低いところまで切り込む弦の響きは、この交響曲の激しい裏表の音楽的作りを意識させてくれる。どっぴり交響曲として取り組んでる姿勢は流石である。マルケヴィッチは第1楽章からこの物語の持つ、ある種の虚しさややるせなさを深く切り取って聞き手に浴びせかけます。聞いている方にも適度の刺激と緊張を与えてくれるのだ。それが第2楽章のスケルツォのしっとりとした音に、すがすがしさを聞き応えを感じさせる…。クライマックスのマルケヴィッチの演出のすごさは、聴いてのお楽しみ！ 全く、聞く側の耳を捉えて放さない名演である。A面に少々ティックあるものの、当初の半値以下でのご提供です。Side1冒頭で21回ティック 他ごく短いキズ2か所 Side2はMintコンディション 盤：76/83 見開きジャケット：84 2014-76-81	4,400
160	マルケヴィッチ LSO チャイコフスキー 交響曲 6番「悲愴」 PHILIPS 835 126LY STEREO マローン地に銀文字 蘭三方向開き 厚紙コート布張り背表紙ジャケット 蘭2版	このマローン・シルバーは音質も非常に良く、オススメの1枚。 1楽章展開部・3楽章後半 壮絶という言葉がぴったりします。ロンドン交響楽団はその指揮についていけないほど。スリリングなチャイコフスキーである。4楽章幕切れの引きずるような三連譜も他では見られないユニークな解釈。とても印象深い演奏である。録音もフィリップスらしいくっきりしたもの。冷徹な響きの中に、情熱がひそむマルケヴィッチならではのスタイル。3楽章最後のティンパニの最強打はすごい！ 盤：83 見開きジャケット：83 2014-76-85	6,720
161	ミュンシュ ポストンSO M.フォレスト(A) マーラー さすらう若人の歌 マーラー 亡き子を偲ぶ歌 RCA LSC 2371 STEREO 赤地に銀文字 独オリジナル	盤：82 ジャケット：81 76-267	4,200

162	ムラヴィンスキー レニングラードPO チャイコフスキー 交響曲 4番 DGG SLPM 138 657 STEREO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 少女ポートレート 後期ジャケット レコードは独オリジナル ジャケットは2版	11/62 このレコードは、チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベルの後期の製造ではないかと 思われます。音が上の物よりも引き締まって、分解能はむしろ向上しています。 ムラヴィンスキーがレニングラードPOに与える細かい指示は、むしろ、このレコード の方が微細に聞き取ることが出来ます。 盤: 85/78 ジャケット: 80 (1476-8)	6,800
163	ムラヴィンスキー レニングラードPO チャイコフスキー 交響曲 5番 DGG SLPM 138 658 STEREO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 抽象画 初期レッド・ステレオ・ジャケット 独オリジナル	5/62 こちらも初期の独オリジナル チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベルのレコードです。 あまりに見事なサウンドにため息が出ます。 盤: 70/83 ジャケット: 82 (1476-9)	12,600
164	ムラヴィンスキー レニングラードPO チャイコフスキー 交響曲 6番「悲愴」 DGG SLPM 138 659 STEREO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 少女ポートレート・レッド・ステレオ・ジャケット 独オリジナル	11/64 こちらは、2版のジャケットに入った、中期製造の1枚。 独オリジナルです。 音質は、初期チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベルの音の迫る素晴らしさ。 盤: 74 ジャケット: 83 (2014-76-10)	6,300
165	ムラヴィンスキー レニングラードPO チャイコフスキー 交響曲 4番 DGG SLPM 138 657 STEREO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 少女ポートレート 後期ジャケット レコードは独オリジナル ジャケットは2版	このレコードは、チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベルの後期の製造ではないかと 思われます。音が上の物よりも引き締まって、分解能はむしろ向上しています。 ムラヴィンスキーがレニングラードPOに与える細かい指示は、むしろ、このレコードの 方が微細に聞き取ることが出来ます。 盤: 83/78 ジャケット: 79 Side2で15回の軽ティック 2014-76-8	6,720
166	ウィン・モリス NPO マーラー 交響曲 10番(全曲)デレク・クック 版 PHILIPS 6500 607/7 STEREO 赤地に銀文字 蘭オリジナル	マーラーの専門指揮者ウィン・モリスの有名な盤。 これが出るまで10番の補筆完成版の盤はほとんど知られていなかった。 モリスは決定稿(2稿)の初演者であり、これは直後の初録音盤である。 モリスと同じ第2稿による録音もザンデルリンク、レヴァイン、ラトル&ポー ンマス響、シャイーなどがありますが、独自の改訂を加えたものが多く、それぞれ同じ ヴァージョンとは思えないほどの違いがあります。その中でモリスはクックのスコアを 最も忠実に再現したと考えられ、マーラーの残したスケッチにより近い距離にある演奏 と言えるでしょう。ゆったりと気品に満ちた叙情が美しい第1楽章は、クライマックスのカ タストローフまで美しく鳴り渡る耽美的な演奏で、これに慣れてしまうとほかの はどうしてもきつく感じられてしまいます。モリスはマーラーのクライマックス において、薄氷を美しく削り取る名手なのです。オーケストラがクレンペラー時代の ニュー・フィルハーモニアということもあってか、楽器配置はヴァイオリン両翼型であり、 それがまた第1楽章をよけいに魅力的なものにしている。録音が大変優れ、オーディオ 的にも聞きごたえがある。 盤: 84 箱: 83 解説書付 1311-76139	6,800
167	モントゥー 追悼盤 モントゥー アムステルダム・コンサートヘボウ シューベルト 交響曲 8番「未完成」 ベートーベン 交響曲 3番～第2楽章 リハーサル PHILIPS G 03202L MONO 赤地に銀文字 PHILIPS 蘭プレス	モントゥーが1964年に亡くなって、PHILIPSが追悼盤として発売したのがこのレコ ード。シューベルトの「未完成」、そしてリハーサルの達人であったモントゥーの「エロイ カ」のリハーサル(これが初発売)。曲は葬送行進曲です。盤面に小さなすれが 複数あり。ティックとして出るものとそうでないものがあります。回数はそれぞれ 短いです。盤: 78 見開きジャケット: 81	3,150
168	ヤニグロ ザグレボ. A.ラルドロ(Ob) W.トリップ(Fl) J.クリマ(Vn) I.ピンカヴァ(Vn) A.ハイラー(Cemb) J.S.バッハ VnとOのための二重協奏曲 J.S.バッハ Fl、Vn、Cembのための三重協奏曲 AMADEO AVRS6052 MONO 黒地に銀文字 内溝 厚盤 奥オリジナル	ヤニグロの爽快な指揮のもと、ザグレブのメンバーによる2つのバッハの協奏曲。 息の合った演奏を聞かせます。 VANGURADへのモノラル録音を、オーストリア・アマデオがプレスしたもので、 ヨーロッパ・プレスならではの雰囲気や品位の高いサウンドを聞かせます。 盤: 82 ジャケット: 81	4,725
169	ヤニグロ ザグレボ. ロッシーニ 弦楽のためのソナタ 1～4番 VANGUARD VRS488 MONO AMADEO AVRS6052 MONO エンジに銀文字 内溝 厚盤 米オリジナル	モノラルのハイファイ・サウンド！ エッジの立った鮮明な響きで、小編成の弦楽アンサンブルを聞かせてくれます。 艶とクリアなヴァイオリン、深々と陰影深く鳴るチェロ、低音楽器はモノラルながら、 空間の中で個々に定位しているように聞こえます。非常に優れたモノラル・サウ ンドだと思います。モノラル盤で弦楽のいいレコードをお探しの方に、お勧めしたい 1枚です。曲も歯切れが良く、聞いていて楽しい音楽です。 盤: 82/79 ジャケット: M	5,250

170	優秀録音 ラインスドルフ ロス・アンジェルスPO プロコフィエフ バレエ音楽「ロミオとジュリエット」 Sheffield Lab LAB-8 STEREO 緑地に黄色文字でSHEFFIELD LAB 米オリジナル	ダイレクト・ディスク・レコーディングによって録音された1枚。ダイレクト・ディスク・レコーディングとは、演奏をそのまま同時進行でレコードプレス用マスター原盤の溝にカットしてしまうもので、録音のやり直しやパートの差し替えなど出来ません。アーティストのテクニックと集中力が問われる大変難しい録音方法で、臨場感や緊張感が伝わるレコードになっています。ことにプロコフィエフのフル・オーケストラ作品を、ダイレクトディスクで録音するとなると、考えただけで気の遠くなる作業になりそうです。 その努力の甲斐あって、普通のレコードとは、音質のレベルがまるで違ってきます。ラッカー盤を聴いているのに近い音。余計な調整を加えられていない分、オケの音は生々しく、リアルで、生の音に限りなく近いと言えます。プロコフィエフの凄まじい音響が炸裂するこのレコード、皆様のオーディオデモンストレーションにいかがでしょうか？たまには、カット目を見開いた音を、目の当たりにしてみてください。製造数は限られています。最初に刻んだディスクが傷んだら、そこで製造はおしまい。当然、限定プレスになっています。 盤: 82 ジャケット: 82 76-239	6,800
171	ワルター NYP シューベルト 交響曲 9番「グレイト」 PHILIPS A 01152 L MONO マローン地に銀文字 Minigroove フラット重量盤 独オリジナル	ワルターがNYPを振ったダイナミックなシューベルト。 このモノラル時代の録音は、本物のオケの威力、ワルターの甘みな歌と爆発するシューベルトの迫力があります。 盤: 78/81 ジャケット: M	2,980
172	エド・デ・ワールト ドレスデン・シュターツカペレ ウト・ウーギ(Vn) モーツァルト ハフナー・セレナードK.250 行進曲K.249 ETERNA 826 572 STEREO 黒地に銀文字 MOZART EDITON 独オリジナル	録音: 1973年 ドレスデン ルカ教会 ETERNAの名録音技師 クラウス・シュトリューベンの録音です。 あのスイトナーの29番のシンフォニーを彷彿とさせる、教会の天井に音が舞い上がっては、ゆっくり消えてゆく音に包まれる幸せがここにもあります。羽毛のようにソフトなシュターツカペレの弦と柔らかな木管のかけあいがこれほど美しく録音されたレコードも珍しいでしょう。澄んだエコーと相まって大変美しい録音に仕上がりました。スイトナー盤との違いは、これだけエコーをとらえながら、オケの重量感や各楽器にも焦点が合っていること。技師としての力量をあげたシュトリューベンの手腕には舌をまかざるを得ません。 ワールトの指揮は、モーツァルトの軽快さやチャミングさを引き出して、優美さの中に、ふと騒るモーツァルトの暗の部分の表現も見事。ヴァイオリン独奏は、ウト・ウーギです。幼くしてエネスコに師事し、若くして聖チェチーリア音楽院の教授やパガニーニ・国際コンクールの審査員の地位にある人。演奏家としては、イタリアの偉大なヴァイオリン流派の伝統の正統継承者としてみなされています。この独奏が大変見事で、このレコードを聞くひとつの醍醐味にもなっていると 言っていていいでしょう。盤: M ジャケット: M	4,200
New Arrival ピアノ オルガン チェンバロ			
173	モニク・アース フリッツァイ ベルリン放送SO ストラヴィンスキー ピアノと管弦楽のためのカプリッチョ ラヴェル ピアノ協奏曲 DGG LPEM 18004 MONO M33マレーベル フラット重量盤 独初期プレス	オリジナルはLP33レーベル このレコードは1958年に製造されました。 アースの近代物。抜群のセンスで弾き上げられた2曲の作品。 盤: 81 ジャケット: 79	4,200
174	モニク・アース ドビュッシー 前奏曲集 第1巻 DGG SLPM 138 381 STEREO チューリップ Made in Germany.レーベル 独2版	ドビュッシーのピアノ音楽は、その精緻な音を完璧に弾きこなそうと気をとられ過ぎると、つまらない音楽になってしまうように思います。音を正確に出しながらも、イメージーションを膨らませて弾くことが大事なのではないでしょうか？ アースのピアノは、多彩な音色と重すぎない打鍵に無限のイメージーションを持っています。落ち着いていますが、それでいて前へ前へと進むわくわくする気分いっぱい、子供に絵本を読んで聞かせるような、絶妙な語り口なのです。 1曲、1曲が踊りだし、楽譜から今にも飛び出してきそうです。それが、モニク・アースのピアノではないでしょうか？ そして、それを知ってしまうと、ほかの演奏は、なんて退屈な、あるいは生真面目な演奏でしょう。多くのピアニストは、ドビュッシーの精緻な音の構成に目を奪われて、表現することの楽しさを忘れているのでは？ 盤: 82 ジャケット: 82 管理番号86-43	5,600

175	モニク・アース ドビュッシー 前奏曲集 第1巻 DGG LPM 18831 MONO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル フラット厚盤 独モノラル・オリジナル	ドビュッシーのピアノ音楽は、その精緻な音を完璧に弾きこなそうと気をとられ過ぎると、つまらない音楽になってしまうように思います。音を正確に出しながらも、イマジネーションを膨らませて弾くことが大事なのではないでしょうか？ アースのピアノは、多彩な音色と重すぎない打鍵に無限のイマジネーションを持っています。落ち着いていますが、それでいて前へ前へと進むわくわくする気分いっぱい、子供に絵本を読んで聞かせるような、絶妙な語り口なのです。 1曲、1曲が踊りだし、楽譜から今にも飛び出してきそうです。それが、モニク・アースのピアノではないでしょうか？ そして、それを知ってしまうと、ほかの演奏は、なんて退屈な、あるいは生真面目な演奏でしょう。多くのピアニストは、ドビュッシーの精緻な音の構成に目を奪われて、表現することの楽しさを忘れていたのでは？ ちなみに、このレコードはモノラルですが、十分に演奏をたのしめます。 この時期のモノラルは、絶妙な空間表現を聞かせてくれるのです。 盤:80 ジャケット:82 管理番号86-43	5,600
176	モニク・アース ドビュッシー 前奏曲集 第21巻 DGG LPM 18831 MONO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル フラット厚盤 独モノラル・オリジナル		
177	アールグリム J.S.バッハ パルティータ 1～6番(全曲) BELVEDERE ELY6102-4 3LP STEREO マローン地に銀文字 ステレオ盤 楽譜付きハードカバー 見開きジャケット 独オリジナル	レア！ アールグリム・ファンには垂涎の1枚です！ 滅多に入荷しないアールグリムの独BELVEDEREのパルティータ全曲。 1965年の発売で、モノラル盤はごく稀に見かけますが、このステレオ盤はまことに希少です。軽い音のキズがある面もごさいますが、入手が難しいためそれでも希少価値は失われません。60年代の軽やかなタッチで弾かれたパルティータ。 一度、音楽が始まれば、耳が離せなくなります。 大変高価なレコードですが、2枚目、3枚目もコンディションを考慮しました。 盤:85/71/70 リング・ファイル・見開きジャケット:79 86-37	8,800
178	アールグリム(Cemb) アーノンクール(gamb) ヘルマン(gamb) J.S.バッハ gambとCembのためのソナタ(3曲) バウムガルトナー(Vn) アーノンクール(gamb) プレスマン(f) J.S.バッハ fl, Vn, Gambのためのソナタ PHILIPS A 00327 L MONO マローン地に銀文字 Minigroove フラット重量盤 独オリジナル	アーノンクール、ヘルマンがガンバ、アールグリムがチェンバロを弾いたJ.S.バッハのガンバとチェンバロのためのソナタ3曲とフルート、ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバのためのソナタの4曲を収録。 アーノンクール、バウムガルトナー、アールグリムとの共演は聴きものです。これも非常にレアな1枚。 盤:78 ジャケット:84 管理番号86-38	6,500
179	アールグリム ピシュナー(Cemb) レーデル ドレスデン・シュターツカペレ J.S.バッハ 2台のチェンバロのための協奏曲 BWV1060～1062 ETERNA 825 693 STEREO 青地に白の扇レーベル 独オリジナル	アールグリムとピシュナーが共演した2台のチェンバロのための協奏曲 有名なBWV1060のドッペル・コンチェルトを含んだ3曲を収録。 ファースト・チェンバロはアールグリム、堂々しながら、バッハの音楽にすべてを捧げた音楽家の潔さ。人数を抑えたドレスデン・シュターツカペレの弦の音色は大変美しい。音の潤い、艶 自然な豊かさ 素晴らしいオーディオ・ファイル 盤:83/79 ジャケット:84 管理番号86-39	7,800
180	アールグリム ルージッチコヴァ ピシュナー(Cemb) レーデル ドレスデン・シュターツカペレ J.S.バッハ 3台のチェンバロのための協奏曲 BWV1063, 1064 ETERNA 825 704 STEREO 青地に白の扇レーベル 独オリジナル	アールグリムとピシュナー、ルージッチコヴァが共演した3台のチェンバロのための協奏曲。3台のチェンバロのための協奏曲は、とすると曲をもてあましたような演奏に出くわすことがあります。この演奏は、3台のチェンバロの役割と音楽的な「美」を見つけ出して、この曲の魅力を整然と聞かせてくれる珍しい1枚。 ドレスデン・シュターツカペレの伴奏が大変美しい。 音の潤い、艶 自然な豊かさ 素晴らしいオーディオ・ファイル 盤:83 ジャケット:83 管理番号86-40	16,000

181	ヴァルヒヤ J.S.バッハ 幻想曲BWV 542 BWV 572 BWV 562 BWV582 BWV 537 ARCHIV SAPM 198 305 STEREO 赤STEREOジャケット 12時位置にSTEREOロゴ・ラベル フラット厚盤 独オリジナル	録音：1962年 オランダ、アルクマール 聖ローレンス教会オルガンのシュニットガー・オルガンを使用。このアルクマールのシュニットガー・オルガンの音色は素晴らしく、芳情に教会いっぱい広がる音色に包み込まれます。 ヴァルヒヤはモノラル時代、1950～52年に、聖ヤコビ教会の小オルガンとカペルのシュニットガー・オルガンでバッハの全集を完成させました。 時代はステレオへと移行し、ヴァルヒヤは再度、ステレオによる録音を試みます。しかし、カペルのオルガンでは、十分なステレオ効果を得ることが出来ず、録音チームとヴァルヒヤが納得したオルガンが、このアルクマール教会のシュニットガー・オルガンでした。ヴァルヒヤが納得しただけあって、本当に素晴らしい音色で鳴ってくれます。録音はレコード数枚分、このときバッハ作品の全曲録音は、予定が立っていませんでしたが、後日、これが全曲録音へと発展して行った記念すべきステレオ初期録音アルバム。 盤：84 ジャケット：84 管理番号86-46	6,300
182	ヴァルヒヤ J.S.バッハ オルガン作品全集 第1巻 ARCHIV 2564 001-8 8LP STEREO 艶銀地に青文字 右サイドにSTEREO 布張りボックス 全集としての初出	ヴァルヒヤのバッハは、今聞いても古さを感じさせず、それどころか、いまだにこれを超える演奏は現れない、オルガンらしい荘重な響き、バッハの音楽に向かって張られたテンションが一時も緩むことなく、格調高弾きあげられている。一生繰り返し聞くに値する音楽がここにあると思います。 ヴァルヒヤはアルクマールの聖ローレンス教会のシュニットガーオルガンで、バッハのオルガン曲を数曲録音しましたが、それは全集を録音する計画ではありませんでした。しかし、1968年、ステレオによるオルガン録音が多数登場してきたことを受けて、アルヒーフはヴァルヒヤによるステレオ・オルガン全曲録音に踏み切ります。さまざまなオルガンがテストされましたが、最終的に選ばれたのは、ストラスブルのサン・ピエール・ル・ジュヌ教会のジルバーマン教会のオルガンでした。ジルバーマンのオリジナルのストップは僅かにしか残っていませんでしたが、当時の構成配置計画書ならびに数量表に従って、周到に修復されていたことが大きかったのです。この全集（第1巻）では、初期に録音されたシュニットガー・オルガンによって録音された作品と、1968年以降、ジルバーマン・オルガンで演奏されたものが収められていて、聞き比べるのも一興かと思えます。 盤：85 箱：85 解説書付 管理番号86-47	13,000
183	ウニンスキー リスト ピアノ・ソナタ ロ短調 ペトラルカのソネット PHILIPS A 00137 L MONO マローン地に金文字 Minigroove フラット重量盤 蘭オリジナル	蘭PHILIPSの1950年代初期のモノラルLPレコード。 おそらくPHILIPSが製造したLPレコードの最も初期の1枚です。この時期にしか出せない独特の音質（おそらく真空管システムによるところが大きいと思います）で聞く、名手、ウニンスキーのリスト。モノラルレコードの妙なる美音に酔いしれるレコードです。盤質は完全なミントではありませんが、50年初期でこれだけの美品が手に入ることは滅多にないと思います。 盤：79/81 ジャケット：79	4,200
184	エッセンバッハ モーツァルト ピアノ・ソナタ K.333 K.332 アンダンテK.616 変奏曲K.265「キラキラ星変奏曲」 DGG SLPM 138 949 STEREO Made in Germany 独オリジナル	録音：1967,68年、ベルリン この番号では、Made in Germanyラベルでオリジナルとなります。エッセンバッハの演奏からは、若々しい感性としっかりとしたテクニック、極めてオーソドックスで端正なモーツァルトが伝わってくる。実にフランクに、エッセンバッハはモーツァルトにアプローチする。その表現は、あたかも方眼紙の上に製図用の筆記具を用いてモーツァルトの音楽のエッセンスを描くかのようで、実に見通しの良い音楽を聴かせる。そして様々な19世紀の解釈を超えて、今モーツァルトの音楽に何が見出せるか？を突き詰めていった表現がここにはある。20世紀後半の演奏家としての新しさを求めるチャレンジが、エッセンバッハのモーツァルトに新鮮さを感じさせるし、その成果は十分にあったと思う。演奏家と作曲者が対話を交わすようにして弾き進めるエッセンバッハの清澄でニュアンス溢れる演奏は、聴く者の心にいつまでも残り、深い感銘を与えてくれることだろう。 盤：85 ジャケット：84 管理番号86-48	7,000
185	エッセンバッハ モーツァルト ピアノ・ソナタ K.332 変奏曲K.265「キラキラ星変奏曲」 DGG 103 212 STEREO 10インチ チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 独オリジナル	1966年発売 録音：1964年、ベルリン 10インチによるスペシャル発売！他の番号で10インチの発売はありません。12インチとは音の傾向も演奏の雰囲気も違ってきえます。極めてレア 盤：85 ジャケット：84 管理番号86-49	8,800
186	カザドシュ ロスバウト ACO. ベートーベン ピアノ協奏曲 5番「皇帝」 PHILIPS 835 086LY STEREO マローン地に銀文字 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 蘭2版	HIFI STEREOレーベル終了の頃に発売になったレコードで、製造されてすぐに、このマーン・レーベルに変更になりました。そういうこともあってか、この2版は音の鮮度が大変良く、カザドシュの繊細なタッチ、巨匠のピアノの細かなところまで鮮明に聞き取れることでしょう。大見栄を切るピアニストではありませんが、それがカザドシュの味、さりげない表現ですが、実にニュアンスに富み、豊かな音楽にあふれています。ロスバウト&ACOの伴奏も絶妙。ACOの充実した響きがまた素晴らしい。 盤：80～83 見開きジャケット：83 2014-76-86	5,980

187	ギーゼキング ドビュッシー 子供の領分 ドビュッシー 組曲「ベルガマスク」 COLUMBIA FCX 30075 MONO 紺地に銀文字 仏初期プレス	「ベルガマスク」前奏曲の少し即興的な入りの部分から、チェンバロ的な音の色を感じる。メヌエットにしても、タイトルほどは古典的なイメージは無く、舞曲としてもバッハやモーツァルトとは明らかに異なる。そして、月の光。 冴えわたった空気の中で夜空に浮かんだ冬の「月」、ドイツロマン派の標題音楽とは異なって、抽象的で詩的な世界だ。終曲のパスピエは17世紀頃のバロック舞曲で、4曲を通じてドビュッシーは古い物と新しい物をとても面白く対比させていると思う。ギーゼキングの演奏は、これら4曲の対比がとりわけ見事、詩的な感興を表現しながらも、ドビュッシー演奏の原点を教えてくれるのである。 この仏盤は、透明感がよく出た音質で、ギーゼキングのドビュッシーを聞くのに不足のない音を聞かせている。 盤:82 ジャケット:83 管理番号86-51	4,830
188	グルダ E.シュトウツ指揮チューリッヒ室内O. J.S.バッハ ブランデンブルク協奏曲2番 J.S.バッハ イタリア風協奏曲 J.S.バッハ 管弦楽組曲2番 AMADEO AVRS 206St STEREO 白地に黒文字 12時位置に 赤でamphora 塙オリジナル	グルダのイタリア・コンチェルトを収めたアマデオ・オリジナル盤 盤:81 ジャケット:81 76-271	3,675
189	グルダ J.S.バッハ イタリア風協奏曲 モーツァルト ピアノ・ソナタ K.545 シューベルト スケルツォ 1番 シューベルト スケルツォ 2番 ショパン アンダンテ・スピアナートと大ポロネーズ AMADEO AVRS 130・017St STEREO 白地に黒文字 12時位置に 赤でamphora 塙オリジナル	レア！ グルダのピアノ小品集を収めたアマデオ・オリジナル盤。 盤:81 ジャケット:81 76-272	4,800
190	グルダ J.S.バッハ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第2巻 MPS 0188.042-5 5LP STEREO 茶色地に銀文字 全曲セットとしての初出	グルダの「平均律」の1巻、2巻、をボックスにまとめたもの。 オリジナルに聞き劣りしないばかりか、新たにこのセット用に切り直したスタンパーは、カッティング・レヴェルをオリジナルより上げてあり、豊かな響きを失わずに聞かせてくれる。 盤:85 箱:83 解説書付き	11,800
191	グルダ ベートーベン ピアノ・ソナタ全集 AMADEO 906 434-444 ASY 11LP STEREO 赤地に黒文字 塙オリジナル	録音:1967年 ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ全集の最も優れたセットではないと思います。これを凌駕するセットは滅多にありません。なぜこの全集を凌駕する演奏が出てこないのか？ それは他のピアニストは得手不得手があるからではないでしょうか？ ポリーニの後期ピアノ・ソナタは実に技巧的に完璧で見事ですが、初期の作品はその特徴を発揮できていないし、一方第8番『悲愴』では素晴らしい演奏をしているブレンデルは、逆に後期が今ひとつ。グレン・グールドの演奏はそれなりにどれも面白いが最高ではなく、アシュケナージも第28番・第30番あたりは素晴らしいが全て傑作とは言えない。ところがこのグルダ盤はどの曲も見事な演奏で貫かれています。グルダの目を通して聞く32曲は、作られた時代、作曲の動機、進展、深化の具合を、一定の視点から見る（聞く）ことが出来るのです。全集を持つという意義が、はじめてここに生まれてくるのではないのでしょうか？ よく無人島に持っていくとしたらという問いがありますが、演奏、録音の質全集としての完成度という点で、新約聖書はグルダになるのでは？ 色々なピアニストで、ばらばらに32のソナタを集めて聴くというのも一興ですが、たった一人のピアニストから聞く重要さも忘れてはならないと思います。 盤:85(1枚のみ76) 布張りボックス:84 解説書付 管理番号86-60	26,400
192	グルダ ベートーベン ピアノ・ソナタ 16番 18番 17番 DECCA 6.41840 STEREO 青地に黒文字 独プレス	録音:1957年 グルダ(1930年～2000年)は、1950年代にデッカに、1960年代にアマデオにベートーヴェンのピアノ・ソナタ全集を録音。デッカの全集は録音技術の移行期にあたるためモノラル録音とステレオ録音が混在しています。 この1枚は57年に録音され、ステレオ収録されています。 ペーゼンドルファーを使用していて、深々とした鳴り、独特の艶のある音色は聞いているだけでも楽しい。演奏解釈は、後のアマデオ盤と基本は変わらないのですが、アマデオ盤はスタンウェイを使用し、DECCA録音ではペーゼンドルファーで弾かれている。おのずと、DECCA録音はウィーン的な典雅な雰囲気が生み出されていて、これはこれで何とも香りたつような素晴らしいベートーベンです！全曲ならば、もちろんアマデオ盤を！しかし、1、2枚、DECCA時代のグルダを経験するのも、乙なものなのです。 盤:85 ジャケット:83 管理番号86-62	4,830
193	グールド J.S.バッハ ゴルトベルク変奏曲 ETERNA 729 153 STEREO 肌色地に黒文字 東独オリジナル	独プレス以上に珍しいのは、こちら東独ETERNA盤。 しかもETERNA盤はダイレクト・メタル・マスタリングでの製造です。 そのためか、ETERNA盤は、音が豊かで、倍音や音の余韻がふくやかに響きます。CDでは絶対に出ないだろうなあと思わせる音です。 一聴の価値あり！ 盤:81 ジャケット:83 管理番号86-66	4,830

194	グールド 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第2巻 CBS 77427 4LP STEREO 茶色地に黒文字 1巻、2巻ボックスに納めた全曲盤	録音：1962、63、65、66、67、69、71年 1962年～1971年という、ほぼ10年近くを要して録音を成し遂げている。 よほど慎重を期して録音を行ったと言えるが、演奏全体に録音年代による大きな違いは存在していない。 長大な楽曲であるだけに、聴き手にいかに飽きさせずに聴かせるのかが必要となってくるが、グールドの演奏の場合は、次の楽想においてどのような解釈を施すのか、聴いていて常にワクワクさせてくれる。長大さをいさかも聴き手に感じさせない、いい意味での面白さ、そして斬新さが存在している。 バッハがスコアに記した音符を丁寧に紐解き、そのベースの上に、いわゆる「グールド節」とも称されるグールドならではの超個性的な解釈が施されている。 その集中力は尋常ならざる域に達していて、随所にグールドの歌声が聴かれるのはご愛敬。超個性的でありつつも豊かな芸術性をいさかも失っていない。 これは、グールドが緻密なスコア・リーディングに基づいてバッハのピアノ曲の本質をしっかりと掴んでいるからだろう。1巻、2巻それぞれ大曲になるが、グールドの解釈から新たな発見を聞き、独特のリズム感に乗って現れるバッハの様々な曲と一緒に楽しんでいただければと思う。 盤：85 ジャケット：84 管理番号86-71	12,600
195	ケンプ ベートーベン ピアノ・ソナタ 14番 8番 23番 DGG SLPEM 136 227 STEREO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 赤ステレオ・ジャケット 独オリジナル	4/64 ケンプの最初のステレオ録音3曲。 これを録音してから、ケンプは再度、別テイクでステレオ録音による、ベートーベン全集を録音し直している。このファーストテイクは、非常に緊迫感のある演奏で、ベートーベンが迫ってくるようです。 圧倒的な迫力を持つファーストテイクを超えることはできなでしょう！ 盤：81 ジャケット：81 76-273	7,500
196	ケンプ ライトナー パンベルグSO モーツァルト ピアノ協奏曲 23番 24番 DGG SLPM 138 645 STEREO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 独オリジナル	盤：83/78 ジャケット：81	4,400
197	ケンプ ライトナー BPO ベートーベン ピアノ協奏曲全集 SLPM 138770/3 4LP STEREO Tulip Made in Germany 全集としての初出セット	パラ売りはチューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル セット物としてまとめられたのは、このTulip Made in Germanyレーベルが初出になります。偉大なケンプのベートーベンを、まとめ聞くチャンスです。相場は20,000～25,000円ほど。お得な価格設定です。盤面はともきれいです！ 盤：M 箱：NM(1cmほどのハゲ 2箇所) 解説書付付き	16,000
198	ハスキル パウムガルトナー ザッヒャー ウィーンSO モーツァルト ピアノ協奏曲 20番 23番 PHILLIPS A 00315 L MONO マローン地に銀文字 Minigroove モーツァルト生誕200年マークジャケット(ペラ・ジャケット) フラット重量盤 独オリジナル	ハスキルがモノラル時代、PHILIPSに3曲の協奏曲とコンサート・ロンドを録音しておいてくれたことは、世界中の音楽ファンの贈り物と言っていいだろう。幸福感に満ちた、その音楽は、まさにモーツァルトの音信そのものである。部分的に聞いていくと、今にも壊れそうなほど、デリケートな音を出していることもあるが、それが細く聞こえないのは、彼女の音楽が、イメージとは裏腹に、圧倒的に強い信念で弾かれているから。 各面に2～3個の小キズあるも、ハスキルのレコードは当時からよく聞かれていて、フルトヴェングラーのレコードと並んでミント盤の少ない演奏家である。 モノラル・カートリッジで再生した場合、ほとんど音に出ないか、目立たなくなり、非常に聞きやすい。何度か、このレコードは入荷していますが、完全な盤はほとんどなく、今回の盤も良いコンディションの部類と言えます。 もし、無傷なら18,000円くらい。 盤：79～76 ジャケット：81 2014-76-106	6,720
199	ハスキル パウムガルトナー ザッヒャー ウィーンSO モーツァルト ピアノ協奏曲9番 コンサート・ロンドK.386 PHILLIPS A 00259 L MONO マローン地に銀文字 モーツァルト生誕200年マークジャケット 蘭2版	ハスキルがモノラル時代、PHILIPSに3曲の協奏曲とコンサート・ロンドを録音しておいてくれたことは、世界中の音楽ファンの贈り物と言っていいだろう。幸福感に満ちた、その音楽は、まさにモーツァルトの音信そのものである。部分的に聞いていくと、今にも壊れそうなほど、デリケートな音を出していることもあるが、それが細く聞こえないのは、彼女の音楽が、イメージとは裏腹に、圧倒的に強い信念で弾かれているから。 各面に2～3個の点のようなキズ。音楽を損なうものではありません。 相場 12,600円くらい。 盤：79 ジャケット：82 2014-76-107	5,980
200	ハスキル フリッツァイ BPO パイエルン国立O. モーツァルト ピアノ協奏曲 19番 27番 DGG LPM 18383 MONO 独オリジナル	モノラル録音 ステレオ盤は存在しません。あまりに、有名な演奏なので、今更、説明は必要ないと思われますが、特に27番は感動的である、この演奏は、通常言われているところの「名演」の域を超えている。なにか、神々しい雰囲気満ちているのです。簡単に名演とか呼ぶのも、はばかられますが、ハスキルのモーツァルトの中でも特別な演奏と言っていいと思います。フリッツァイとの共演、モーツァルトの最後のコンチェルトということで、ハスキルにも独特なインスピレーションが降りたのかも知れません。盤面、いくつかの小ティックがありますが、いずれも軽いもので溝の状態はささる良好。 盤：78 ジャケット：82	5,180

201	ハスキル スヴォボダ ヴィンタートゥールSO ベートーベン ピアノ協奏曲 3番 HELIODOR 478005 HI FI MONO 青地にピンクで HELIODOR フラット重量盤 独オリジナル	実にエレガントなピアノです。男に伍して頑張るといった風ではなく、ある意味女性であることを否定しないで前に出してきたような演奏のようにも感じます。 味わい深く、自然で、美しい音楽がそこにあります。セッション録音なので、よりハスキルの繊細なタッチを聞くことができます。ハスキルのこのキャラクターは、あの美しい2楽章で完全に花開き、聞き手を無言のまま、感動で包みこんでしまいます。 ベートーベンのコンチェルトの中では、もっとも美しい音楽だと思いましたが、まさか、ハスキルがこれほどまでに、素晴らしい演奏を披露していたとは！ 米WESTMINSTERへの録音ですが、DGGプレスによって、より艶と細かな質感が生み出され、ニュアンスの多い音に生まれ変わりました。 盤：79(ごく細いすりキズ 微細ですが一部音に出るが問題にならない程度) ジャケット：83 2014-76-112	6,720
202	ハスキル ゼツキ LPO ベートーベン ピアノ協奏曲 4番 シューマン 森の情景 DECCA 6.43893 MONO 銀地に黒文字 半円部分に赤と青のデザイン 独LP初出	録音：1947年 オリジナルはSP盤で、DECCA AK1944/7。 1987年によやく陽の目を見たハスキル 1947年のセッション(スタジオ録音) これは、ハスキルが、ゼツキと共演した最初の録音で、かのケネス・ウィルキンソンが録音を手掛けています。このハスキル&ゼツキ盤の演奏は、ハスキルという非常に不思議な力のあるピアニストの本質を垣間見れる録音といえましょう。たとえば一楽章の七分半前後のあやうさを感じさせる騒り、息をひそめるようにして奏でられるピアノシモのよるべない孤絶感——師のホルトーはハスキルのことを「バランスがとれないような、孤独な時に、もっとも素晴らしいものを生み出す才能」と評していましたが、このセッションこそ、まさに「その時」、だったのではないのでしょうか。ゼツキの棒は、指揮者としての活動初期のものだと思いますが、演奏はすでに確固たるものがあり、要所でしかせるアクセントが効果的。清新で力強く、ソリストに対するこまやかな気配りも感じさせて立派な仕事ぶり。ハスキルの暗い心情を色濃く反映した演奏も、大変な聞き物。この時期、英DECCA盤(417 465-1)は蘭プレスなので、音質的には、この独盤に一歩、歩があるように思われます。 盤：85 ジャケット：83 1311-76113	5,180
203	ハスキル アンダ ガリエラ PO J.S.バッハ 2台のピアノのための協奏曲 モーツァルト 2台のピアノのための協奏曲 COLUMBIA C 90519 MONO 青地に黒文字 白でCOLUMBIA 独オリジナル	いつものハスキルに比べると、どこか楽しそうに演奏しているように聞こえるハスキルの珍しいCOLUMBIA録音。 アンダとの共演で、開放的になったのか、よく流れる、核心に満ちたモーツァルト&バッハを聞かせてくれます。安心して音楽の流れに任せられる演奏。 音質も大変よい。盤：85 ジャケット：83 1311-76118	6,300
204	ヘブラー シューベルト ピアノ・ソナタ 21番 14番 PHILIPS 839 700 STEREO 赤地に銀文字 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 蘭オリジナル	1997年のシューベルトイヤーの時、ヘブラーのソナタ全集が発売になり(CDで)すぐに廃盤になったために、一時1セット4万円という高値がついたことはご存知でしょうか？ 希少価値もあったでしょうが、CDボックスにそこまで高値がつくには、それなりの理由があったのではないのでしょうか？ ヘブラーのこの21番は、嘆かず、悲しまず、必要以上にはしゃがない、そして、静謐で澄み切った境地が曲の美しさを引き出して、素晴らしい演奏。録音も極めて優秀です。 盤：83 見開きジャケット：83 14-7689	8,000
205	ヘブラー デイヴィス LSO モーツァルト ピアノ協奏曲 8番 5番 PHILIPS 835 351LY STEREO 赤地に銀文字 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 蘭オリジナル	色々な演奏を聴いていると、その作品の本来の姿を見失いそうになる時があります。では、モーツァルトの音楽を、楽譜に忠実に再現している演奏とはどんな演奏なのか？ その疑問にもっとも的確に答えてくれるのが、このヘブラー盤です。ヘブラーのモーツァルトは、作品の手垢をすべて洗い流し、初めてこの作品に触れた時のような、新鮮な感動をさそいます。楽譜に忠実だけでなく、モーツァルトの音楽の芯をとらえ、核心に満ちたタッチを披露しています。こういう演奏というのはヘブラーだけのものかも知れません。これに彼女ならではの、ウィーン風の優美さが加わって、上品でありながら、作品をまっすぐに照らす、作品の鏡のような演奏が出来上がっているのです。ガリエラ&LSOの伴奏は、歌心に満ち、モーツァルト初期の作品から、弾むような楽しさと美しさを引き出しています。この組み合わせは魅力的。どんな巨匠の演奏があっても、このヘブラー盤は存在価値は失わないのです。録音もPHILIPSの極めて優れた録音で収録。	5,980
206	ヘブラー デイヴィス LSO モーツァルト ピアノ協奏曲 11番 13番 PHILIPS 835 392 STEREO 赤地に銀文字 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 蘭オリジナル	色々な演奏を聴いていると、その作品の本来の姿を見失いそうになる時があります。では、モーツァルトの音楽を、楽譜に忠実に再現している演奏とはどんな演奏なのか？ その疑問にもっとも的確に答えてくれるのが、このヘブラー盤です。ヘブラーのモーツァルトは、作品の手垢をすべて洗い流し、初めてこの作品に触れた時のような、新鮮な感動がさそいます。楽譜に忠実だけでなく、モーツァルトの音楽の芯をとらえ、汚れない、それでいて核心に満ちたタッチを披露しています。こういう演奏というのは、ヘブラーだけのものかも知れません。これに彼女ならではの、ウィーン風の優美さが加わって、上品でありながら、作品をまっすぐに照らす、作品の鏡のような演奏が出来上がっているのです。デイヴィス&LSOの伴奏も、コンセプトとしては同じ方向で、レコードの完成度は見事！ どんな巨匠の演奏があっても、このヘブラー盤は存在価値は失わないのです。録音もPHILIPSの極めて優れた録音で収録。	5,980
	New Arrival ヴァイオリン ヴィオラ チェロ		

207	アッカルド マズア ライプツィヒ・ゲヴァントハウスO. ベートーベン ヴァイオリン協奏曲 ETERNA 827 153 STEREO 黒地に銀文字 ラージETERNAラベル 独オリジナル	1977年 ライプツィヒ ポール・ゲルハルト教会 録音技師:ホルスト・クンゼ アッカルドの東独でのセッションです。PHILIPSから同ソースが発売になっていますが、オリジナルはETERNA。アッカルドのヴァイオリンは、弓と弦の絶妙な力加減、独自のポウイングから生まれる、得も言われぬ美音。強くもなく、弱くもない、その弓の弾き具合に聞き手を酔わせる魔法があるのです。ここでは、もうひとつ言わなければならないことがあります。それは、ETERNA盤で聞くライプツィヒ・ゲヴァントハウスの音色の美しさです。古風な弦楽の和音の上に、花が開いたように薫る木管群、硬い音が出ることはない金管楽器、教会の豊かなエコーを得て、実に美しいコンチェルトの録音が誕生しました。盤:79～83 ジャケット:83 1311-76141	4,200
208	D.オISTRAフ クシェヴィツキー オポーリン サージェント PO ベートーベン トリプル・コンチェルト COLUMBIA STC 70387 STEREO 10インチ 白地に赤文字 金色のリム 金色の丸STEREOステッカーを貼った見開きジャケット フラット重量盤 独オリジナル	この演奏の特徴は、オISTRAフ・トリオのメンバーが、そのまま演奏に参加しているということ。これは、ありそうで、なかなかありません。演奏は、密度の高い室内楽を聞いているようです。抜群に3人の息があって、音楽の志向性も統一されています。ある意味、この曲の究極の姿がこの演奏なのかも知れません。ベートーベンの作品も初期の作品ということで、この室内楽的な演奏は非常にマッチします。独初期盤特有の盤の表面のふくらみがあります。この番号で、ふくらみのないオリジナル盤はないので、盤のキャラクターとお考えください、盤:78 ジャケット:81	4,200
209	D.オISTRAフ フルニエ ガリエラ PO ブラームス ドッペル・コンチェルト COLUMBIA STC 70383 STEREO 10インチ 白地に赤文字 金色のリム 金色の丸STEREOステッカーを貼った見開きジャケット フラット重量盤 独オリジナル	オISTRAフが弾いているヴァイオリンは、A.ストラディヴァリの1702年製 Conte de Fontana。この演奏では、独奏者がお互いに共演者の長所を引き出しあっているように思えます。オISTRAフのがっちりした構成力とフルニエの格調高い音色、優雅さ。作品ともよく合っているように思います。この録音を大変気に入っていたオISTRAフは、亡くなる日にも聴いていたと言われています。独初期盤特有の盤の表面のふくらみがあります。この番号で、ふくらみのない盤は見たことがありません。特価にて販売します。盤:78 ジャケット:81 76-224	4,200
210	D.オISTRAフ フルニエ ガリエラ PO ブラームス ドッペル・コンチェルト COLUMBIA SMC 80900 STEREO 12インチ 白地に赤文字 金色のリム 独2版	オISTRAフが弾いているヴァイオリンは、A.ストラディヴァリの1702年製 Conte de Fontana。この演奏では、独奏者がお互いに共演者の長所を引き出しあっているように思えます。オISTRAフのがっちりした構成力とフルニエの格調高い音色、優雅さ。作品ともよく合っているように思います。この録音を大変気に入っていたオISTRAフは、亡くなる日にも聴いていたと言われています。こちらは2版ですが、12インチ両面にたつぷりと切っており、伸び伸びとした音は素晴らしい。しかも、盤面のふくらみもないということで、この演奏を聴くならば、2版はベストチョイスかも知れません。盤:82 ジャケット:82 76-225	4,725
211	オークレール クーロー シュトゥットガルト室内PO モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 4番 5番 fontana 6530 015 STEREO 灰青に銀文字 初期プレス	このモーツァルトは無類にすばらしく、オークレールの師・・・というよりはよき保護者だったティボーに条件の良い録音が残っていない無念を十二分に晴してくれる会心の演奏である。オークレールの美質もまた、この演奏に最もよくあらわれていると私は思う。彼女もまた、パリ音楽院楽派のよき伝統以前にエルリーの記事で触れた「良心」の体现者のひとりだと思うが、ここで別の視点を持ち出すなら、それは成熟した「文化」と優れた個性の協働ということであろう。オークレールと同門のヌヴェーなどは、どの時代、どの文化にいてもヌヴェーでしかない、そういう種類の稀有な天才だと思うが、オークレールやジャンヌ・ゴータエ、ジャニーヌ・アンドラード、ローラ・ボベスコなどブーシュリ門下の同窓生たちは、きわだって明瞭な個性と同時に、特定の時代の成熟した文化が包含するさまざまな断面、要素がその個性を借りて「生きて」いるのを感じる。最後に、オークレールの演奏を通じて勝手に思い描くことのできる(いささか不謹慎な?)イメージを蛇足として付け加えておこう。オークレールの演奏を評して「清楚」とか「たおやか」といった形容をよく目にするけれど、私の印象はそうしたものに程遠い。そんなイメージは中年紳士諸兄の妄想にすぎないと思っている。彼女の演奏をきいていて思い浮かぶ情景は、恐ろしく勝気で、とんでもなく頭の回転がよく、小気味いいほどに口が達者で、神経の細かい男なら30秒罵倒されただけで卒倒しかねないほどだが、やることなすこといちいちがどうにも可愛らしく、カミュだかサルトルだかの最新刊を小脇に抱え、お取り巻きの男どもを引き連れてパリの並木道を颯爽と闊歩する女子大生、といったところだろうか。彼女の弾くヴァイオリンのポウイング、フレージングは恐ろしく早く、しかも切れ味鋭い。このレコードでは、そんなオークレールのヴィヴィッドな面がひしひしと伝わってくるのである。それほど録音のいいレコードとは思っていなかったが、このFONTANA盤で聞くサウンドは見違えるようだ。オークレールの弓の動きまで見えそうなリアル感と豊かなプレゼンスの広がるサウンドである。 盤:85 ジャケット:83 管理番号86-74	8,800

212	オーケレール ワーグナー インスブルッグSO メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲 fontana 700 155 WGY STEREO 灰青に銀文字 蘭初期プレス	オーケレールのチャイコフスキー、メンデルスゾーンは、技巧で聴衆を圧倒しようといったものはありません。抒情が引き立ち、その中にニュアンスが生きています。聴けば、すぐそれとわかる際立った個性は、「明晰と知性」という言い方が出来るかも知れません。チャイコフスキーではロシアの荒れ狂う要素は排除され、純音楽的なアプローチで弾きあげられています。メンデルスゾーンでは、それが品位となって現れ、この人がティボーに学び「女性ティボー」と呼ばれたのも、納得がいく。演奏の「粋」と出てくる音楽の「香気」がそう呼ばせたのではないかと思います。philipsから発売されると、すぐに廉価シリーズで発売されるなど、当時の扱いはひどいものですが、本当に価値あるものは、時間を超えて評価されるのだという実例。初期プレスのこの1枚、みずみずしい音色と潤いのある素晴らしい音質を聞かせていたことがわかります。 盤:85 ジャケット:83 管理番号86-75	8,800
213	オーケレール ワーグナー インスブルッグSO メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 サヴァリッシュ ウィーンSO メンデルスゾーン 交響曲 4番 fontana 6530 006 STEREO 蘭プレス	オーケレールがティボーに例えられる、もっとも良い例を、このメンデルスゾーンの協奏曲で聞くことができます。オーケレールには、力みやこぼし、気持ちを込めた熱い歌などとは無縁で、早めの弓さばきで弾き上げた音楽は、一聴すると淡泊なように聞こえます。しかし、細部に至るまでニュアンスは織り込まれており、淡さの中に表現された「美」は、まるで達人の一筆書きのようでもあります。このニュアンスの美しさを知ると、オーケレールの虜になってしまいます。このレコードはオリジナルではありませんが、音質はとても良いです。 盤:82 ジャケット:83 管理番号86-76	5,250
214	カンポーリ マルコム ヘンデル ヴァイオリン・ソナタ 4番 ヘンデル ヴァイオリン・ソナタ 6番 DECCA LW 5077 MONO 黒地に金文字 半円部分金地にラージ・デッカ 10インチ フラット重量盤 独オリジナル	50年代のドイツ・デッカの朗々たる鳴りを楽しむレコードです。中域の音の張り出し方と、陰影を帯びた音色、芯のある音は、まさにドイツ・デッカの音で、魔力を秘めた鳴りに心酔していただきたい。カンポーリはもともと、軽音楽の人でしたが、クラシックに転向して成功したヴァイオリニスト。カンポーリの歌心、ごくわずかに、音楽を崩して聞かせるのが実にうまい！ですからカンポーリには小品が良く似合います。このヘンデルでは、にじみ出る親しみやすさと、ヘンデルの音楽の気品が絶妙なバランスで融合した名演と言えます。1950年代のレコードにしか出せない、ヴァイオリンの妙なる美音を味わってください。カンポーリのドイツ 10インチは極めて珍しい存在です。 盤:80 ジャケット:85 管理番号86-77	12,600
215	カンポーリ ボールト LPO メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 ブルッフ スコットランド幻想曲 DECCA 6.42144 青地に黒文字 独プレス	TELDECのしっかりしたサウンド カンポーリのメンデルスゾーンとブルッフをご堪能ください。 音質も良いです。 盤:81/79 ジャケット:81 76-275	3,150
216	ナターリア・グートマン テリアン & モスクワ音楽院O. ボッケリーニ チェロ協奏曲二長調 ヴィヴァルディ チェロ協奏曲 RV422 タルティーニ チェロ協奏曲 イ長調 ETERNA 826 956 STEREO 黒地に銀文字 独オリジナル	バロック時代のチェロ協奏曲を3曲。グートマンは、もともと現代音大好き！の現代感覚あふれる演奏家で、知的で、作品の解析力も抜群です。そんな彼女が、バロック作品で、持ち前の聡明な音楽解釈で、弾いてくれます。軽やか、明るく、軽すぎず明るすぎない、爽やかさが身上の音楽。そういう作風をよくとらえながら硬質な、決して甘くならないリリシズムを聞かせています。聞いていて爽やかですね。作品本来の美しさが、自然とあふれてくる。そして、表現を抑えながら弾いているので、飽きるということがない。1枚に収まった3人の作曲家のキャラの違いも浮き彫りに。まったく見事なグートマンのチェロです。彼女は、とりわけ現代音楽の演奏に関心を寄せ、シュニツケやデニソフ、グバイドゥーリナなどからは作品を献呈されています。これはすごいことです！ 盤:82 ジャケット:81	4,200
217	アンドレイ・クルカ(Va) キャトルヴィッツ & ワルシャワ国立PO メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 グラズーノフ ヴァイオリン協奏曲 TELEFUNKEN SAT 22518 STEREO 青地に黒文字 白でTELEFUNKEN 独オリジナル	盤:81 ジャケット:81 76-276	3,675
218	グリュミオー ハスキル ベートーベン ヴァイオリン・ソナタ全集 PHILIPS 6733 001 4LP E-STEREO 赤地に銀文字 PHILIPS 蘭再発	これ1セットでグリュミオーとハスキルの録音したベートーベンのソナタ全曲を聴くことができます。疑似ステレオということで、敬遠される方もいらっしゃるかも知れませんが、少々響きを加えた程度のもので、不自然さは感じられません。 盤:79~76 箱::78 解説書付き 1311-76117	5,250
219	グリュミオー デイヴィス LSO モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 2番 モーツァルト ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲K.364 PHILIPS 835 256 LY STEREO 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット マローン地に銀文字 蘭オリジナル	グリュミオーは3&5番を61年、1&4番を62年、そして2番と協奏交響曲を1964年に録音しました。よってこのレコードは、マローン・シルバーでオリジナルとなります。澄み切った音場、ヴァイオリンの鮮やかな音色、グリュミオーのヴァイオリンの表現は電光石火のごとく変化し、一瞬の緩みもありません。きりりと引き締まっていて、宝石のように輝かしいグリュミオーのヴァイオリンは、この時期、この人が全盛期にいたことを示しています。名ヴァイオリニストの頂点で録音されたモーツァルト、PHILIPSの最も良い時期である、1965年の製造。レコードの生まれる時期としては、最高の条件が揃っているのではないのでしょうか？ 盤:81 見開きジャケット:83	5,980

220	グリュミオー ハスキル モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ集 K.454 K.526 PHILIPS A 00388 L MONO マローン地に銀文字 太文字でPHILIPS 蘭2版	非常によく出来た2版のレコード。 音の潤い、艶、モノラル録音独特のまろやかな音色と、スピーカー中央奥に定位する演奏空間。これだけの音が出ていれば、初版かどうかはこだわらなくて良いような気持ちになってくるから不思議です。 このデュオは、本当に絶妙なバランスで成り立っています。 ある意味、二人の感情の流れが方向が一致していないような感じが独特の味になっているのです。ところが、相思相愛にピッタリ寄り添ったデュオより聞かせるのですから、これは奇跡的に偶然生まれた形なのでしょう。 ここでのハスキルの“慈しみ”はまさに“母性”に近く、グリュミオーが才気のおもむくままに、惜しげもなく披露する美音を、潤いのあるピアノでしっかりと受け止めます。そこには音の色と香り、そして影があります。イニシアティヴはハスキルがとっています。グリュミオーは好き放題やらせてもらっているのに、出来上がった音楽は紛れもなくハスキルのものです。ハスキル自身が数多くの巨匠たちに可愛がられる中で、いつの間にか会得したような、デュオの奥義に、私たちは参るのです。このデュオの奇跡を、当時の会場に居わせて聴いているかのような感覚を味わえる、このレコードの価値は測り知れません。 盤:85 ジャケット:83(右上端に5mmの穴) 管理番号86-82	10,800
221	グリュミオー マルケヴィッチ ブール&ACO ベルグ ヴァイオリン協奏曲 ストラヴィンスキー ヴァイオリン協奏曲 PHILIPS 802 785 LY STEREO 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット マローン地に銀文字 蘭2版	ヒューマンな心の歌を奏でるのをモットーとしていたグリュミオーのレパートリーには珍しい20世紀の作曲家の作品2作をおさめた貴重な録音です。ヴァイオリンの美音ばかりでなく、音楽の核心に踏み込んだグリュミオーの演奏が聞き物。グリュミオーの柔軟な表現が作品に新たな光を投げかけています。もう一方の聞きものとしては、2人の鬼才とも言える指揮者との共演です。マルケヴィッチが振るベルグとエルンスト・ブールの振るストラヴィンスキーは、大変な聞き物かも知れません。特にブールは、録音が少ない人だけにPHILIPSのセッション録音で、コンサートへボウを振ったこの1枚は、ファンだけにとどまらず、一聴の価値あります。 盤:78/83 見開きジャケット:83 1476-95	5,180
222	グッリ(Vn) カヴァッロ(P) ベートーベン ヴァイオリン・ソナタ 5番「春」 10番 Le Club Francais du Disque 97 MONO 白と青のLe Club Francais du Disqueラベル フラット重量盤 仏オリジナル	手にずっしり重い重量盤からは、音離れの良いサウンドが飛び出します。期待を裏切らない初期フランス盤の素晴らしい再生音。グッリのヴァイオリンは、流れ良く、丁寧にベートーベンを弾き上げています。特に5番の演奏は魅力に溢れています。 盤:5番:81 10番:75 ジャケット:79 管理番号86-84	6,400
223	クレメル(Vn) アルゲリッチ(P) ベートーベン ヴァイオリン・ソナタ 1番 2番 3番 DGG 415 138-1 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	才能が有り余る二人の共演ですが、ベートーベンの初期作品ということもあって、お互いに温かな演奏を、そして巨匠同士による楽興の時間が繰り広げられます。一時も目を離せない、スリリングさも。たっぷり豊かな音場をとった録音も良いセンス。この時期のレコードは、後期レアとして市場では高価です。 盤:85 ジャケット:83 管理番号86-85	7,800
224	レオニード・コーガン(Vn) パヴェル・コーガン(Vn) エリザベス・ギレリス(Vn) モスクワ放送SO ヴィヴィルディ ヴァイオリン協奏曲op.12-1 L.コーガン(Vn) ヴァイオリン協奏曲op.4-8 P.コーガン(Vn) ヴァイオリン協奏曲op.4-3 E.ギレリス(Vn) 3つのヴァイオリンのための協奏曲 MELODIA 33CM 02993 STEREO 青地に銀文字 露オリジナル	1970年代、L.コーガンは、第1線からは退いていますが、音楽家としてはさらに深化を遂げていたのではないのでしょうか？ ブラームス、ベートーベンなど大向こうを喰らす音楽ではなく、ヴィヴァルディを弾いて、聴き手をうならすことの方が意味、難しいと言えそうです。自然に、なにもしていないようにじみ出るうまさ、良い音楽があふれてきます。このアルバムでは、コーガンのソロは、たった1曲ですが、それでも十分聞く価値があるに思えます。軽テックか所特価。 盤:78/85 ジャケット:84	2,000
225	コミッサロウ(Vn) カランダショフ(P) ウェーバー 6つのヴァイオリン・ソナタ集 ETERNA 827 125 STEREO 黒地に銀文字 STEREO 東独オリジナル	ウェーバーのヴァイオリン・ソナタに興味があって、聴いてみました。とてもメロディの先行した親しみやすい音楽。ウェーバーの明るく、豊かな旋律を楽しむことが出来る作品です。1975年、レニングラードにて録音されたもので、コミッサロウの情感をうまく弾きだした佳演が光ります。 盤:85 ジャケット:83 管理番号86-86	3,500
226	シェリング ギブソン ニューPO モーツァルト ヴァイオリン協奏曲全集 コンチェルトーネK.190 協奏交響曲K.364 PHILIPS 6707 011 4LP STEREO 赤地に銀文字	PHILIPSの優秀な録音は、1970年。アナログの音が円熟期に入った時期で、素晴らしい音質です。ワルシャワに生まれ、ベルリンでカール・フレッシュに師事し、次いでジャック・ティボーにも教えをうけ、ナディア・ブーランジェに作曲を学んだシェリングの幅広い見識と穏やかな人柄がにじみ出た素晴らしいモーツァルトのコンチェルト！春の穏やかな空気にこれほどマッチした演奏はないと思います。箱からその日の気分で曲を選んで！ 盤:85 箱:84 解説書付 管理番号86-88	18,000
227	シェリング ギブソン NPO モーツァルト ヴァイオリン協奏曲5番 6番 PHILIPS 802 709 LY STEREO 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 赤地に銀文字 蘭オリジナル	抜けるような青空を思わせる、素晴らしいサウンドです！シェリングは、カール・フレッシュに師事していただけあり、どこを誇張するわけでもなく、音楽を伸び伸びと弾き上げながら、充実したモーツァルトを展開してゆきます。モーツァルト演奏のひとつの理想ではないでしょうか。 盤:83 見開きジャケット:83 管理番号76-92	7,800

228	シェリング クライスラー名演集 ～愛のよろこび～ 愛の悲しみ / ウィーン奇想曲 / 美しきロスマリン レチタティーヴォとスケルツォ / テンポ・ディ・メヌエット / プレリュードとアレグロ / ルイ13世の歌とパ ヴァーヌ / 中国の太鼓 / メヌエット / 昔の歌 ベートーヴェンの主題によるロンディーノ ボッケリーニの様式によるアレグレット fontana 6531 007 STEREO 蘭再発	マーキュリーの名録音からFONTANAで再発したレコード。 マスターテープの音の圧倒的な優秀さが残っていて、非常に鮮度がよく、切れ味が立っています！シェリングの正調とでも言いたくなる気品あるヴァイオリン。 盤:70/82 ジャケット:82 管理番号86-89	2,500
229	マンフレッド・シェルツァー(Vn) アマデウス・ウェーバージंक(P) シューベルト 3つのソナチネ ETERNA 825 728 STEREO 黒地に銀文字 東独オリジナル	演奏、録音、曲目 三拍子揃った名盤。 今回の入荷のものは、持つ手にずっしり重い重量盤です。 素晴らしいシューベルトのソナチネのレコード。ヴァイオリンの音色をチェック するときのチェック・レコードにも最適かと思えます。 盤:85 ジャケット:85 管理番号86-90	7,800
230	スターン(Vn) クルツ NYP ヴィニャフスキ ヴァイオリン協奏曲 2番 COLUMBIA 33C 1013 MONO 10インチ 濃紺地に金文字 フラット重量盤 英オリジナル	まず、最初期、英コロムビアのしなやかで、艶のあるモノラル音に魅せられます。 フラット重量盤の10インチということで、音の粒立ちと厚みが両立した見事なモノラル・サウンド！加えて音に品格がある。モノラル時代のスターンは、後年の強引なくらい弾きまくるスタイルは顕著ではなく、聴き手の耳をくすぐるヴァイオリンの音色、曲に捧げた演奏スタイルを賞します。時に聞かせる低音のコブシや甘いヴィヴァラートが、ヴィニャフスキの音楽にマッチして、曲と演奏の見事な一体感を感じさせるのです。フラット重量盤によくある表面のスレ少々、音には出ません。濃紺最初期ジャケット。 盤:80 ジャケット:81 管理番号76-232	4,200
231	アレクサンダー・ステイン(Vn) ボリス・メルソン(P) ベートーベン チェロ・ソナタ 1番 2番 CONCERT HALL SMS2706 STEREO 赤地に銀文字 仏オリジナル	ステインはパスキエ、ナヴァラ、カザルスに師事したルーマニアのチェリスト 優美に歌う独自のスタイルを人です。 盤:85 ジャケット:85 管理番号86-91	3,500
232	ズーカーマン バレンボイム シカゴSO ベートーベン ヴァイオリン協奏曲 DGG 2530 903 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	クラウス・シャイベの作りだした音空間の広大な広がり、まろやかで包み込むような音場の中で、伸び伸びとベートーベンの奏する二人。若い音楽家の未来を示唆するかのよう、幸福感いっぱいの演奏。ズーカーマンは、一般に言われているほどヴィブラートやポルタメントの多用はなく、実際は、非常にきれいな音色で弾きあげられています。イメージとは怖いものです。むしろ、慣習的なルパートや使い古した表現から決別するかのような、決意が演奏の中に現れているのです。 盤:85 ジャケット:83 管理番号86-92	3,500
233	スーク(1st) ヴラフ(2nd)&スーク室内O. J.S.バッハ ヴァイオリン協奏曲全集 SUPRAPHON 1110 3615 STEREO 青地に銀文字 チェコ・オリジナル	自己主張より協調、このスークというヴァイオリニストは、常に控え目に音楽に接しながら気品ある音楽を聞かせる人です。音色は温かく、音楽には穏やかです。 2台のヴァイオリン協奏曲では、ヴラフ四重奏団のリーダー、ヴラフを2ndに迎えての録音、こちらも気になる演奏です。 盤:M ジャケット:M	3,650
234	ヤン・パスカル・トルトゥリエ(Vn) ポール・トルトゥリエ(Vc) フレモー & パーミンガムSO ラロ スペイン交響曲 ラロ チェロ協奏曲 EMI ASD3209 STEREO 小カラー切手ニッパ ラベル周囲に白線 英オリジナル	優秀露録音！ 晩年のトルトゥリエが弾くラロのコンチェルトは、フレモーの伴奏ともども、非常に陰影の深い演奏で名演です。。第2楽章の夢見のような夢想曲からスペイン情緒が飛び出してくるあたりが、いかにもラロらしい。 終楽章は、トルトゥリエのモノローグに導かれて、めくるめくフィナーレで締めくくる。ヤンの弾くヴァイオリンによる「スペイン交響曲」も若々しい名演。 鮮やかなスペイン情緒が沸き起こる。 盤:83 ジャケット:82 管理番号86-93	4,830
235	パウク(Vn) ギュンター・スターン & LPO チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲 SOMERSET CL-544 STEREO 白地に黒文字 米オリジナル	パウクはモーツァルトのVnソナタ集などで知られるハンガリーの名手ですが、協奏曲の録音は少ない。このチャイコフスキーも、独ではsomersetというマイナーレーベルから出ているためか、市場ではほとんど知られていない。 聴いてみると堂々としていて音はきれいで文句はない。是非、チャイコフスキーのコレクションに加えていただきたい1枚です。掘り出し物。オケはロンドンで英録音？仏ではVOGUE社のMODEレーベルから発売されているようです。 盤:83 ジャケット:83 管理番号86-94	4,625
236	クリスチャン・フンケ(vn) カリガ(p) カンタービレ～ヴァイオリン小品集 ラフマニノフ:ロマンズop.6-1 ブラームス/クライスラー:ハンガリー舞曲17番 ショスタコーヴィッチ 幻想的舞曲 / パラディス シチリア舞曲/ベートーベン ロンド/パガニーニニ カンタービレ/モシュコフスキー セレナータ/ パガニーニ ハバネラ/ ヴィニャフスキ 伝説曲 クライスラー 狩り/ ドビュッシー 月の光 シューベルト/ウィルヘルム アヴェ・マリア ETERNA 725 193 STEREO サーモン地に黒文字 東独オリジナル	ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO.のコンマスを務めたフンケによるヴァイオリン小品集。このヴァイオリニストのレパートリーの広さを物語っています。 会場エコーを取り入れて、ホールの広さまでわかりそうな録音。 フンケの演奏家としての力量を聞きとれる見事な小品集。 盤:85 ジャケット:84 管理番号86-97	4,200

237	トーマス・ベックマン 松下佳代子 チャーリー・チャップリンの音楽を弾く ～チャップリンの映画音楽を弾く～ ライムライト 愛のセレナーデ お風呂でおふざけ 美しきつづらな瞳よ ナポリ・マーチ タンゴ・ナターシャ 伯爵夫人 スマイル Side2 クラシック・サイド サンサーンス 白鳥 ボッケリーニ ロンド フォーレ エレジー ドビュッシー ミンストレル シューベルト ロザムンデ リムスキー=コルサコフ 熊ん蜂の飛行 フォーレ 夢のあとに TAKEDA PHARMA LC8648 STEREO	このレコードは、日本コロムビアが発売した「愛のチャップリン」や「ライムライト」に先駆けて、録音されたもので、このレコードをきっかけに、チャップリンの音楽の録音がCD化され、話題となった。このレコードは、その火付け役となったルーツのような1枚です。ここでもベックマンの素晴らしいチェロにのって弾きあげられたチャップリンの音楽が聞きもの。 盤:82 ジャケット:81 76-227	4,200
238	パールマン(Vn) サンダース(P) ヴァイオリン・リサイタル クライスラー:前奏曲とアレグロ / サラサーテ:アン ダルーサのロマンス ノヴァチュク:無窮動 / ベンハム:子守唄 ヴィニャフスキー:スケルツォ・タランテラ シューマン:ロマンス パガニーニ:ソナタ12番 サラサーテ:サパテアード ELECTROLA 1C063-02463 STEREO カラー小切手ニッパ 独オリジナル	こういう小品を弾かせたら、パールマンは本当にうまい！ 録音も良くて、胸のスク1枚です！ B面6cm軽テック 盤:86/76 ジャケット:84	800
239	マリアンネ・ベトヒヤー(Vn) ウルシアートレーデ・ベトヒヤー(P) ドヴォルザーク/ ロマンティック小品集 ラヴェル/ヴァイオリンソナタ ファリャ スペイン組曲 パルトーク ルーマニア民族舞曲 RBM 3059 STEREO 黒地に銀文字 独オリジナル	ベトヒヤー姉妹によるデュオ演奏。女流演奏家ならではの、繊細な音楽表現がしみるように耳に届きます。押しつけがましくないところがいい。 盤:84 ジャケット:82 76-277	4,200
240	ジークフリート・ボリス(Vn) チェリダッケ & BPO メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 プロコフィエフ 交響曲 1番 ELECTROLA HORZU MZEL700 MONO 赤と白のHORZUラベル	レア！ ドイツのヴァイオリニスト、ジークフリート・ボリス(1912～1980)はフルトヴェングラーがベルリン・フィルのコンサートマスターに招聘したことで有名です。 1940年代～1961年までベルリン・フィルの顔として活躍してきました。ちなみに、ベームのミサソレ旧盤(BPO、DGモノ)でソロヴァイオリンを弾いているのもボリスです。このメンデルスゾーンの独奏は彼の音楽性と技巧の高さを証明する演奏となっています。また、ベルリン・フィル四重奏団として室内楽でも活躍しました。美音と堅実なスタイルで、見事なメンデルスゾーンを聞かせています。 盤:78 ジャケット:84 管理番号86-99	4,200
241	エンリコ・マイナルディ(Vc) アンゲラー & ウィーン国立歌劇場O. ボッケリーニ チェロ協奏曲二長調 BERTELSMANN 13133 MONO 赤地に黒文字 10インチ 独オリジナル	この時期の、BERTELSMANNレーベルが、このような完璧なコンディションで残っているのは、極めて稀なケースです！ 盤、ジャケット、ともに素晴らしいコンディションです。 盤:86 ジャケット:88 管理番号86-100	12,600
242	ミケルツチ(Vn) イ・ムジチ合奏団 ガラッティ(Cemb) アルビノーニ 12の協奏曲集op.10 ヴァイオリンと弦楽と通奏低音のための協奏曲集 PHILIPS 839 723/5 3LP 赤地に銀文字 蘭オリジナル	ヴィヴァルディが秋の日のスカツと晴れ渡った空だとしたら、アルビノーニの音楽は、小雨の降る、憂いと潤いに満ちたイタリアの歌である。明るくなりすぎて、うるさく感じたり、賑やか過ぎて邪魔になるとことがまったくない。メランコリックでありながら軽快、しっとりと歌い上げる旋律は、耳に心地よく、早朝や夜中などに、合いそうな控目を魅力とした音楽。ミケルツチとイ・ムジチの美演で！ 盤:85 箱:85 解説書付 1311-76149	7,350
243	ストイカ・ミラノヴァ(Vn) マルコム・フレージャー(P) シューマン ヴァイオリン・ソナタ 1番 ブラームス ヴァイオリン・ソナタ 1番 BASF 25 21392-7 STEREO 赤地に黒文字 BASFロゴ 独オリジナル	ブルガリアの女流ヴァイオリニスト、ストイカ・ミラノヴァの興味深い録音。希少盤です。 ミラノヴァの音楽、これはまさに情念の音楽。ヌヴェーのごときシャーマニスティックな情念ではなく、むしろボベスコや天満敦子に通じるちょっと湿っぽい、温かみのある情念。激情というより濃情というべきだろうか。それを弛緩しない構成力とキレのあるテクニックで縫っていくから、音楽としても非常に凝縮度の高いものとなっている。よって、そういう資質のヴァイオリニストの弾くシューマン & ブラームスである。聴きごたえは十分！ 盤:85 ジャケット:83 管理番号86-101	6,300

244	ペトロ・メッシエレウル(Vn) コツデルコヴァ(P) 近代ヴァイオリン作品集 ヒンデミット ヴァイオリンとピアノのためのソナタ シェーンベルグ 幻想曲 ストラヴィンスキー デュオ・コンチェルト ウェーベルン 4つの小品op.7 SUPRAPHON ST 50693 STEREO 赤地に銀文字 チェコ・オリジナル	ターリッヒ四重奏団のリーダー、メッシエレウルによる近代ヴァイオリン作品集 たしかな技術と高い音楽性で弾き上げられた傑作LP。 メッシエレウルは、ターリッヒ四重奏団の創設者にしてリーダーだったヤン・ ターリッヒが彼の演奏の見事さに、自らヴァイオリンからヴィオラに転向して 新リーダーとして四重奏団に迎えた程の実力者。(ヤン・ターリッヒは、指揮者 ヴァーツラフ・ターリッヒの甥にあたる)素晴らしい完成度の1枚！ 盤:86 ジャケット:84 管理番号86-102	5,250
245	メニューイン ケントナー モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ K.454 K.526 HMV ALP1547 MONO 赤地に金文字 半円ニッパ 英オリジナル	音楽の内面に肉迫しようとするメニューインのヴァイオリン。 モーツァルトの音楽のドラマを感じさせる1枚です。 盤:M ジャケット:M Side1のBand1と2で、微細にチャラチャラと貴金属の触れあう音が 聞こえます。ほかの盤も鳴っていたので、これは演奏家の身につけて いたものが音を発していたと思われます。Band2からはしなくなります。 ご愛嬌。 盤:84 ジャケット:82 1311-76143	5,800
246	エドゥアルド・メルクス(Vn) ユゲット・ドレフュス(Cemb) J.S.バッハ ヴァイオリンとチェンバロのためのソナ タ(全曲) ARCHIV 2533 292-3 2LP 艶けし銀地に青文字 独オリジナル	メルクスの使用ヴァイオリン: ニコラ・アマティ 1679 ドレヒュス使用チェンバロ: von Jean Bas, Marseille 美しいバロック・オリジナル楽器とバッハの深淵なソナタの調和 パリの教会の内部に漂うように響きわたるメルスクのヴァイオリン、 ドレフュスの歯切れの良いチェンバロが小気味よいリズムを刻む。 盤:80 箱:85 管理番号86-103	6,300
247	メニューイン マクシミウク&ポーランド室内O. ルクレール ヴァイオリン協奏曲op.7-5 タルティーニ ヴァイオリン協奏曲op.36 IC 067-143644-1 STEREO 半円ビッグ・ニッパ DMMプレス 独オリジナル	さわやかな音楽 美しい旋律 簡素な構成。気楽に音楽を楽しむのに最適な1枚です。 楽しんでいるのは聞き手だけではないかもしれません。 弾いている当の本人も、どこか楽しそうです。あまり、面倒な技術に振り回される曲で はなく、シンプルに弾いて楽しめる音楽を。久しぶりにくつろいでいるメニューインを聞き ました。こういう肩の凝らないレコードも貴重かも知れません。 DMMプレス ヴァイオリンの弦に弓が触れる瞬間まで、目に見えそうな鮮明で、クリア な音質。ヴァイオリンの優秀録音です。 盤:85 ジャケット:84 1311-76144	3,675
248	Y.メニューイン H.メニューイン ベートーベン ヴァイオリン・ソナタ 5番「春」9番 「クロイツェル」 ELECTROLA STE80549 STEREO 白地に赤文字 金色のリム 独オリジナル	メニューインのこのベートーベンの録音は、厳しい精神性を感じさせる、求心的な 演奏で、これだけ自己にも厳しく、作品の魂に迫った演奏は珍しいのではないで しょうか？よって、「クロイツェル」の演奏は青白い炎をあげて、メニューインが曲 に迫ろうとするものです。その気迫、精神性は、メニューインの多数の録音の中 にあっても、断トツに凄味があります。悠然と構えた余裕綽々の演奏でなく、自ら をギリギリの線まで追い込み、抜き差しならない状況の中から、音楽を生みだして いくメニューインの演奏は、音楽を演奏することとは何か？を問うに十分のエネ ルギーに満ちているのです。 初期ELECTROLAのステレオ盤は、音質が引き 締まっていて、透明感があります。余計な付着音がなく、ピュアな音が魅力です。 盤:81 ジャケット:81 76-222	10,800
249	メニューイン(Vn) フェラス(2nd Vn) ロバート・マスターズ室内O. J.S.バッハ ヴァイオリン協奏曲 1番 J.S.バッハ ヴァイオリン協奏曲 2番 J.S.バッハ 2台のヴァイオリンのための協奏曲 ELECTROLA STE 91025 STEREO 白地に赤文字 金の輪 金色の丸STEREOステッ カー貼りジャケット 独オリジナル	メニューインのバッハは、精神性を重んじた演奏。 まっすぐにバッハを見据えて、それ以外には、目もくれない集中力。 演奏効果とか、なにかアピールを演奏に含ませようという気持ちは皆無。 それは、気持ちいいほどです。メニューインと同じように、バッハと向かい合っ て、この作品を見極めてみませんか？そういう気持ちにさせてくれるレコードです。 独ELECTROLAの初版が、このお値段で聞けるのは、ある意味、超お値打ちだと 思います。ふくらみの音への影響は極めてわずかです。 盤:78 ジャケット:81	4,200
250	ルッジェロ・リッチ(Vn) エドリアン・ポールト&LPO ベートーベン ヴァイオリン協奏曲 DECCA ND535 MONO 赤地に黒文字 12時位置に四角のDECCAロゴ	モノラル盤出来くりッチのヴァイオリン、SP中央に堂々と定位するモノラル・カッ ティングです。 盤:85 ジャケット:83 管理番号86-105	4,200
251	ロストロポーヴィッチ ザッヒャー & コレギウム・チューリッヒ ヴィヴァルディ(PV31) タルティーニ(イ長調) ボッケリーニ(ニ長調) チェロ協奏曲集 DGG 2530 974 STEREO BLUE LINE 独オリジナル	ロストロポーヴィッチがバロック・コンチェルトを、軽快に爽やかに弾き上げた さわやかな1枚。軽いボウイングで、重くならない程度に、深くこくのある音色 が出るのがとても不思議に思えます。軽すぎず、バロック・コンチェルトの音楽 を豊かに弾き上げたロストロポーヴィッチの1枚 盤:84 ジャケット:82 管理番号86-106	4,200

252	アーロン・ロサンド(Vn) セーケ&南西ドイツ放送O. サラサーテ ツィゴイネルワイゼン サラサーテ カルメン幻想曲 シベリウス ユーモレスク 1,2 3-6番 チャイコフスキー 憂鬱なセレナード ORBIS VX 11840 MONO 濃紺地に銀文字 フラット重量盤 独オリジナル	名器グワルネリ・デル・ジェスでバロックから現代曲まで自在に弾きこなし、ヴィルトーゾとしての大きな伝統を受け継いだ最後の演奏家。独特な音色、高度な、確かな、そして優雅な演奏はあきらかにこの時代の他のヴァイオリニストと一線を画します。20世紀の偉大なヴァイオリニストであるハイフェッツ、ジンパリスト、ミルシュタイン等を教授したベルギーの大家イザイ、ロシアのアウワーの伝統を確実に受け継いだヴァイオリニスト。現在はフィラデルフィアのカーチス音楽院、ボルティモアのピーボディ音楽院、マンハッタンのマネス音楽学校で教授を勤め、夏期講座としてフランス、ニースのCIFまた、ザルツブルグのモーツァルテウムでも教授として活躍している。あのパブロ・カザルスをして、“私の古き友人であるイザイをしのばせる。力のみなぎった豊かな演奏形式を持った、優れたヴァイオリニストである”と言わしめたロサンドの、最も油が乗っていた50年代の、貴重な小品集の録音。ヴァイオリニストの良き時代の音楽がここにあると言えます。独ORBISは、VOX系のレーベルですが、この欧州プレスは、音が潤っており、フラット重量盤の音の厚みと豊かな中域が魅力的。ロサンドのヴァイオリンを堪能できる音質です。 盤:81 ORBIS共通ジャケット:81	7,800
253	ヘルシャー、ラビン、コーガン、シュヴァルベ、メニューイン ヴィルトウオーゾ・ヴァイオリン集 サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン ヘルシャー ディニーク:ホラ・スタッカート ラビン パガニーニ:カプリース21番 ラビン タルティーニ:悪魔のトリル I.ヘンデル ブラームス:ヴァイオリン協奏曲〜3楽章 コーガン &コンドラシン サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ ヘルシャー クライスラー:前奏とアレグロ シュヴァルベ ブラームス:ハンガリー舞曲 16番 スピヴァコフ アルベニス:マラゲーニャ シュヴァルベ パガニーニ:ヴァイオリン協奏曲 1番〜3楽章 メニューイン エレーデ ELECTROLA 1C037 1461761 STEREO 半円ビッグドッグ・レーベル	ELECTROLAが企画した〜クラシック名曲シリーズ 陶器人形のジャケット・シリーズです。 このシリーズは、選曲と演奏家の選択に定評があり、玄人の音楽ファンも集めている人が多いシリーズです。 盤:81 ジャケット:81 管理番号86-107	4200
New Arrival その他 器楽			
254	ジュリアン・ブリーム イギリスのリュート音楽集 RCA LSC2560 STEREO 赤地に銀文字 内溝 独オリジナル	20世紀のクラシック・ギター界を代表するギタリストの一人。 まばゆい音色で奏でるスペイン音楽や、リュート(モダン・リュート)による古楽演奏で知られ、またブリテン、ヘンツェ、武満徹らに委嘱した作品の演奏を通じてギター曲のレパートリーを拡大し、「現代の音楽家」としても精力的に活動したひと。英国人であったブリームが、特に愛着を持って生涯弾き続けた音楽が、この自国のリュート音楽である。この時期の英国には、カッティング、ダウランド、モーリー、ホルボーンなどメロディの宝庫だった。素晴らしい表現力で弾きあげたブルーム改新の一作である。RCAのソリア・シリーズとして発売(当時のトップ・プライス) 盤:84 ジャケット:84 1311-76152	4,800
255	ヘルマン・パウマン(Hrn) マズア ライプツィヒ・ゲヴァントハウスO. R.シュトラウス ホルン協奏曲 1番 2番 ウェーバー ホルンと管弦楽のためのコンチェルティーノ ETERNA 725 016 STEREO ページュ地に黒文字 独オリジナル	1番の協奏曲の牧歌的な味わい 60年後に作曲された2番の作品はホルンを知りつくした(シュトラウスの父がホルン奏者だった)シュトラウスの総括的な作品です。しかし、このレコードには、もう1曲素晴らしい小品が収められています。ウェーバーのコンチェルティーノです。。録音も演奏も良いものとなるとカタログ上は淋しい限り、このレコードの演奏は見事でこの録音の決定盤として持っていたい。曲の途中で、ホルンの最低音が出てきますが、パウマンはそれをじっくりと吹いています。ここはひとつの聞き場でしょう。ドイツが生んだ20世紀最高のホルン奏者のひとり、ヘルマン・パウマン[1934-]の滑らかなカンタービレを用いた超絶技巧。音色が美しいのは当たり前。その長く消え入るようなカンタービレ(とてもホルンとは思えない)に酔いしれてください。 盤:M ジャケット:M	4,200
256	ラリユー(fl) プヤーナ(Cemb) W.クイケン(gmb) J.S.バッハ フルーツ・ソナタ全集 PHILIPS 802 825/6 STEREO 赤地に銀文字 蘭オリジナル	ラリユーの演奏は、フランスのフルート奏者であることを、強く印象づけるものがあります。中域のピロードのような潤いと艶をもった音色。音楽は常に気品に満ちたもので、その牧歌的に美しい味わいは、他の演奏家には替えがたいものがあります。何も考えずに、ひたすら美しい音楽にひたっていたいという時は、このラリユー盤は最高です。ニコレやランバル以上の、純粋に美しいフルートを聞かせてくれると思います。伴奏を務めるプヤーナのチェンバロが極めて創造的で独創的なバッハを生みだしています。 盤:M 箱:M 解説書付	6,800
257	ランバル(fl) ピエルロ(ob) ドウアルテ&コレギウム・ムジクム・デ・パリ ハイドン オーボエとフルートのための協奏曲 2番 3番 4番 eurodisc S 73651 KK STEREO 白地に黒文字 小STEREOマーク 重量盤 独オリジナル	手に持つとずっしりと重いヘビー級重量盤です！いかにもいい音の出そうな手ごたえです。針を降ろしてみます。爽やかなサウンドが部屋中を満たします。フルートとオーボエのかけ合いを、オケが支えていく協奏曲。古典スタイルの協奏曲ではありますが、作品が洗練され、聞き飽きないのは、ハイドンの筆力なのでしょう。エレガントで、聞きやすいですが、安っぽくならず、常に品格を保った音楽はさすがです。ランバルとピエルロが、これ以上ないというくらい見事な独奏を聞かせてくれます。秋の晴れた日に、窓を開けて聞いた、そんな1枚です。 盤:83 ジャケット:83 1311-76151	4,725

	New Arrival 室内楽曲		
258	アルパレスピアノ弦楽四重奏団 カルメン・ピアジーニ(P) ウェルナー・グロブホルツ(Vn) ボド・ヘルセン(Va) ウェルナー・トーマス(Vc) フォーレ ピアノ四重奏曲 1番 マーラー ピアノ四重奏曲 BELLAPHON 680.01.009 STEREO ベージュ地に黒文字 紫色BELLAPHONロゴ 独オリジナル	盤:88 ジャケット:83	4,200
259	アルバン・ベルグ弦楽四重奏団 バルトーク 弦楽四重奏曲全集 EMI EX 2706113 3LP STEREO 半円ビッグニッパ 独オリジナル	ダイレクト・メタル・マスタリング 盤:85 箱:81 解説書付	8,800
260	新ウィーン弦楽四重奏団 チャイコフスキー 弦楽四重奏曲 1番～3番 AMADEO AVRS 6448/9 2LP STEREO マローン地に銀文字 塙オリジナル	第1ヴァイオリンのP.メッシエールは、ターリッヒSQの第2ヴァイオリン奏者としても活躍。ウィーン的な潤いに富んだ情緒、チャイコフスキーのロシア色を強調しない演奏で、チャイコフスキーの上質な抒情とメランコリックを巧みに歌い上げていて、非常に美しい演奏に仕上がっています。盤:M ジャケット:M	
261	ダンツィ五重奏団 シュターミッツ 管楽器のための四重奏曲 op.82 レイハ 3つのアンダンテ ロッシーニ 管楽器のための四重奏曲 2番 ダンツィ 管楽器のための五重奏曲 op.67-2 PHILIPS 839 702LY STEREO 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 赤地に銀文字 蘭オリジナル	管楽のアンサンブル特有の、空間を感じさせる音楽。 どこかユーモラスで、チャーミングで、一度聞いただけで仲良くなれそうな愛嬌があります。はっとするような美しさを湛えた箇所もあり、聞かせどころは多数です。ダンツィ五重奏団の演奏は、洗練されていて、5つの管楽器の溶け合いが美しい。たまに違った編成の音楽を聴くと、とても新鮮な気分になれること、うけ合い！ 盤:M～NM 見開きジャケット:M	4,200
262	ベルリン八重奏団 ドヴォルザーク 弦楽五重奏 2番 2つのワルツ op.54より PHILIPS 802 851 LY STEREO 蘭三方向開き 厚紙コート 布張り背表紙ジャケット 赤地に銀文字 蘭オリジナル	各自がソリスト級の腕前を持ちながら、合奏時に最高の力を発揮するベルリン八重奏団のドヴォルザーク。 一度、聞いたら忘れられない懐かしくなる旋律と、緊密なアンサンブルで構成されたこの曲は、ベルリン八重奏団のためにあるようなもので、演奏にも非常に力が入っている。 盤:83 見開きジャケット:82 2014-76-98	5,980
263	ライプツィヒ・ゲヴァントハウス室内合奏団 (ボッセ:Vn、ハールマン:Va フルタウス キー:Cl シーバー:Hrn セルトマン:Fg エルベ ン:Vc シーバッハ:Cb) ペートーベン 七重奏曲 ETERNA 825 549 STEREO 黒地に銀文字 ラージ・エテルナ・ロゴ 独2版	ボッセがリーダーを務めるライプツィヒ・ゲヴァントハウスO.のピックアップ・メンバー、ゲヴァントハウス室内合奏団の演奏は、古き良きゲヴァントハウスO.の特色を、音の良いステレオで聞くことができる得がたいレコードだ。 今では考えられない優雅な音楽が流れ、すべてが穏やかで上品。 東独の佳き日を偲ばせる“夢”のようなレコード。 ETERNAの2版は、音がにじんたり、甲高くなったり、まして音がボケるようなことはまったくなく、素晴らしい鮮度とふくよかなサウンドを聞かせてくれます。 盤:83 ジャケット:81 1311-76142	4,200
	New Arrival ウルブリッヒ弦楽四重奏団		
	～GREAT STRING QUARTET ウルブリッヒ弦楽四重奏団～ ドレスデン国立歌劇場のコンサートマスターのひとりであるルドルフ・ウルブリッヒを中心に1951年に結成されたクアルテット。 このクアルテットの音を耳にしていると、彼等が所属するシュターツカペレ・ドレスデンのオーケストラ演奏を、そのまま室内楽に移したかのような、くすんだ美しさを感じます。均整のとれた造型感が、このいぶし銀のような音色によりいっそう磨きをかけているように思われるのです。あまり知られていないメンデルスゾーンの 弦楽四重奏曲 でも、渋いですが幻想味豊かな情感を秘めた緊迫感が胸を打ちます。とくに作品80で聞かせてくれる暗いドラマティックなムードには、オーケストラ的なスケールの大きさを連想させます。 ハイドンの歴史に残る名盤「太陽」、モーツァルト/弦楽五重奏曲の陰影に富んだ名演 、誠に古典から近現代の作品まで、極めて高い音楽性を発揮していて驚かされます。その演奏の根底には、優美な音色と強固な構成本力、格調高い音楽が貫いているのです。残された数少ない録音のすべてが名演奏と言っていると思います。		
264	ウルブリッヒ弦楽四重奏団 ハイドン 弦楽四重奏曲 op.20「太陽」(全曲) ETERNA 826 375-6 2LP 黒地に銀文字 東独オリジナル	録音:1970年 ドレスデン ルカ教会 今さら語ることのないくらい有名な、ウルブリッヒ四重奏団を代表する名盤。 このハイドン演奏は、古典の理想を見る思いがします。耳を傾ければその滋味豊かな世界が開けてくるはず。録音もよく、ハイドンの作品としても充実した内容。よくぞ録音してくれたと感謝したくなるレコード。こういう音楽をレコードで聞くのは、まさに至福の時間ではないでしょうか。 サウンドは、木の質感で、豊かなホルトーンが味わえます。 盤:85 ジャケット:88 管理番号86-121	22,000

265	ウルブリッヒ弦楽四重奏団 ハイドン 弦楽四重奏曲op.20「太陽」(全曲) EURODISC 80599-600 XK 2LPSTEREO グレイ地に黒文字 ステレオ・マーク 西独オリジナル	録音:1970年 ドレスデン ルカ教会 このレコードは、ETERNAからソース提供を受けて EURODISCにて発売。 製造はドイツ・グラモフォンがカティングからプレスまで行っており、ETERNAに一步もひけを取らない出来栄えに仕上がっている。 ETERNAより演奏家に近づいたような音で、4つの弦が目の前で展開。 弦の音色は豊か。エコーはETERNAより抑えられて、よりソリッドでスタイリッシュな音。盤:85 ジャケット:83 管理番号86-122	16,000
266	ウルブリッヒ弦楽四重奏団 ハイドン 弦楽四重奏曲op.20「太陽」(全曲) ETERNA 826 375-6 2LP 青地に黒文字 独2版	録音:1970年 ドレスデン ルカ教会 音像、音質、ともにオリジナルとの差はわずかです。 お値段の差は相当なもの！あえて2版をお勧めするわけではありませんが、ETERNAの2版は相当に質が高いです。 盤:85 ジャケット:83 管理番号86-123	8,400
267	ウルブリッヒ弦楽四重奏団 J.ウルブリッヒ(Va) モーツァルト 弦楽五重奏曲K.406 K.516 ETERNA 826 068 STEREO 黒地に銀文字 独オリジナル	良いオーケストラには良いカルテットあり！ 世界最高の音楽性を誇るシュターツカペレ・ドレスデンのメンバーによる四重奏団が、ウルブリッヒ四重奏団である。 彼らが録音したモーツァルトの弦楽五重奏曲は、世界の宝物である。、 盤:85 ジャケット:79 管理番号86-124	9,450
268	ウルブリッヒ弦楽四重奏団 J.ウルブリッヒ(Va) モーツァルト 弦楽五重奏曲K.406 K.516 ETERNA 820466 MONO 黒地に銀文字 独オリジナル	ゲルーヴガード(フラット重量盤は存在せず) ウルブリッヒSQのモーツァルト 弦楽五重奏曲は今や、ETERNAの中でももっとも入手の難しいセットとなりました。それは、ひっそりと人気があったウルブリッヒ四重奏団の人气が、今や、ズスケを超えるほどウナギ登りの人気になったから。 ウルブリッヒSQの弦楽五重奏曲の全集は、826 067/9の3枚組ステレオ盤。 その内、826 068にあたる、K.406とK.516のみ60年代にモノラル盤として発売されたことが判明。(当初は全曲録音の計画がなく、とりあえず1枚のみモノラル盤で発売したと思われる)それがこのレコード。よってK.406とK.516の真のオリジナルは、この820 466と言っていると思います。 当時のプレス、枚数は極めて少なく、あまり売れなかった？と見えて市場にはほとんど残っていません。このレコードが激レアな由縁です。 その内容ですが、どこが出張るわけでもなく、モーツァルトの音楽を確実に不足なく、古式格調高さととらえてゆくのは、まさにウルブリッヒその人。モノラル再生によって、そのまとも具合はいっそう見事に聞こえます。 演奏家の実在感、モノラル音場の中に、ぽっかり演奏家の空間が出来た見事なモノラル盤。盤:86 ジャケット:84 管理番号86-125	21,000
269	ウルブリッヒ弦楽四重奏団 J.ウルブリッヒ(Va) ウィカルスキ(P) メンデルスゾーン 弦楽四重奏曲6番op.80 メンデルスゾーン ピアノと弦楽四重奏のための六重奏曲op.110 ETERNA 826 526 STEREO 黒地に銀文字 独オリジナル	弦楽四重奏曲の6番が見事な演奏。渋いが幻想味豊かな情感を秘めた緊迫感が胸を打ちます。この暗いドラマティックなムードには、オーケストラ的なスケールの大きさを連想させます。やはり、オーケストラの室内楽だけあって、こういう曲のとらえ方はさすがにうまい！ 盤:84 ジャケット:75 管理番号86-127	5,600
270	ウルブリッヒ弦楽四重奏団 エルンスト・H.マイヤー 弦楽四重奏曲 4番 5番 ETERNA 885 192 STEREO グリーン地に銀文字 独オリジナル	ETERNAレーベルの近・現代の作品を発売するNOVAシリーズより。 盤:84 ジャケット:82	5,600
271	ウルブリッヒ弦楽四重奏団 カール・シュッテ(c1) マックス・レーガー クラリネット五重奏曲 ETERNA 826 387 STEREO 黒地に銀文字 独オリジナル	レーガーのクラリネット五重奏曲は、レーガー最晩年の作品で、世紀末的雰囲気漂わせた音楽。ブラームスのクラリネット五重奏曲に、現代の作曲法を注入して、改変したら、こんな音楽になるかもしれません。しかし、ブラームスより音楽は暗くはなく、まさに世紀末の気分を漂っているように聞こえます。シュッテのクラリネットは大変美しく、ウルブリッヒ四重奏団との音色と見事に融合している。調べたらドレスデンの首席クラリネット奏者でした。ウルブリッヒのコレクションに加えてみてはいかがでしょうか？ 盤:84 ジャケット:79	5,600
	New Arrival バロック音楽		
272	イ・ムジチ合奏団 アーヨ(Vn) ガッツェローニ(FI) ガラツィ(Cemb) J.S.バッハ ブランデンブルグ協奏曲 3番 4番 5番 PHILIPS 835 195 AY STEREO マローン地に銀文字 HIFI STEREOレーベル 蘭オリジナル	美しい音が流れてゆくブランデンブルグ協奏曲。 ひとたび音が鳴ったら、あまりの魅力的な音に、針を上げられなくなります。あまり難しいことは考えず、こういう素晴らしいサウンドに浸っている時こそ、癒させるのかも知れません。イ・ムジチの演奏は聞いていて楽しくなる躍動感に満ちています。HIFI-STEREOの素晴らしいサウンド！ 盤:76 ジャケット:82 管理番号86-113	7,800

273	コンチェルト・アムステルダム ブリュッヘン シュレーダー レオンハルト ビルスマ パウマン 他 テレマン ターフェル・ムジーク 第1集 SAWT 9449/50 2LP TELEFUNKEN 黒地に金文字 ROYAL SOUND 独オリジナル	よくもこれだけのメンバーが揃ったものです！シュレーダー、ビルスマ、ドンボウ、アンドレ、パウマン、レオンハルトなどなど、名だたるアーティストがずらりと揃った陣容は壮観というほかに、ブリュッヘンの思索的な統率のもと、それぞれがテレマンの多彩な魅力を引き出していくのです。 ゆったりとしたテンポで、旋律に心をこめて歌わせたユニークな『ターフェルムジーク』。テレマンの旋律創作の才能に改めて感じ入る素晴らしい場面が多く、特に有名な四重奏曲ニ短調(第2集)での美しさには忘れがたいものがあります。 今や古楽の優れた演奏が多く出ました。しかしこの曲の持つ、典雅な雰囲気とそれを支える個々の名人達の素晴らしい演奏が醸し出す、豊かな雰囲気を聞けるのは、この演奏だけなのです。第1集は未開封の新品。 1964年の録音とは思えない、すごい音が出てきます！ 硬質で澄んでいて、音が出ると、部屋の空気を変えてしまいます。 これぞtelefunkenサウンドという音。こういうローカル(ドイツらしさ)が出るのは、聞いていて気持ちいいものです。高価ですが、アナログの醍醐味を味わえるセットです。盤:85(未開封新品同様) ジャケット:83 管理番号86-113	9,800
274	コンチェルト・アムステルダム ブリュッヘン シュレーダー レオンハルト ビルスマ パウマン 他 テレマン ターフェル・ムジーク 第2集 SAWT 9451/51 2LP TELEFUNKEN 黒地に金文字 ROYAL SOUND 独オリジナル	盤:83 ジャケット:83 管理番号86-116	9,800
275	コンチェルト・アムステルダム ブリュッヘン シュレーダー レオンハルト ビルスマ パウマン 他 テレマン ターフェル・ムジーク 第3集 SAWT 9453/54 2LP TELEFUNKEN 黒地に金文字 ROYAL SOUND 独オリジナル	盤:83 ジャケット:83 管理番号86-116	9,800
276	マックス・ボンマー ライプツィヒ新バッハ・コレギウム ズスケ(Vn) シュロンハイム(Org) グレッツナー(Ob) J.S.バッハ Orgと弦楽のための協奏曲BWV146 Vnと弦楽と通奏低音のための奏曲BWV1056 Ob、弦楽と通奏低音のための協奏曲BWV351 ETERNA 725 042 STEREO サーモン地に黒文字 独オリジナル	ボンマー率いるライプツィヒ新バッハ・コレギウムによる伝統の上ののった新しい時代の風を感じることの出来るバッハ。ソリストには、東独を代表する名手が登場。録音も素晴らしくお勧め出来る1枚です。 盤:85 ジャケット:85 管理番号86-117	4,800
277	マックス・ボンマー ライプツィヒ新バッハ・コレギウム ズスケ(Vn) グレッツナー(Ob) パルム、レイネッケ、ロート(Vn) J.S.バッハ 3つのVnと弦楽のための協奏曲BWV1064 Vnと弦楽とための協奏曲BWV1045 Ob-damrと弦楽と通奏低音の協奏曲BWV169 ETERNA 725 044 STEREO サーモン地に黒文字 独オリジナル	ボンマー率いるライプツィヒ新バッハ・コレギウムによる伝統の上ののった新しい時代の風を感じることの出来るバッハ。ソリストには、東独を代表する名手が登場。録音も素晴らしくお勧め出来る1枚です。 盤:85 ジャケット:85 管理番号86-118	4,800
278	グッリ(Vn) カヴァッロ(P) ポカテッラ(Vc) カニーノ(Cemb) ヴァイオリンの芸術 タルティーニ VnとCembのためのパストラーレ タルティーニ VnとVcのためのソナタ ヴィオッティ VnとPと弦楽のためのコンチェルト ヴィオッティ デュエット・コンチェルト ARS NOVA VST 6207 STEREO 茶色地に黒文字 伊オリジナル	イタリアの名手が集まって、録音したバロック作品集 ARS NOVAというイタリアの小さなレーベルに録音したこのセッションは、演奏家も寛ぎながら録音したみてとても良い雰囲気。 盤:83 ジャケット:82	5,400
	New arrival 声楽曲		
279	エリカ・ケート エンゲル シューベルト シューマン ヴォルフ 歌曲集 ELECTROLA SMVP 8067 STEREO 赤と白のVOLKS PLATTEレーベル 独再発	オリジナルはSTE この発売にあたって、新たにリカットングを行っているため、音質はみずみずしい。全盛期のケートが歌うドイツ・リートの実録。 盤:83/78(シューベルト1曲に軽キズ 他はMint) ジャケット:83 1311-76156	3,675

280	リタ・シュトライヒ クルト・ゲーベル & バイエルン放送O. レーゲンスブルグ聖歌隊 子守唄と民謡集 DGG LPEM 19462 MONO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル 独モノラル・オリジナル	リタ・シュトライヒが彼女の最も良い時期に、DGGに録音したソロ・アルバム の傑作。彼女の歌心は、子守唄や民謡にピッタリとマッチするのです。 味わい深く、1曲、1曲に愛情を傾けた歌唱は、聞いていると、心があたた まる想いです。モノラル盤は、シュトライヒの歌声が中央にピタリと定位して クリアに声が浮かび上がります。 盤面にすれあるも、音に出るものはほとんどなし、モノラル・カートリッジで 再生すると、さらに聞きやすくなります。盤:79 ジャケット:82 1311-76154	2,800
281	ハインリッヒ・シュルスヌス ペシェコ(p) シューベルト シューマン 歌曲集 DECCA HD16 MONO 黒地に金文字 12時位置に楕円DECCAマーク 独LP初出	1948年に録音された、シュルスヌスの名唱の初LP化です。復刻音は非常に鮮明で 、歌うシュルスヌスの空間まで感じられる優れた復刻です。シューベルト11曲、シュ ーマン2曲。シューベルトは“水車小屋の娘” “白鳥の歌” “冬の旅”より選んで歌わ れています。シュルスヌスの十八番、シューベルトの歌曲をたっぷり楽しめるアルバ ム。シュルスヌスの歌唱を聴いていると、その独特の世界に酔わせてくれるので すが、それはシューベルトの歌の世界そのものなのかも知れません。 お勧めの1枚です。盤:83 ジャケット:83	4,200
282	イルムガルド・ゼーフリート ウェルバ モーツァルト 歌曲集 シューマン 女の愛と生涯 DGG LPEM 19112 MONO チューリップ ALLE HERSTELLER.レーベル フラット重量盤 独モノラル・オリジナル	LP初期から1960年代に活躍したドイツの名ソプラノ・ゼーフリート。 自然な語り口の中に、理知的な表情をのぞかせる歌は、いつ聴いても 心温められます。盤:M- ジャケット:M	3,675
	New Arrival 宗教曲		
	聖トーマス教会合唱団		
283	ラミン 聖トーマス教会合唱団 ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. ルツツェ(T) オッテル(Bs) H.ケストナー(Org) シリーズ 第1集 J.S.バッハ カンタータ 65番 「彼ら、みなサバより来らん」 カンタータ 119番「イエルサレムよ、主を讃えよ」 ETERNA 820 452 MONO 青地に白の扇レーベル グルーヴガード 独オリジナル	バッハのカンタータの歴史を語る上で、このラミンの録音を避けて通ることは 出来ません。この演奏こそが、バッハ直伝に最も近く、いにしえのトーマス教会少年 合唱団の響きがここにあるのです。今日、私たちが録音として聞くことのできる最古 で、最もオリジナルに近い録音といえましょう。遥か昔、バッハ自身がこの合唱団の 指揮にあたり、礎を築いた伝統が、脈々と流れていることを実感できるレコードです。 ラミンのカンタータ・シリーズは全12枚となります。ジャケットテープ貼りのため価格 調整。盤:78 ジャケット:80 2014-76-71	2,850
284	ラミン 聖トーマス教会合唱団 ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. ルツツェ(T) ハウプトマン(Bs) H.ケストナー(Org) シリーズ 第4集 J.S.バッハ カンタータ 137番 「力強き栄光の王なる主をたたえよ」 J.S.バッハ カンタータ 79番「主なる神は、太陽にし て楕なり」 ETERNA 820 455 MONO 青地に白の扇レーベル フラットナイフ重量盤 独オリジナル	ごく初期の製造 フラットナイフ重量盤 新品同様 通針はしていませんと思われる。ジャケットも大変きれいです。 バッハのカンタータの歴史を語る上で、このラミンの録音を避けて通ることは 出来ません。この演奏こそが、バッハ直伝に最も近く、いにしえのトーマス教会少 年合唱団の響きがここにあるのです。 今日、私たちが録音として聞くことのできる最古で、最もオリジナルに近い 録音といえましょう。遥か昔、バッハ自身がこの合唱団の指揮にあたり、 礎を築いた伝統が、脈々と流れていることを実感できるレコードです。 ラミンのカンタータ・シリーズは全12枚となります。 盤:81 ジャケット:81 2014-76-73	7,350
285	ラミン 聖トーマス教会合唱団 ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. マッテウス(A) ルツツェ(T) ヘルテル(Bs) H.ケストナー(Org) シリーズ 第10集 J.S.バッハ カンタータ 117番「至福の善に讃美と栄 光あれ」 J.S.バッハ カンタータ 131番「深き苦しみの淵より、 我汝を呼ぶ」 ETERNA 820 525 MONO 青地に白の扇レーベル グルーヴガード 独オリジナル	バッハのカンタータの歴史を語る上で、このラミンの録音を避けて通ることは 出来ません。この演奏こそが、バッハ直伝に最も近く、いにしえのトーマス教会少年合 唱団の響きがここにあるのです。 今日、私たちが録音として聞くことのできる最古で、最もオリジナルに近い 録音といえましょう。遥か昔、バッハ自身がこの合唱団の指揮にあたり、 礎を築いた伝統が、脈々と流れていることを実感できるレコードです。 ラミンのカンタータ・シリーズは全12枚となります。 盤:81 ジャケット:81 2014-76-77	7,350

286	ラミン 聖トーマス教会合唱団 ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. アスボウル(S) オッテル(Bs) H.ケストナー(Org) ギーベル(S) オッテル(Bs) シリーズ 第12集 J.S.バッハ カンタータ 36番 「喜びて舞い上がれ」 カンタータ 57番「その人は幸いなり」 ETERNA 820 527 MONO 青地に白の扇レーベル グルーヴガード 独オリジナル	バッハのカンタータの歴史を語る上で、このラミンの録音を避けて通ることは出来ません。この演奏こそが、バッハ直伝に最も近く、いにしへのトーマス教会少年合唱団の響きがここにあるのです。 今日、私たちが録音として聞くことのできる最古で、最もオリジナルに近い録音といえましょう。遥か昔、バッハ自身がこの合唱団の指揮にあたり、礎を築いた伝統が、脈々と流れていることを実感できるレコードです。 ラミンのカンタータ・シリーズは全12枚となります。 盤: 82～80 ジャケット: 80 2014-76-79	5,980
287	ラミン記念アルバム ラミン 聖トーマス教会合唱団 ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. 「1500年～1900年代生れの作曲家たち」 ガブリエリ ハンドル・ガルス コダーイ ヴァイスマン ETERNA 820 249 MONO 青地に白の扇レーベル フラット重量盤 独オリジナル	ラミンがバッハ以外の作曲を取り上げて録音したアルバム。 その年代幅は1500～1900年に及んでいる。録音は1940年～1950年代で、一部SP録音も含んでいるようですが、音質はすこぶる良い。 ラミンはバッハ以外を振ることは珍しいことですが、ラミンが選び、録音した作品、さすが、駄作は1曲もなく、聞かせる。トーマス教会合唱団の魂を打つあの歌声は、バッハ以外の作品にも、特別な感興が沸き起こります。この合唱団がいかに優れているか、ひしひしと伝わってくるレコードだと思います。バッハのカンタータの補完として、ラミンが録音した記念レコードとして、一緒にお手元に置いていただけたらと思います。 盤: 83 ジャケット: 82 1311-76124	5,250
288	クルト・トーマス&聖トーマス教会合唱団 ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. ギーベル ヘフゲン ロツチェ アダム J.S.バッハ カンタータ 4番 54番 59番 ETERNA 820 162 MONO 青地に白の扇レーベル フラット重量盤 独オリジナル	フラット重量盤の素晴らしい音質。ラミンの録音と並んで、バッハのカンタータの双壁とも言える名演。本家本元のバッハ演奏。 トーマスのカンタータは12インチが5枚 10インチが6枚ですべて。 コレクションとして完結可能な枚数だと思います。コーヒーと農民カンタータ以外は、すべてモノラル発売。名歌手を起用した、伝統的なバッハ演奏をじっくりとお楽しみください。ラミン盤と比較して国際的な歌手が多数参加していて、歌手の魅力と合唱団のレベルの高さで、群を抜くのが、このトーマス盤です。 盤: 83 ジャケット: 82 1311-76160	4,200
289	クルト・トーマス&聖トーマス教会合唱団 ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. ギーベル ヘフゲン ロツチェ アダム J.S.バッハ カンタータ 51番 71番 ETERNA 820 073 MONO 青地に白の扇レーベル フラット重量盤 独オリジナル	51番のカンタータは、アグネス・ギーベルをソロに迎えたソロ・カンタータギーベルの温かく自然な歌唱で歌い上げられたこの録音は、1連のシリーズ中でも人気の高い1枚です。 71番のカンタータは、ギーベル、ヘフゲン、ロツチェ、アダムという錚々たる顔ぶれ。非常に完成度の高い録音。 フラット重量盤の素晴らしい音質。 盤: 83 ジャケット: 83 1311-76161	4,200
290	クルト・トーマス&聖トーマス教会合唱団 ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. プライ J.S.バッハ カンタータ 56番 82番 ETERNA 820 202 MONO 青地に白の扇レーベル フラット重量盤 独オリジナル	バリトンのソロ・カンタータ集。 82番のカンタータ「我は満ち足れり」は、非常に美しいソロ・カンタータで若き日のプライが名唱を聞かせています。説得力に満ち溢れたバッハ。 ラミンの録音と並んで、バッハのカンタータの双壁とも言える名演。 本家本元のバッハ演奏。 フラット重量盤の素晴らしい音質。 盤: 83 ジャケット: 83 1311-76162	4,200
291	クルト・トーマス&聖トーマス教会合唱団 ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. ストルテ(S) フィッシャー(A) ロツチェ(T) アブレック(T)ライブ(Br) アダム(Bs) J.S.バッハ カンタータBWV.201「フォイブスとパン」 ETERNA 820 163 MONO 青地に白の扇レーベル フラット重量盤 独オリジナル	J.S.バッハの名作「フォイブスとパン」のトーマス盤。 なぜか？この曲だけソプラノにストルテを抜擢。若き日のストルテの張りのある美声が耳を洗います。これを聞くだけでも、このレコードを持つ価値があります。 モノラルのみの発売。 曲、演奏、録音と三拍子揃った名盤です。 フラット重量盤の素晴らしい音質。 盤: 81 ジャケット: 82 1476-167	4,300
292	エアハルト・マウエルスベルガー ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. 聖トーマス教会合唱団 ストルテ ブルマイスター シュライアー アダム J.S.バッハ カンタータBWV172 BWV78 ETERNA 825 885 STEREO 黒地に銀文字 横長ETERNA	これは、ETERNAの作ったカンタータの中でも、屈指の名盤。 ストルテとマウエルスベルガーの競演と言うのも極めて珍しいが、脇を固める名歌手の布陣、見事な録音、そしてBWV78の名作である。 曲目、演奏、録音と三拍子が揃った、文句なしの名盤。 盤: 80(音に出ないしれ少々) ジャケット: 81	4,725
293	マウエルスベルガー ライブツィッヒ・ゲヴァントハウスO. 聖トーマス教会合唱団 ストルテ シュレイヴァー シュライアー アダム J.S.バッハ カンタータ BWV18 BWV62 ARCHIV SAPM 198 441 STEREO 盤組地に赤文字 2時の位置にSTEREO	独オリジナル 盤: 82 ジャケット: 81	4,200
New Arrival ETERNA ブルー・ホワイト・ステレオ・レーベル			

294	ザノッテリ ベルリン国立歌劇場O. グリュンマー(アンナ) ヒルブレヒト(エルヴィラ) ケート(ツェルリーナ) プライ(ドン・ジョヴァンニ) ヴンダーリッヒ(オッターヴィオ) コーン(レボレロ) スチュワート(マゼット) モーツァルト 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」ハイライト ETERNA 825 033 STEREO 青地に白の扇レーベル STEREOシール貼り ジャケット フラット重量盤 独オリジナル	ハイライト録音のみ。 配役の妙と優れた歌手を起用したことによって、非常にレヴェルの高い「ドン・ジョヴァンニ」が出来上がった。指揮者のザノッテリの指揮も音楽的に充実していて、初期V字ステレオのサウンドはETERNAレーベル中でも最上級の出来栄。盤: 78/82 ジャケット: M	7,800
295	ザンデルリンク ドレスデン・シュターツカペレ フランク 交響曲二短調 ETERNA 825 117 STEREO 青地に白の扇レーベル 独オリジナル	1966年ETERNA録音。 ザンデルリンクは、1964年からドレスデン・シュターツカペレの常任指揮者の地位にあった。ザンデルリンクの数少ないSKDとの録音。 この時期、絶頂期にあったザンデルリンクがドレスデン・シュターツカペレを振った貴重な録音。ザンデルリンクは、意図的に渋いオケの響きを作り出していて面白い。色気あるカペレの音色を徹底的につぶし、色彩が極力表面に現れないようにしている。金管及びティンパニの強奏をなるべく避け、その音色を弦楽器の中に沈み込ませている。カペレは匂い立つような音色を持つオケだから、木管楽器やホルンのソロが出てくると、それなりの音を響かせるが、本当に金管楽器が盛大に鳴り出すのは第3楽章から。オケは堰を切ったように豪快に鳴り始める。この解き放たれた解放が素晴らしい！ しかし、演奏の印象を決める第2楽章まではほとんど墨絵状態で、全く渋い。ただ、もしかしたら、こんなサウンドをフランクは夢見ていたかもしれない。 初演時、フランクは「陰気」といわれた演奏会に満足していたと言うが、もしフランクがこの墨絵のごとき2楽章の演奏を聴いていたなら、かなり感心したかもしれない。それほど渋さを極めた演奏だと思う。盤: 83/78 ジャケット: 79	8,800
296	コッホ指揮 ベルリン放送soゾリステン ウルピウス(S) プレンズロウ(A) ウンガー(T) ライブ(Br) ツェヒリン(P)、コッツ(P) ブラームス 愛の歌 新・愛の歌 ワルツ集 ETERNA 825 251 STEREO 青地に白の扇レーベル 独オリジナル	この作品は、モーツァルトのカノン・重唱集を意識したものなのかも知れません。コミカルな中に、音楽の力を発揮させた作品とも受け取れます。このレコードでは、歌詞は大げさに歌われ、音楽表現は絶妙です。楽しくも、音楽には最新の注意を払った作品です。歌手には一流が揃えられ、連弾を弾くピアニストが、ツェヒリンとコッツという念の入れよう。アンサンブルはコッホ率いるベルリン放送SOという布陣。これは、ある意味、大変贅沢なレコードと言えましょう。 ETERNAの初期ステレオは、素晴らしいサウンドを聞かせます。 盤: 82 ジャケット: 81	9,800
297	マールグラフ ハレ・ヘンデル祝祭O. ボッセ(Vn) フェルメス(Vn) エルベン(Vc) ケストナー(Cemb) ヘンデル合奏協奏曲op.6 11番 12番 ETERNA 725 018 STEREO 10インチ 青地に白の扇レーベル STEREOシール貼りジャケット フラット重量盤 独オリジナル	エテルナ最初期ステレオのオーディオ・ファイルです。 絹糸のようにしなやかで、やわらかく、それいて、音はボケず、芳醇なサウンドが部屋いっぱいに響くことでしょう！ハレ・ヘンデル祝祭O.は小編成のすっきりとした響きで、東独の名手たちのソロが絶妙に入ります。 このハレ・ヘンデル祝祭O.はライブツィット・ゲヴァントハウスO.の団員から構成されていて、ボッセやフェルメス、エルベンなど名手が名を連ねています。ETERNAファン 垂涎の1枚。ウルトラ・レアの1枚 盤: 82 ジャケット: 82	13,000
	New Arrival TAS LIST 米THE ABSOLUTE SOUNDで録音優秀盤として選定されたレコード 全世界レヴェルで、録音優秀とされたレコードです		
298	TAS LIST-CLASSICAL部門選定アイテム ルイ・フレモア パーミンガム市立SO, cho R.ティアー(T) ベルリオーズ レクイエム EMI SLS 982 STEREO 黄色地にカラー切手ニッパ 英オリジナル	プロデューサー: ダヴィッド・モットレイ 録音エンジニア: スチュワート・エルスマン オーディオ装置が目覚めます！ 盤: 82 箱: 81 解説書付 76-248	8,400
299	TAS LIST-CLASSICAL部門選定アイテム ボールト LPO エルガー 交響曲 2番 EMI ASD3266 STEREO 赤地に黒文字 白黒切手ニッパ 英オリジナル	プロデューサー: クリストファー・ビショップ 録音エンジニア: クリストファー・パーカー 盤: M 箱: M 解説書付 76-249	5,800
	New Arrival 録音優秀盤 TAS LISTに選ばれるビショップ&パーカーの録音		
300	1970年代、EMIに次々録音優秀なレコードを送り込んだチームがありました。プロデューサーのクリストファー・ビショップと、録音技師のクリストファー・パーカーの2人である。TASに匹敵する録音水準に達したレコードが多数存在する。このコンビの名盤をご紹介します。まさに比類なき名録音であります。		
301	プレヴィン LSO ラフマニノフ 交響曲 3番 ELECTROLA 1C063 02861 STEREO 赤地に黒文字 カラー切手ニッパ 独オリジナル	プロデューサー: クリストファー・ビショップ 録音エンジニア: クリストファー・パーカー 盤: 83 ジャケット: 81 76-250	4,200

302	ブレヴィン LSO サイモン・プレストン(Org) プーランク オルガン、弦楽、ティンパニの ための協奏曲 プーランク クラヴサンと管弦楽のための 田園の奏楽 EMI ASD3489 STEREO 赤地に黒文字 白黒切手ニッパ 英オリジナル	プロデューサー：クリストファー・ビショップ 録音エンジニア：クリストファー・パーカー 盤：82 ジャケット：81 76-251	5,250
303	ブレヴィン LSO ラフマニノフ 死の島 交響的舞曲 EMI ASD3259 STEREO 赤地に黒文字 白黒切手ニッパ 英オリジナル	プロデューサー：クリストファー・ビショップ 録音エンジニア：クリストファー・パーカー ビショップ＝パーカー・レコーディングのベスト録音のひとつ。 非常にレアな存在です。 盤：83 ジャケット：81 76-252	6,300
304	ブレヴィン LSO プロコフィエフ 交響曲 5番 EMI ASD3115 STEREO 赤地に黒文字 白黒切手ニッパ 英オリジナル	プロデューサー：クリストファー・ビショップ 録音エンジニア：クリストファー・パーカー 盤：82 ジャケット：82 76-253	6,300
305	EMIの優秀録音盤 3傑作 ルイ・フレモア パーミンガム・シティSO ビゼー 交響曲ハ長調 ビゼー ローマ EMI ASD 3039 STEREO 赤地に黒文字 白黒切手ニッパ 英オリジナル	フレモアのベルリオーズ「レクイエム」でTAS LISTに選定された チームの録音。 プロデューサー：ダヴィッド・モットレイ 録音エンジニア：スチュワート・エルスマン 盤：82 ジャケット：81 76-254	4,725
306	EMIの優秀録音盤 3傑作 ブレヴィン LSO プロコフィエフ 古典交響曲 プロコフィエフ 交響曲 7番 EMI ASD 3556 STEREO 赤地に黒文字 白黒切手ニッパ 英オリジナル	クリストファー・パーカーの録音 盤：82 ジャケット：81 76-255	5,250
New Arrival The Beatles			
307	BEATLES FOR SAIE / THE BEATLES U.K., MONO PARLOHPNE PMC1240 英モノラル・オリジナル Y%B PARLOHPNE WITH SOLD IN U.K. B面KT刻印 マトリクス XEX503-4N / XEX504-4N マザー 2/1 スタンパー APD/AOM	1964年の一般家庭には、モノラル装置がほとんどなかったはずですが。このモノラル盤を 聴いていると、ビートルズのこのアルバムのトータルの音づくりがひしひしと伝わって くるようです。他国プレス、日本盤で聴いていると、本場UK盤ではどんな風に鳴るの だろう？という長い間の疑問が解けること間違いありません。 1曲ごとに、ヴォーカルと楽器のバランスが変わるのも明瞭に聞こえてきますし、歯 切れよく、鮮明に響くギターやベース、ずっしり重いかんじのリンゴのドラムが印象に 残ります。これ以上の音を求めることはできない、というルーツのレコードを入手する 喜びを味わってください。 ジャケットは、ビートルズ初の見開きタイプ。開くと右側は内側に折り返されています。 表、裏ともにラミネートでコートされたタイプ。このアルバムからPARLOPHONEロゴの 右にEMIマークが併記されます。 ビートルズの1964年制作のアルバム コンディションですが、盤はスレもなく、見た目もきれいです。2本ほど軽いスレは見ら れますが、音には出ないものです。センターホールについた跡を見ても、それほど酷使 したレコードでないことがわかります。トータルでは、非常にコンディションの良い盤と 言っていると思います。 盤：82 ジャケット：81	15,000

308	REVOLVER / THE BEATLES PALOPHONE PMC7009 U.K. MONO 英モノラル・オリジナル Y&B PARLOPHONE with SOLD IN U.K. マトリクス XEX605-2/ XEX606-1 マザー 1/1 スタンパー GP/A(16/1) ジャケット ERNEST J DAY社製 ラミネート・フィリップ・バック インナー PATENTS APPLIED FOR ラベル、ジャケット表記 B-4 DR.ROBERT B-7 TOMORROW NEVER KNOWS	レコードの解説つづき ラベルは、ブラック・アンド・イエロー・レーベル(通称イエロー・パーロフォン)で、ラベル周囲の文字は、「THE GRAMOPHONE CO LTD～」で始まるタイプ。 スピンドル・ホールの上に「SOLD IN U.K.～」というセントラル・リマークが記載されています。 Side-1にタックス・コード「KT」の刻印があります。マトリクスはSide-1がXEX 605-2、Side-2がXEX 606-1、プレスを始めたその日にジョージ・マーティン自らがプレス工場を訪れ、B面の差し替えを命じたという、いわくつきの1stプレス。 俗にFirst day pressingと呼ばれるものです。 マザーおよびスタンパーはSide-1が1 /GPで、1枚目のマザー、16枚目のスタンパーから、Side-2が1 /Aで、1枚目のマザー、3枚目のスタンパーからプレスされたことがわかります。この数字は、数十万枚とプレスされるビートルズのレコードにおいて、いかに初期の製造であるかを物語っています。	50,000
	このレコードについて フロント・カヴァーにアーティスト名はありません。 フロントのみコーティングの施されたフリップ・バックのスリーブはGarrod & Lofthouse社製、裏には4人が揃ってサングラスをかけた写真が載せられています。レコーディング中のスタジオで撮られたこの写真は、このあとブッチャー・カヴァーで有名になるロバート・ウィタカーの撮影です。芸術的な側面からいえばフロント・カヴァーを論じるべきなのでしょうが、このバック・カヴァーを初めて見たときの印象はなかなか衝撃的なもの。前作『ラバー・ソウル』のフロント・カヴァーがすでに、アイドル的なレコード・ジャケットから逸脱していることはいまでもないと思いますが、この4人のポートレイトをには、ビートルズはもう以前のビートルズではないのだ、ということを実感に感じさせる衝撃的な写真。それをオリジナルのジャケットに採用したことは、当時の音楽界に大きな影響を与えたと思います。	なお、4曲目のタイトルは「DR.ROBERT」表記のものと「DOCTOR ROBERT」表記のものがあり、ここでは「DR.ROBERT」表記になっています。 インナー・スリーブはそれまでのEMITEXに代わって、このアルバムから白いプレーンなものになりました。左下の表記は「PATENTS APPLIED FOR」となっています。このレコードは、初回製造で、発売日に店頭に並んだ可能性のあるレコードです。これだけ初期製造の「リボルバー」は、極めて珍しいものであり、ビートルズの人気を考えると、今後も価値が下がることはないでしょう。 コンディション 盤は表面にごくうすいスレはありますが、音には出ないもので、このウルトラ・プレミアムな初期製造プレスにあっては、なんら価値の下がるものではありません。キズ音、針飛び、音割れ等はございません。 ジャケットは、表・裏ともにきれいで、文句ナシのコンディション。 四隅の角もきちんと出ている素晴らしいコンディション。	
309	Introducing The Beatles VEE-JAY RECORDS VJLP 1062 (VEE-JAYプレスに似せて製造された米盤) SIDE ONE : 1.I Saw Her Standing There 2.Misery 3.Anna 4.Chains 5.Boys 6.Love Me Do (version 2 : Ask Me Why) 7.Love me do SIDE TWO : 1.P.S. I Love You 2.Baby It's You 3.Do You Want To Know A Secret 4.A Taste Of Honey 5.There's A Place 6.Twist And Shout	アメリカではCapitolよりも先に、Vee-Jayがビートルズのレコードをアメリカでリリースする契約を結びました。 記念すべきアメリカでのデビュー・アルバム『Introducing The Beatles』。ヴィージェイはこのアルバムを63年7月22日にリリース(?)しますが、その時点では、事実上、ほとんど出回らなかったようです。 翌64年、いよいよキャピトルがビートルズと契約を結んで、『Meet The Beatles』64年1月20日にリリースします。結局、ヴィージェイがその動きに便乗するような形で、それよりも10日早い、1月10日に『Introducing The Beatles』をあらためてリリースし直しました。 『Introducing The Beatles』と銘打たれたこのアルバム、U.K.盤『Please Please Me』と同内容ですが、63年にすでにVee-Jayがシングルでリリースした「Please Please Me」と「Ask Me Why」の2曲をカットした全12曲が収録されていました。 しかし2月になるとすぐに「Love Me Do」と「P.S. I Love You」の2曲がここから外され、「Please Please Me」と「Ask Me Why」に差し替えられます。 これがこのアルバムの“Version 2”と呼ばれ、以降、世に多く出回っているものです。 アルバム・チャートのトップに一挙に躍り出たCapitol盤『Meet The Beatles』。それを追うように、この『Introducing...』もチャートの2位まで上昇します。 アルバムが大ヒットする頃にはすでに“Version 2”となっていたため、「Love Me Do」「P.S. I Love You」の入った“Version 1”は、プレス数も少なく、より貴重なアイテムとなっています。 尚、Version 1のオリジナル盤は120,000円〜と非常に高価です。この他社プレスはは音質的にも十分なクオリティをもちつもので、アメリカで初めて発売されたビートルズの	6,800

310	THE BEATLES A HARD DAY'S NIGHT UNITED ARTISTS UAS 6366 STEREO ページ・レーベル A1 A Hard Day's Night 2:28 A2 Tell Me Why 2:04 A3 I Cry Instead 2:06 A4 I Should Have Known Better 2:16 A5 I'm Happy Just To Dance With You 1:59 A6 And I Love Her 3:42 B1 I Should Have Known Better 2:42 B2 If I Fell 2:16 B3 And I Love Her 2:27 B4 Ringo's Theme 3:06 B5 Can't Buy Me Love 2:15 B6 A Hard Day's Night	64年大手ユナイテッド・アーティスト社作で、全米1位の大ヒットとなった、名作「ビートルズがやってくるヤァ！ヤァ！ヤァ！」！貴重US'71年ステレオ再発盤です。 盤面、ジャケットともにきれいなものは、なかなか入荷しません。 盤:82 ジャケット:82	5,000
311	THE BEATLES ROCK'N ROLL MUSIC EMI PCSP719 2LP STEREO 英オリジナル A1 A Hard Day's Night 2:28 A2 Tell Me Why 2:04 A3 I Cry Instead 2:06 A4 I Should Have Known Better 2:16 A5 I'm Happy Just To Dance With You 1:59 A6 And I Love Her 3:42 B	「このビートルズのロックン・ロール集の企画は1976年1月初旬、東芝EMI・A&Rセクションによって草案が練られました。選曲にあたっては、ビートルズの原点たるパワフル・ロックを、吟味を重ねた上で抽出しました」(日本盤のジャケットに書かれている解説文です。 1976年2月6日 、1967年に交わされたBeatlesとの9年間のレコーディング契約が切れ E.M.I.は過去にリリースされた作品からどんなものでも再リリースできる権利を持っていました。そこに日本から持ちかけられた企画でE.M.I.自身の管理のもとに世に出たレコードがこれなのです。つまり、このレコードは、日本の企画・草案、選曲・製造・発売は英EMIが担当したわけです。 契約が切れた1976年に、即、この企画を持ち込んだ東芝EMIのタイムリーな企画が英国EMIに通ったという珍しい例ではないでしょうか？ ビートルズのナンバーから乗りの良いロックンロールをセレクトして2枚のLPに収めたものになります。このアルバムの英オリジナルとなります。 盤、ジャケット、オリジナル内袋 すべてミント状態の貴重な品物です。 盤:85 ジャケット:89	8,800
312	THE BEATLES WHITE ALBUM SWBO-101-2 2LP STEREO アップル・レーベル 英3版	ビートルズの「ホワイト・アルバム」の米盤、オリジナル番号、オリジナル装丁、ラベル・デザインから3版であることがわかります。 音質的に大きな差はなく、製造時期も、3～4年の差となります。 盤のコンディションは素晴らしい。 ジャケットの表面に多少のシミが出ています。 盤:85 ジャケット:79	5,000
313	THE BEATLES SGT PEPPERS LONELY HEARTS CLUB BAND PCS7027 STEREO フランス盤	I英ロック界大御所「ザ・ビートルズ」、'67大名作！ ジャケがUK、盤がフランス・プレス盤の、欧米マニア間高価取引、貴重珍'70年代EMIロゴ2つ有りラベル・ステレオ再発盤(インサート付き) 内側折返し無しG&Lコーティング見開きジャケ 近年稀なナイス・コンディションです！ 盤:84 ジャケット:84	7,800
314	ABYROAD / THE BEATLES APPLE PCS7088 STEREO ダーク・グリーン・アップル・レーベル 英オリジナル	正真正銘の「ABYROAD」の英オリジナル盤です。 非常に人気があって、なかなかお目にかかりません。 オリジナル・ラベルは、ダークグリーン・アップル。 また初出を判断する材料がいくつかあって、 ①Side2で「Her Majesty」の表記がないこと ②マトリクスはSide-1がYEX 749-2、Side-2がYEX 750-1 ③ジャケット裏の青りんごが左寄りに位置している。 この3つの要素をクリアしている初期プレスは、非常に数が少なく、右から左へと消えていきます。今回、ご提供のレコードは、上記3つの条件をクリアした完全英オリジナルとなります。 ちなみに、マザーは3/7 スタンパーはOAT/MRR となっています。 音質は折り紙つき！ 盤:82 ジャケット:82	35,000

315	ABYROAD / THE BEATLES モービル・フィデリティ・レコード Mobile Fidelity MFSL 1-109 stereo	「ABYROAD」のモービルフィデリティ盤、オリジナル・マスターから通常の1/2のカッティ ング・スピードでラッカーを切り、最高のビニールを使用して製造されたのが、モービル フィデリティ盤です。 余裕ある音の広がり、ギターソロの克明な鳴り方、豊かなベースのうなり ヴォーカル は 生々しく、ドラムのハイハットも鮮明そのもの。 歪感、にじんだ感じのないサウンドは、まるでマスター・テープを回して聞いているよう な錯覚を覚えるほどです。 通常盤と一味も、二味も違う音世界をお楽しみいただけたと思います。 このレコードはスタンパー劣化後の製造を避けるため、限定プレスとなっています。 中古市場でしか入手できませんが、今回入荷の品物は、未開封の新品です。 盤 ファクトリーシール未開封 新品です。 ジャケット 全体にきれいです。色もきれいです。	20,000
316	ABYROAD / THE BEATLES モービル・フィデリティ・レコード Mobile Fidelity MFSL 1-109 stereo	「ABYROAD」のモービルフィデリティ盤、オリジナル・マスターから通常の1/2のカッティ ング・スピードでラッカーを切り、最高のビニールを使用して製造されたのが、モービル フィデリティ盤です。 余裕ある音の広がり、ギターソロの克明な鳴り方、豊かなベースのうなり ヴォーカル は 生々しく、ドラムのハイハットも鮮明そのもの。 歪感、にじんだ感じのないサウンドは、まるでマスター・テープを回して聞いているよう な錯覚を覚えるほどです。 通常盤と一味も、二味も違う音世界をお楽しみいただけたと思います。 【コンディション】 盤 新品同様の素晴らしいコンディションです。 ジャケット 全体にきれいです。色もきれいです。	10,000
317	LET IT BE / ザ・ビートルズ 高音質！ モービル・フィデリティ・レコード Mobile Fidelity MFSL 1-109 stereo	「LET IT BE」のモービルフィデリティ盤、オリジナル・マスターから通常の1/2のカッティ ング・スピードでラッカーを切り、最高のビニールを使用して製造されたのが、モービル フィデリティ盤です。 余裕ある音の広がり、ギターソロの克明な鳴り方、豊かなベースのうなり ヴォーカル は 生々しく、ドラムのハイハットも鮮明そのもの。 歪感、にじんだ感じのないサウンドは、まるでマスター・テープを回して聞いているよう な錯覚を覚えるほどです。 通常盤と一味も、二味も違う音世界をお楽しみいただけたと思います。 【コンディション】 盤 新品同様で、スレやキズ プレス・ミスありません。非常に良いコンディションです。 ジャケット パリっとした紙の質感 角もきれいです。 上部にわずかに割れがありますが、目立ちません。 レーベルも非常に良いコンディションです。 盤: 82 ジャケット: 82	
318	THE BEATLES 1962-1966 PCSP717 2LP 英プレス SIDE-A 01 LOVE ME DO 02 PLEASE PLEASE ME 03 FROM ME TO YOU 04 SHE LOVES YOU 05 I WANT TO HOLD YOUR HAND 06 ALL MY LOVING 07 CAN'T BUY ME LOVE SIDE-B 01 HARD DAY'S NIGHT 02 AND I LOVE HER 03 EIGHT DAYS A WEEK 04 I FEEL FINE 05 TICKET TO RIDE 06 YESTERDAY	SIDE-C 01 HELP! 02 YOU'VE GOT TO HIDE YOUR LOVE AWAY 03 WE CAN WORK IT OUT 04 DAY TRIPPER 05 DRIVE MY CAR 06 NORWEGIAN WOOD (THIS BIRD HAS FLOWN) SIDE-D 01 NOWHERE MAN 02 MICHELLE 03 IN MY LIFE 04 GIRL 05 PAPERBACK WRITER 06 ELEANOR RIGBY ビートルズの1962-1966年のヒット曲を集めた2枚組 ベスト盤としては、これ以上の選曲はないでしょう。 日本にあるものは、盤面の傷みが激しい、当盤は英国より直輸入 盤のコンディション、ジャケットのコンディション、いずれも素晴らしいものです。 盤: 82 ジャケット: 82	10,800

319	THE BEATLES 1967-1970 PCSP718 2LP 英プレス SIDE-A A1 Strawberry Fields Forever A2 Penny Lane A3 Sgt. Pepper's Lonely Hearts Club Band A4 With A Little Help From My Friends A5 Lucy In The Sky With Diamonds A6 A Day In The Life A7 All You Need Is Love SIDE-B B1 I Am The Walrus B2 Hello Goodbye B3 The Fool On The Hill B4 Magical Mystery Tour B5 Lady Madonna B6 Hey Jude B7 Revolution	SIDE-C C1 Back In The U.S.S.R. C2 While My Guitar Gently Weeps C3 Ob-La-Di, Ob-La-Da C4 Get Back C5 Don't Let Me Down C6 The Ballad Of John & Yoko C7 Old Brown Shoe SIDE-D D1 Here Comes The Sun D2 Come Together D3 Something D4 Octopus's Garden D5 Let It Be D6 Across The Universe D7 The Long And Winding Road ビートルズの1967-1970年のヒット曲を集めた2枚組 ベスト盤としては、これ以上の選曲はないでしょう。 日本にあるものは、盤面の傷みが激しい、当盤は英国より直輸入 盤のコンディション、ジャケットのコンディション、いずれも素晴らしいものです。 (ジャケット: 右上1cm欠落) 盤: 82 ジャケット: 80	10,800
320	THE BEATLES / SO MUCH YOUNGER THEN 5LP LIVE RECORD あの永遠のバイブル、ビートルズ事典(松本常男 著)講談社文庫の表紙を飾った栄えあるセット盤。 この手のレコードの金字塔的なセットです。 5枚組で全てピクチャーディスク。 1983年発売、限定盤ということで現在は入手難。 ボックスカバー・レーベル DEMOCRATIC RECORDS DC7577~5	ホーリーバイブル、ビートルズ海賊盤事典(松本常男 著)講談社文庫の表紙を飾った栄えある海賊盤。5枚組で全てピクチャーディスクです。 その内容の濃さと選曲の素晴らしさで、ビートルズ・ファンならば、ぜひ、手元に置いておきたい1セットではないでしょうか？限定プレスだったため、ファンは血眼で探しているはず。 「レコード・タイトル・ザ・ビートルズ BBC セッションズ THE BEATLES AT THE BBC」 表紙カバー / 内箱 / レコード5枚 / インデックス解説紙 / ポスター すべて揃っています。 盤: 84 ジャケット: 83	12,960
320	ヘルプ ザ・ビートルズ DVD 完全限定デラックス・エディション TOBW 3330-1 定価 19,800円(税込)	ザ・ビートルズの映画「HELP」のDVDです。 オリジナル装丁、付属品すべて揃っています。 内容は以下の通り。 ①DVD ディスク1 映画本編 ②DVD ディスク2 ボーナス映像 ③オリジナル脚本(レチャード・レスター 注釈入り) ④ロビー・カード8枚 ⑤ポスター ⑥写真、プロダクション・ノート等掲載の英国 オリジナル・ブック *①②以外はすべて英国よりの輸入品 DVDは、リマスターされたもので、驚くほど音も映像も良くなっています。 *付属品類を英国より調達しているため、初回セットのみの販売。	9,800
	New Arrival POPS, JAZZ		
321	バルバラ chante Barbara ～ナントに雨が降る PHILIPS 840.574 STEREO	バルバラのファースト・アルバムで、ディスク大賞を受賞 衝撃の歌声、官能と耽美 室内楽的なサウンドは芸術的。 バルバラ！孤高な気高き旋律。優雅な気品と激情を合わせ持つ神秘的な声。 初めて、この声に出会った作品にこの曲が入っていた。そして、歌詞の内容を後に知りいっそう好きになった。美しいピアノの調べとバルバラの吐息と声に圧倒されることだろう。間違いなくこの曲は、シャンソンの名曲の一つとして永遠に語り継がれて行くものでしょう。ユダヤ人であるバルバラの歌手デビューは平坦な道のりではありませんでした。この曲を発表した時、既に30代半ば。60年代のバルバラの声はあまりにも繊細で艶があり、このような悲しくも美しい曲がよく似合います。この室内楽とでも言えそうな、バルバラならではのシャンソン世界を見事に表現していると思います。このピアノとバルバラの声の震えだけで充分な比類なき名曲！ 盤: 82 ジャケット: 81	8,600

322	エルヴィス・プレスリー ELVIS RCA LPM-1382 MONO 黒地に銀文字 カラー・ホワイ・ニッパ 溝付き ラベル6時位置にLONG PLAYと表記(オリジナル) 米オリジナル 1 リップ・イット・アップ Rip It Up 2. ラヴ・ミー Love Me 3. ブルー・ムーンがまた輝けば When My Blue Moon Turns to Gold Again 4. のっぽのサリー Long Tall Sally 5. ファースト・イン・ライン First in Line 6. 悩まされて Paralyzed 1 恋がなかった So Glad You're Mine 2. オールド・シェップ Old Shep 3. レディ・テディ Ready Teddy 4. どこでも天国 Anyplace Is Paradise 5. 浮世の仕打ち How's the World Treating You? 6. こんな気持ちがわかるかい How Do You Think I Feel	エルヴィス、RCAレコードでのセカンド・アルバムの米オリジナル盤です。 この米オリジナル盤を聴いていると、当時のエルヴィスの音楽性、時代の寵児となっ た人の、勢いと栄光を感じずにはいられません。エルヴィス・ファンならずとも、このレ コードから流れ出しサウンドには耳を引きつけられるでしょう。ましてエルヴィス・ファン の方は、身も心もメロメロになってしまうことウケアイです！！ コンディション レコード 表面のスレにスレがあり、ごく稀に出る短い音以外は良好。この時期の米レコードとし ては、良い方のコンディションです。 ジャケット 背表紙に傷みが出ている以外、良好。四隅は角が少々丸みを帯びていますがきれい です。 裏・表の写真や紙の劣化は極めて少ないです。 右わきに青インクでうすくJ.FARELLとサイン。 消すことはたやすいですが味にもなっているかも知れません。ジャケットのカラー写真 は雰囲気満点です。 盤:81 ジャケット:81	10,800
323	マイルス & コルトレーン 1955-1961 CDボックス 6枚組 SRCS 2223-8 6CD 定価 15,225円 限定ボックス	マイルスと共演したミュージシャンは数多くいますが、特にコルトレーンとの一連の プレイには、圧倒的なオーラとエモーションが伝わってまいります。それらは、 王道ジャズの最高のインタープレイを聞くことが出来る、と言われています。 このCDでは、そんな二人の至高のジャズ演奏にスポットを当てたボックス・セットです。 マイルスとコルトレーンが共演したスタジオ録音とライブ音源のすべてを、6枚のCDに まとめてあります。オリジナル・レコーディング・マスターにさかのぼり、6枚のCDに収 録 したものです。今まで、ありそうで、無かった画期的なボックス・セットではないでしょ うか？当CDを企画するにあたって、未発表音源を18ティを収録(時間にして90分追 加) 116頁に及ぶ豪華ブックレット。別途、51頁の日本語解説書付き。 CDの盤面、付属の解説書など、極めて良好な状態です。 限定製造で、すでにメーカー ネットショップでは入手不可となっています。	9,800